

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	1 項	社会福祉費		第 節			( )	
	1 目	社会福祉総務費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	民生委員関係費				
事業コード			事 業 名	民生委員・児童委員確保対策事業				
目的及び事業内容		民生委員法及び児童福祉法に基づき、社会の奉仕者として厚生労働大臣から委嘱を受け、配置されている「民生委員・児童委員」の活動を推進し、社会福祉の向上を図るため、石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付する。また、民生委員推薦会を開催し、後任候補者を県に進達する。						
取 組 実 績		<p>1 石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付した。</p> <p>(1) 活動費 @38,700円×実数346人=13,390,200円</p> <p>(2) その他の経費 離島船賃(日帰り往復) 田代島:29,520円、網地島:22,080円 計51,600円</p> <p>(3) その他の経費 「民生委員・児童委員の日」啓発活動 計100,000円</p> <p style="text-align: right;">合計13,541,800円</p> <p>2 石巻市民生委員推薦会を開催した。</p> <p>(1) 開催回数:年5回</p> <p>(2) 候 補 者:民生委員9人</p> <p>(3) 開催結果</p> <p>第1回:平成30年3月28日から4月1日(持ち回りによる審査)、1人推薦</p> <p>第2回:平成30年4月9日から4月11日(持ち回りによる審査)、1人推薦</p> <p>第3回:平成30年4月27日から5月7日(持ち回りによる審査)、1人推薦</p> <p>第4回:平成31年1月7日から1月11日(持ち回りによる審査)、5人推薦</p> <p>第5回:平成31年1月18日から1月23日(持ち回りによる審査)、1人推薦</p>						
成 果		<p>石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付することで、各種活動を支援することができたほか、職務遂行に必要な知識及び技術の習得により相談援助の推進を図ることができた。</p> <p>民生委員推薦会を5回開催し、候補者(民生委員9人)を宮城県へ進達した。</p> <p>※ 民生委員・児童委員の欠員数 34人(ただし、復興枠19人を含む。)</p> <p>(平成31年3月31日現在)</p>						
成果に係る評価		地域福祉の諸施策を展開していく中で、民生委員・児童委員の活動の幅は広がり、期待される役割も大きくなっていることから、地域福祉の向上を図るため、本事業を継続して活動を支援する必要がある。						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	14,850,000		13,570,300					13,570,300

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																			
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		( )																			
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		( )																			
実施計画 掲載ページ	P 59		中 事 業	社会福祉関係助成費																						
事業コード	004-001-001-00089		事 業 名	社会福祉協議会運営費補助金																						
目的及び事業内容	石巻市社会福祉協議会が行う事務事業等の運営費の一部を補助することにより、地域福祉の増進を図る。																									
取組実績	<p>石巻市社会福祉協議会の本所・支所職員にかかる人件費相当分の一部を補助金として交付した。</p> <p>補助金交付額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助額</th> <th>主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>113,604,051円</td> <td>補助対象人数25名</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>115,248,836円</td> <td>補助対象人数25名</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>115,221,288円</td> <td>補助対象人数25名</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>148,510,320円</td> <td>補助対象人数29名（復興事業の縮小により通常枠で4名増加）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>174,763,921円</td> <td>補助対象人数35名（復興事業の縮小により6支所長分を通常枠で6名増加） ※人事異動等により年度末対象人数34名</td> </tr> </tbody> </table>								年度	補助額	主な増減理由	H26	113,604,051円	補助対象人数25名	H27	115,248,836円	補助対象人数25名	H28	115,221,288円	補助対象人数25名	H29	148,510,320円	補助対象人数29名（復興事業の縮小により通常枠で4名増加）	H30	174,763,921円	補助対象人数35名（復興事業の縮小により6支所長分を通常枠で6名増加） ※人事異動等により年度末対象人数34名
年度	補助額	主な増減理由																								
H26	113,604,051円	補助対象人数25名																								
H27	115,248,836円	補助対象人数25名																								
H28	115,221,288円	補助対象人数25名																								
H29	148,510,320円	補助対象人数29名（復興事業の縮小により通常枠で4名増加）																								
H30	174,763,921円	補助対象人数35名（復興事業の縮小により6支所長分を通常枠で6名増加） ※人事異動等により年度末対象人数34名																								
成 果	<p>地域福祉の中核を担う石巻市社会福祉協議会に運営費の一部を補助することにより、同協議会の安定的な運営が図られ、第3次石巻市社会福祉協議会地域福祉活動計画の基本理念である「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、各種活動を推進することができ、地域福祉の増進を図ることができた。</p> <p>また、地域住民、社会福祉の関係機関、団体と連携・協働を図りながら、地域課題の共有や解決への取組を実施しており、国が目指す地域共生社会の実現に向けて、みんなで支えあう地域づくりを推進を図ってきた。</p>																									
成果に係る評価	本市及び石巻市社会福祉協議会の各計画の基本理念である「いつも自分らしく生きるために、みんなで支え合う地域づくり」や「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現に向けて、事業を継続する必要がある。																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	176,256,000	174,763,921				174,763,921																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		( )	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		( )	
実施計画 掲載ページ	P 60		中 事 業	地域福祉推進関係費				
事業コード	004-001-001-00563		事 業 名	地域福祉計画策定事業				
目的及び事業内容	石巻市地域福祉委員会を開催し、本市地域福祉計画の進行管理等を行い、基本理念の実現を図る。また、みんなで支え合う地域づくりを推進するため、出前講座を開催する。							
取組実績	<p>1 地域福祉委員会の開催</p> <p>第3回地域福祉委員会 平成30年11月7日（水） 内容：①平成29年度地域福祉計画に係る取組事業の状況報告について ②平成30年度市民意識調査の結果について ③地域福祉の普及・啓発について（小地域福祉活動の取組みについて） ④第4期地域福祉計画策定に向けたスケジュールについて</p> <p>2 出前講座（地域福祉のはなし）の開催 34回 （アンケート調査実施）</p>							
成 果	関連する分野別計画の担当課との連携会議を開催することができ、次期計画（第4期 令和4年～8年予定）に向けて整合性を図るため地域福祉委員会を開催した。							
成果に係る評価	社会福祉法第4条に規定する地域福祉の推進を図ることができた。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	359,000	111,493				111,493		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																							
	1 項	社会福祉費		第7節	災害に対する備えを充実する		( )																																																							
	1 目	社会福祉総務費		(3)	防災意識の向上と円滑な避難体制をつくる		( )																																																							
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業		避難行動要支援者支援事業費																																																									
事業コード		004-007-003-00105	事 業 名		災害時要援護者避難支援事業																																																									
目的及び事業内容																																																														
<p>避難行動要支援者の安否確認や避難支援を円滑に行うため、要支援者の登録や避難支援関係機関との情報共有、地域における支援体制づくりを推進する。</p>																																																														
<p>・年度別登録者数 <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>5,330</td> <td>3,857</td> <td>165</td> <td>97</td> <td>862</td> <td>220</td> <td>71</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4,905</td> <td>3,540</td> <td>174</td> <td>90</td> <td>781</td> <td>202</td> <td>66</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4,638</td> <td>3,363</td> <td>162</td> <td>80</td> <td>748</td> <td>179</td> <td>63</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4,481</td> <td>3,228</td> <td>181</td> <td>86</td> <td>702</td> <td>173</td> <td>62</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,267</td> <td>3,097</td> <td>167</td> <td>80</td> <td>668</td> <td>155</td> <td>56</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成30年度取組実績</p> <p>4月から7月 地域における支援体制づくりを推進するため、自治会に対する避難行動要支援者制度の説明を実施した。</p> <p>6月から10月 民生委員の協力を得て、要支援者情報の更新作業を実施した。</p> <p>12月から1月 民生委員の協力を得て、民生委員に対して要配慮者名簿（70歳以上の高齢世帯）を提供した。</p> <p>1月30日 自治会を対象とした要支援者支援に関する研修会を実施した。</p>									年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	H26	5,330	3,857	165	97	862	220	71	58	H27	4,905	3,540	174	90	781	202	66	52	H28	4,638	3,363	162	80	748	179	63	43	H29	4,481	3,228	181	86	702	173	62	49	H30	4,267	3,097	167	80	668	155	56	44
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																						
H26	5,330	3,857	165	97	862	220	71	58																																																						
H27	4,905	3,540	174	90	781	202	66	52																																																						
H28	4,638	3,363	162	80	748	179	63	43																																																						
H29	4,481	3,228	181	86	702	173	62	49																																																						
H30	4,267	3,097	167	80	668	155	56	44																																																						
<p>取 組 実 績</p> <p>民生委員の協力を得て、要支援者の現況確認及び登録者情報の更新作業を行った。また、平成29年度の後半から実施している、自治会（町内会、行政区）への制度説明を継続して行った。</p> <p>その結果、市内357の自治会（平成30年4月時点）への説明が完了し、その内要支援者名簿の受取りを希望した41%の自治会に対して要支援者名簿を配布している。</p> <p>平成31年1月30日には、自治会を対象とした要支援者支援に関する研修会を実施し、防災対策の基礎と避難の心得について知識を学び、避難体制づくりについて啓発を図ることができた。（出席者150名）</p>																																																														
<p>成 果</p> <p>平成30年度中の取組みにより、要支援者台帳整備は概ね達成することができた。今後は、要支援者情報をどのように活かし、地域の特色に合わせた支援体制作りを進めていくかが課題となってくる。</p> <p>なお、自治会への名簿配布率は、50%を下回っているが、自治会ごとに「既に顔の見える関係づくりができているため名簿は必要ない」、「名簿の必要性は感じているが個人情報の管理に抵抗を感じる」等、受け取らない理由があると考えられる。</p> <p>要支援者支援に関する周知活動を継続しつつ、名簿の配布ありきにならないよう、自治会個々の事情に配慮しつつ、避難支援体制づくりを支援する必要がある。</p>																																																														
(単位：円)																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	1,160,000	1,157,582				1,157,582																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( )																																																	
	1 項	社会福祉費		第 節			( )																																																	
	2 目	総合福祉会館費		( )			( )																																																	
実施計画掲載ページ			中 事 業		うしお荘・みなと荘管理費																																																			
事業コード			事 業 名		総合福祉会館うしお荘・みなと荘運営事業																																																			
目的及び事業内容																																																								
<p>総合福祉会館について、地域活動に精通している地元の福祉団体協議会に管理運営を委託することにより、地域住民相互の融和を促し、もって地域福祉の一層の推進を図る。</p>																																																								
<p>1 指定管理者導入の指定期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで（5年間）</p> <p>2 年間の利用状況</p> <p>(1) うしお荘 開館日数 295日 施設利用者数 19,448人</p> <p>(2) みなと荘 開館日数 296日 施設利用者数 25,396人</p> <p>3 施設の概要</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>施設の名称</th> <th>総合福祉会館 うしお荘</th> <th>総合福祉会館 みなと荘</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所在地</td> <td>石巻市流留字七勺21番地</td> <td>石巻市八幡町一丁目6番22号</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>年額 5,815,448円</td> <td>年額 8,931,708円</td> </tr> <tr> <td>施設内容</td> <td>大広間、談話室、和室(2)、会議室</td> <td>1階：湊こども園 2階：子育て支援室、放課後児童クラブ、事務室、図書室、集會室 3階：講座室、会議室、焼成室、災害用備蓄庫</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>無料</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>石巻市渡波地区福祉団体協議会</td> <td>石巻市湊地区福祉団体協議会</td> </tr> </tbody> </table>									施設の名称	総合福祉会館 うしお荘	総合福祉会館 みなと荘	所在地	石巻市流留字七勺21番地	石巻市八幡町一丁目6番22号	指定管理料	年額 5,815,448円	年額 8,931,708円	施設内容	大広間、談話室、和室(2)、会議室	1階：湊こども園 2階：子育て支援室、放課後児童クラブ、事務室、図書室、集會室 3階：講座室、会議室、焼成室、災害用備蓄庫	利用料	無料	無料	指定管理者	石巻市渡波地区福祉団体協議会	石巻市湊地区福祉団体協議会																														
施設の名称	総合福祉会館 うしお荘	総合福祉会館 みなと荘																																																						
所在地	石巻市流留字七勺21番地	石巻市八幡町一丁目6番22号																																																						
指定管理料	年額 5,815,448円	年額 8,931,708円																																																						
施設内容	大広間、談話室、和室(2)、会議室	1階：湊こども園 2階：子育て支援室、放課後児童クラブ、事務室、図書室、集會室 3階：講座室、会議室、焼成室、災害用備蓄庫																																																						
利用料	無料	無料																																																						
指定管理者	石巻市渡波地区福祉団体協議会	石巻市湊地区福祉団体協議会																																																						
<p>取 組 実 績</p> <p>地域住民の健康増進、教養の向上及びレクリエーションなど、地域に密着した施設運営により、広く地域住民の利用に供することができ、福祉の増進が図られた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">うしお荘</th> <th colspan="3">みなと荘</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>指定管理料</th> <th>施設利用者数</th> <th>年度</th> <th>指定管理料</th> <th>施設利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>5,656,844円</td> <td>18,994人</td> <td>H25</td> <td>5,607,295円</td> <td>29,833人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>5,696,234円</td> <td>19,776人</td> <td>H26</td> <td>5,463,664円</td> <td>31,510人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>5,721,695円</td> <td>21,521人</td> <td>H27</td> <td>9,605,205円</td> <td>26,568人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5,798,862円</td> <td>20,541人</td> <td>H28</td> <td>8,470,372円</td> <td>29,666人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5,815,020円</td> <td>17,803人</td> <td>H29</td> <td>8,493,140円</td> <td>24,436人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5,815,448円</td> <td>19,448人</td> <td>H30</td> <td>8,931,708円</td> <td>25,396人</td> </tr> </tbody> </table>									うしお荘			みなと荘			年度	指定管理料	施設利用者数	年度	指定管理料	施設利用者数	H25	5,656,844円	18,994人	H25	5,607,295円	29,833人	H26	5,696,234円	19,776人	H26	5,463,664円	31,510人	H27	5,721,695円	21,521人	H27	9,605,205円	26,568人	H28	5,798,862円	20,541人	H28	8,470,372円	29,666人	H29	5,815,020円	17,803人	H29	8,493,140円	24,436人	H30	5,815,448円	19,448人	H30	8,931,708円	25,396人
うしお荘			みなと荘																																																					
年度	指定管理料	施設利用者数	年度	指定管理料	施設利用者数																																																			
H25	5,656,844円	18,994人	H25	5,607,295円	29,833人																																																			
H26	5,696,234円	19,776人	H26	5,463,664円	31,510人																																																			
H27	5,721,695円	21,521人	H27	9,605,205円	26,568人																																																			
H28	5,798,862円	20,541人	H28	8,470,372円	29,666人																																																			
H29	5,815,020円	17,803人	H29	8,493,140円	24,436人																																																			
H30	5,815,448円	19,448人	H30	8,931,708円	25,396人																																																			
<p>成 果</p> <p>指定管理者制度による地域に密着した施設運営により、コミュニティづくりに寄与し、地域福祉の増進が図られているので、事業を継続する必要がある。</p>																																																								
<p>成果に係る評価</p>																																																								
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	22,835,000	22,830,900				22,830,900																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )																	
	3 目	障害者福祉費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )																	
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業	障害者福祉費																				
事業コード		004-005-002-00107	事 業 名	障害者援護事業																				
目的及び事業内容		在宅障害者の自立更生と社会参加の促進を図る。 1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 2 身体障害者・知的障害者相談員設置 3 在宅障害者等社会参加促進助成券の交付 4 知的障害者グループホーム体験ステイ事業の実施 5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成 6 難聴児補聴器購入助成 7 重症心身障害児者短期入所利用支援助成事業																						
取組実績		1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 各種手帳の交付状況（所持者数） ※各年度3月31日現在 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>身体障害者手帳</th> <th>療育手帳</th> <th>精神障害者手帳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>5,931人</td> <td>1,199人</td> <td>990人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5,886人</td> <td>1,264人</td> <td>1,036人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5,966人</td> <td>1,319人</td> <td>957人</td> </tr> </tbody> </table> 2 身体障害者相談員設置 身体障害者相談員9名を設置。活動件数 143件 3 在宅障害者等社会参加促進助成券（タクシー券・自動車燃料券） 在宅障害者等の移動を支援し、社会参加を促進した。 平成30年度実績：交付者 2,860人、助成総額 43,004,500円 4 知的障害者グループホーム体験ステイの推進 平成30年度は、実施する事業者がなかったため、実績なし 5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成 居宅において酸素濃縮器等の使用に要する電気料について、助成金を交付した。 平成30年度実績：助成人数 121人、助成総額 2,092,000円 6 難聴児補聴器購入助成 身体障害者手帳の交付対象外の軽・中等度難聴児に対し、補聴器の購入費用の一部を助成した。 平成30年度実績：計4件 助成総額 97,000円 7 重症心身障害児者短期入所利用支援助成事業 重症心身障害児者に対し、圏域外の短期入所施設を利用した際の燃料費相当額等を助成した。 平成30年度実績：計14件（利用者3人）、助成総額 188,108円							年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳	H28	5,931人	1,199人	990人	H29	5,886人	1,264人	1,036人	H30	5,966人	1,319人	957人
年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳																					
H28	5,931人	1,199人	990人																					
H29	5,886人	1,264人	1,036人																					
H30	5,966人	1,319人	957人																					
成 果		障害福祉ガイドブックを配布し、各種制度の周知に努め、適切な利用に繋げることができた。 また、本市独自の各種事業の実施により、在宅障害者の社会参加の促進や自立更生に向けた支援が図られた。																						
成果に係る評価		事業全体として適切に運用されているが、実施事業者がなかったため実績のない知的障害者グループホーム体験ステイについては、実施予定の事業者と連絡調整を行い、事業実施に向けた取り組みを行っていく。 また、難聴児補聴器購入助成事業について、助成対象を購入費のみとしているが、修理についても助成対象としてもらいたいとの要望が出ており、利用者の実情に応じた制度実施を検討する必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	62,422,000	58,784,016	634,000			58,150,016																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																														
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )																																														
	4 目	障害者自立支援費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )																																														
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業	自立支援給付費																																																	
事業コード		004-005-002-00108	事 業 名	障害者自立支援給付事業																																																	
目的及び事業内容		障害者等の福祉の増進を図るため、下記の障害福祉サービス等を実施する。 1 介護給付(ホームヘルプ、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、施設入所支援等) 2 訓練等給付(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、グループホーム) 3 補装具給付(身体障害者、障害児に対する補装具給付) 4 自立支援医療給付(更生医療給付、療養介護医療給付、育成医療給付) 5 医療型短期入所事業(サービス登録事業所である市立病院に対し、空床確保に要する経費を負担)																																																			
取組実績		1 障害福祉サービス給付費(介護給付・訓練等給付) 障害者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行った。 障害福祉サービス給付実績(介護給付・訓練等給付) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>分 類</th> <th>事業所数</th> <th>実利用者</th> <th>延べ利用量</th> <th>給付費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護サービス等</td> <td>33か所</td> <td>272 人</td> <td>45,789 h</td> <td>180,497,423 円</td> </tr> <tr> <td>日中活動系サービス等・居住系</td> <td>235か所</td> <td>1,524 人</td> <td>306,266 日</td> <td>2,060,572,892 円</td> </tr> <tr> <td>サービス計画作成費</td> <td>20か所</td> <td>1,000 人</td> <td>2,261 件</td> <td>32,870,843 円</td> </tr> <tr> <td>特定障害者・高額等給付費</td> <td>67か所</td> <td>343 人</td> <td>4,028 件</td> <td>39,194,202 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,313,135,360 円</td> </tr> </tbody> </table> 2 補装具給付 身体障害者及び身体障害児の機能障害を補い、日常生活を容易にするため、補聴器、義肢、装具、車イス等の厚生労働大臣が定めた補装具の交付及び修理 ・給付実績額：39,973,692円 ・給付件数：328件(交付：210件 修理：118件) 3 自立支援医療給付(更生医療・育成医療・療養介護医療) 身体障害者手帳所持者(18歳以上)で、更生医療の給付が必要と判定された方及び児童福祉法第4条第2項に規定する障害児(18歳未満)で、指定医療機関における障害程度の軽減、除去又は障害の進行を防ぐための治療に要する医療費の一部を支給 療養介護入所施設において医療が提供された障害者に療養介護医療費として支給 ・給付実績 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tbody> <tr> <td>更生医療</td> <td>公費負担額</td> <td>243,246,043円</td> <td>対象者計</td> <td>437人</td> </tr> <tr> <td>育成医療</td> <td>公費負担額</td> <td>1,053,744円</td> <td>対象者計</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>療養介護医療</td> <td>公費負担額</td> <td>27,179,892円</td> <td>実利用人数</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table> 4 高額障害福祉サービス給付実績 293件 2,534,202円 5 医療型短期入所事業(H30年1月事業開始) 延利用人数 11名 給付額 721,890円							分 類	事業所数	実利用者	延べ利用量	給付費	居宅介護サービス等	33か所	272 人	45,789 h	180,497,423 円	日中活動系サービス等・居住系	235か所	1,524 人	306,266 日	2,060,572,892 円	サービス計画作成費	20か所	1,000 人	2,261 件	32,870,843 円	特定障害者・高額等給付費	67か所	343 人	4,028 件	39,194,202 円	計	-	-	-	2,313,135,360 円	更生医療	公費負担額	243,246,043円	対象者計	437人	育成医療	公費負担額	1,053,744円	対象者計	17人	療養介護医療	公費負担額	27,179,892円	実利用人数	28人
分 類	事業所数	実利用者	延べ利用量	給付費																																																	
居宅介護サービス等	33か所	272 人	45,789 h	180,497,423 円																																																	
日中活動系サービス等・居住系	235か所	1,524 人	306,266 日	2,060,572,892 円																																																	
サービス計画作成費	20か所	1,000 人	2,261 件	32,870,843 円																																																	
特定障害者・高額等給付費	67か所	343 人	4,028 件	39,194,202 円																																																	
計	-	-	-	2,313,135,360 円																																																	
更生医療	公費負担額	243,246,043円	対象者計	437人																																																	
育成医療	公費負担額	1,053,744円	対象者計	17人																																																	
療養介護医療	公費負担額	27,179,892円	実利用人数	28人																																																	
成 果		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者、障害児及び難病等対象者が能力・適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付、その他の支援を行うことにより、福祉の増進が図られた。																																																			
成果に係る評価		障害者の抱える課題や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援するため、関係する事業所と連携を図り、量だけでなく質の面でも福祉の増進が図られた。今後もより効果的なサービスを提供することで、積極的な障害者自立支援を図る。																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	2,692,806,309	2,640,531,087	2,002,347,713		409,200	637,774,174																																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )	
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業		相談支援事業費			
事業コード		004-005-002-00110	事 業 名		相談支援事業			
目的及び事業内容		障害者支援専門の相談窓口を設置し、障害者及び障害者の介護を行う者並びに障害児の保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行う。 1 障害者相談支援事業 2 精神障害者コミュニティサロン運営事業 3 基幹相談支援センター運営事業						
取組実績		1 障害者相談支援事業 障害者等の相談に応じ、情報提供や福祉サービスの利用援助等必要な相談援助を行った。 委託先：3か所（指定相談支援事業所） ・相談方法 訪問、来所、同行、電話等 ・相談内容 福祉サービス利用、健康、医療、家計、家族関係、就労 等 ・相談件数 18,481件（H29 17,635件） 2 精神障害者コミュニティサロン運営事業 創作活動、レクリエーション等の各種活動及び専任指導員による生活相談、生活指導を行い、精神障害者の社会復帰や自立に向けての支援を行った。 ・利用決定者数 66人（H29 65人） ・1日平均利用者数 10.0人（H29 11.0人） 3 基幹相談支援センター運営事業 地域の相談支援事業所（3か所）を包括する「基幹相談支援センター」を平成26年4月1日から設置（委託）し、福祉サービス利用援助、権利擁護、社会参加の促進、地域生活における自立支援等、障害者等の生活の安定と福祉の向上のため相談業務を行っている。 ・自立支援協議会、研修会等の開催 66回（H29 176回） ・相談件数 7,560件（H29 11,079件）						
成 果		基幹相談支援センターが開催し、委託先である相談支援事業所も参加している自立支援協議会相談支援部会において、事例検討会等を行うことにより、相談支援事業所間の連携や相談員の質の確保が図られた。						
成果に係る評価		福祉を取り巻く環境の変化に伴い、福祉課題が多様化、複雑化しており、多問題を抱えた相談、当事者のみならず家族への対応が求められる相談等、幅広く困難な相談内容に対応するため、相談支援体制の強化が必要となってきた。 また、障害者の重度化、高齢化や「親亡き後」を見据え、地域生活支援の機能を強化するため、「地域生活支援拠点整備」に向けて、相談体制の整備等機能の検討を引き続き行っていくこととする。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	103,857,000		88,225,703		21,609,016			66,616,687

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																												
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )																												
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )																												
実施計画掲載ページ		P 94	中 事 業		日常生活用具給付等事業費 小児慢性特定疾患児日常生活給付事業費																														
事業コード		004-005-002-00112	事 業 名		日常生活用具給付等事業																														
目的及び事業内容		日常生活用具給付等事業として、日常生活上の便宜を図るため、重度障害者等（身体、知的、精神障害児者又は難病患者）に対し日常生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修費）を給付又は貸与する。 小児慢性特定疾患児日常生活給付事業として、日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児に対し、特殊寝台等の日常生活用具を給付する。																																	
取組実績		日常生活用具の給付件数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">うち児童件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)</td> <td style="text-align: center;">21件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> <tr> <td>2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具、頭部保護帽等)</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> <tr> <td>3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー、パルオキシメーター等)</td> <td style="text-align: center;">36件</td> <td style="text-align: center;">7件</td> </tr> <tr> <td>4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)</td> <td style="text-align: center;">87件</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td>5 排泄管理支援用具 (ストーマ（蓄便・蓄尿）、紙オムツ等)</td> <td style="text-align: center;">3,685件</td> <td style="text-align: center;">210件</td> </tr> <tr> <td>6 住宅改修</td> <td style="text-align: center;">7件</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td>7 小児慢性</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">3,863件</td> <td style="text-align: center;">220件</td> </tr> </tbody> </table>							区分	件数	うち児童件数	1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)	21件	0件	2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具、頭部保護帽等)	26件	0件	3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー、パルオキシメーター等)	36件	7件	4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)	87件	1件	5 排泄管理支援用具 (ストーマ（蓄便・蓄尿）、紙オムツ等)	3,685件	210件	6 住宅改修	7件	1件	7 小児慢性	1件	1件	計	3,863件	220件
区分	件数	うち児童件数																																	
1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)	21件	0件																																	
2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具、頭部保護帽等)	26件	0件																																	
3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー、パルオキシメーター等)	36件	7件																																	
4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)	87件	1件																																	
5 排泄管理支援用具 (ストーマ（蓄便・蓄尿）、紙オムツ等)	3,685件	210件																																	
6 住宅改修	7件	1件																																	
7 小児慢性	1件	1件																																	
計	3,863件	220件																																	
成 果		重度障害者等が日常生活を送るために不可欠な生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修等）の給付を行い、自立の支援が図られた。																																	
成果に係る評価		重度障害者等の日常生活不可欠なものであり、自立支援を図るため、今後とも必要な事業である。現行の基準額、給付条件についての見直し要望があったため、給付品目等も含めた見直しを行い、基準額の引き上げ、給付条件の緩和等を行った（平成31年4月1日施行）。																																	
（単位：円）																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	45,382,000		41,989,882		18,561,756			23,428,126																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																	
	1 項	社会福祉費		第 5 節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )																	
	5 目	地域生活支援事業費		( 4 )	「だれもが暮らしやすい」まちづくりを推進する		( )																	
実施計画掲載ページ		P 97	中 事 業		移動支援事業費																			
事業コード		004-005-004-00113	事 業 名		障害者移動支援事業																			
目的及び事業内容		屋外での移動が困難な障害者及び障害児について、外出のための支援を行うことにより、障害者等の地域での自立生活及び社会参加を促進する。移動支援事業の内容は、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出（原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限る。）に対し行う個別移動支援及びグループ移動支援としている。																						
取組実績		<p>個別に支援が必要な障害者等の外出に対しヘルパーを派遣し、移動の支援を行う個別移動支援と、複数の障害者等のグループの外出に対しヘルパーを派遣し移動の支援を行うグループ移動支援を行った。</p> <p>&lt;移動支援の実績件数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>サービス提供事業所数</th> <th>サービス実利用人数</th> <th>サービス利用実績（時間数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>15</td> <td>139人（うち児童 3人）</td> <td>4,884 時間（うち児童 53時間）</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>16</td> <td>143人（うち児童 2人）</td> <td>4,668 時間（うち児童 6時間）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19</td> <td>141人（うち児童 0人）</td> <td>5,558 時間（うち児童 0時間）</td> </tr> </tbody> </table>							年度	サービス提供事業所数	サービス実利用人数	サービス利用実績（時間数）	H28	15	139人（うち児童 3人）	4,884 時間（うち児童 53時間）	H29	16	143人（うち児童 2人）	4,668 時間（うち児童 6時間）	H30	19	141人（うち児童 0人）	5,558 時間（うち児童 0時間）
年度	サービス提供事業所数	サービス実利用人数	サービス利用実績（時間数）																					
H28	15	139人（うち児童 3人）	4,884 時間（うち児童 53時間）																					
H29	16	143人（うち児童 2人）	4,668 時間（うち児童 6時間）																					
H30	19	141人（うち児童 0人）	5,558 時間（うち児童 0時間）																					
成 果		社会生活上必要不可欠な外出や社会参加のため、屋外での単独移動困難な障害者及び障害児への個々のニーズや置かれた状況に応じた移動支援サービスを提供し地域での自立生活促進が図られた。																						
成果に係る評価		サービス利用人数は横ばいであるが、サービス提供事業所が増え利用時間は増加している。今後も障害者及び障害児の地域における自立生活及び社会参加を促進するためサービス提供事業所を確保し、その機会の充実に取り組む必要がある。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	15,141,000		14,277,337		6,317,721			7,959,616																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	社会福祉費		第 5 節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )	
	5 目	地域生活支援事業費		( 2 )	暮らしやすい生活環境を構築する		( )	
実施計画掲載ページ		P 94	中 事 業		地域活動支援センター費			
事業コード		004-005-002-00114	事 業 名		地域活動支援センター事業			
目的及び事業内容		地域活動支援センターの利用給付を行い、地域の実情に応じ、障害者等の通所による創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流を促進することにより障害者等の自立の促進と社会参加促進を図る。						
取組実績		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的事業 通所による創作的活動、生産活動及び社会との交流機会を提供</li> <li>2 機能強化事業 基礎的事業に加えて、通所による援護事業への支援を強化するほか、地域において雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練等の事業を実施</li> <li>3 送迎支援 自宅から事業所までの送迎に係る支援</li> <li>4 利用実績 ・事業所数 6か所（H29 7か所） ・利用実人数 36人（H29 53人）</li> </ol>						
成 果		障害者の日中活動の場として、創作活動や生産活動等を通じ、地域社会との交流が図られ、障害者の自立と社会参加を促進した。						
成果に係る評価		就労支援等のサービスを提供する事業所へ移行した事業所があり、利用人数、事業所が減少しているものの、障害により就労支援等のサービスの利用が困難な利用者も存在しており、社会参加の機会を確保するため今後も事業を継続する必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	30,672,000		28,574,378		3,467,222			25,107,156

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )	
実施計画掲載ページ		P 95	中 事 業		生活支援事業費			
事業コード		004-005-002-00116	事 業 名		生活支援事業			
目的及び事業内容		障害者が地域社会で自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な事業を推進する。 1 声の市報製作 2 社会参加促進事業補助 3 障害者自動車改造・運転免許取得費助成金 4 訪問入浴サービス事業 5 日中一時支援事業						
取組実績		1 声の市報製作(業務委託)…情報入手困難な視覚障害者に声の市報を配付した。 利用者数：23人 委託額等：682,204円 2 社会参加促進事業補助…事業費補助金の交付により社会参加促進事業を奨励した。 補助件数：9件 補助団体数：7団体 補助額：524,095円 3 障害者自動車改造・運転免許取得費助成金…自動車改造や運転免許取得にかかる費用の一部を助成した。 助成件数：(改造)6件 (免許)6件 助成費：1,104,332円 4 訪問入浴サービス事業…訪問入浴に係る費用について給付を行った。 利用実人数：27人 延利用回数：1,455回 給付額：17,948,068円 5 日中一時支援事業…日中の一時預かりに係る費用について給付を行った。 利用実人数：179人 延利用日数：11,550日 給付額：32,614,250円						
成 果		障害者が地域生活支援事業の各種サービスを利用することにより、日常生活の支援、障害者等家族の介護負担の軽減、社会参加の促進等が図られた。						
成果に係る評価		障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むための必要な事業であり、今後も障害者本人や家族のニーズに応じた助成、給付を継続する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	57,992,000		52,873,890		22,811,770			30,062,120

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																													
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )																													
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )																													
実施計画掲載ページ		P 96	中 事 業		理解促進研修啓発・自発的活動推進事業費																															
事業コード		004-005-002-01214	事 業 名		理解促進研修啓発・自発的活動推進事業																															
目的及び事業内容		障害者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去し、共生社会の実現を図るため、地域住民に対して、障害者等の理解を深めるための研修・啓発事業を行う。 また、障害者等が自立した日常生活及び社会生活が営むことができるよう、障害者や地域住民等による地域における自発的な取組を支援する。																																		
取組実績		1 理解促進啓発研修事業 (1) 教室等開催 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>開催回数</th> <th>対象者</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者理解促進講演会</td> <td>1回</td> <td>市民、事業所等</td> <td>205人</td> </tr> <tr> <td>子ども手話教室</td> <td>1回</td> <td>小・中・高校生</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>障害者差別解消推進に関する市職員研修会</td> <td>2回</td> <td>職員、所属長</td> <td>112人</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学講義「心のバリアフリー」</td> <td>1回</td> <td>専修大学学生</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>職員向け「ワンポイント手話講座」</td> <td>4回</td> <td>職員</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>9回</td> <td></td> <td>387人</td> </tr> </tbody> </table> (2) 広報活動 ・「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例」リーフレットの事業者(商工会議所会員)等への配布 2 自発的活動支援事業 ・障害者等の自発的活動を行う団体等に対し、補助金を交付した。 H30年度補助金交付件数：3件 交付金額：89,383円							内 容	開催回数	対象者	参加者数	障害者理解促進講演会	1回	市民、事業所等	205人	子ども手話教室	1回	小・中・高校生	8人	障害者差別解消推進に関する市職員研修会	2回	職員、所属長	112人	石巻専修大学講義「心のバリアフリー」	1回	専修大学学生	42人	職員向け「ワンポイント手話講座」	4回	職員	20人	計	9回		387人
内 容	開催回数	対象者	参加者数																																	
障害者理解促進講演会	1回	市民、事業所等	205人																																	
子ども手話教室	1回	小・中・高校生	8人																																	
障害者差別解消推進に関する市職員研修会	2回	職員、所属長	112人																																	
石巻専修大学講義「心のバリアフリー」	1回	専修大学学生	42人																																	
職員向け「ワンポイント手話講座」	4回	職員	20人																																	
計	9回		387人																																	
成 果		これまでの教室等の開催に加え、リーフレットの配布により障害に対する理解啓発が図られた。 また、障害者等の自発的活動を行う団体等への補助事業を継続して行い、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むための支援が図られた。																																		
成果に係る評価		障害の有無にかかわらず誰もが安心して暮らせる共生社会の実現のために、全ての人々が障害に対する理解を深める必要があり、事業を継続的に実施していくことで、市民の障害者理解の向上を図っていく必要がある。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	409,000		208,234		92,141			116,093																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )																																																																																																																		
	1 項	社会福祉費		第2節	いきいきと働ける就業環境を創出する		( )																																																																																																																		
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	多様なニーズに対応した就業支援を推進する		( )																																																																																																																		
実施計画掲載ページ		P41	中 事 業		地域包括ケア推進人材確保事業費																																																																																																																				
事業コード		003-002-001-01128	事 業 名		奨学金返還支援事業																																																																																																																				
目的及び事業内容		<p>地域包括ケアを推進していく上で必要となる医療・福祉・介護職の人材確保と定住促進を図るため、市が定める資格を有し、市内居住及び市内事業所で就労する者に対し、その者が自ら貸与された奨学金を返還した場合に、年額20万円を上限に最長3年間、助成金を交付する。</p> <p>※市が定める資格 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士</p>																																																																																																																							
取組実績		<p>1 奨学金返還支援事業助成金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付期間 前期 平成30年4月2日～27日、後期 10月1日～31日</li> <li>・交付実績</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付者数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>19人</td> <td>2,143,594円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>55人</td> <td>6,712,155円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>74人</td> <td>11,297,029円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金交付者の保有資格内訳</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資格</th> <th rowspan="2">H28</th> <th rowspan="2">H29</th> <th colspan="2">(内訳)</th> <th rowspan="2">H30</th> <th colspan="2">(内訳)</th> </tr> <tr> <th>2年目</th> <th>新規</th> <th>3年目</th> <th>2年目</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>12人</td> <td>26人</td> <td>11人</td> <td>15人</td> <td>30人</td> <td>10人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1人</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>11人</td> <td>1人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>8人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>精神保健福祉士</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>15人</td> <td>0人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19人</td> <td>55人</td> <td>19人</td> <td>36人</td> <td>74人</td> <td>18人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業の周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、市ホームページ及び日本学生支援機構ホームページに掲載</li> <li>・関係団体への周知依頼とパンフレットの設置 (石巻市医師会及び桃生郡医師会、石巻市社会福祉協議会、ハローワーク石巻等64団体)</li> </ul>							区分	交付者数	交付額	H28	19人	2,143,594円	H29	55人	6,712,155円	H30	74人	11,297,029円	資格	H28	H29	(内訳)		H30	(内訳)		2年目	新規	3年目	2年目	新規	看護師	12人	26人	11人	15人	30人	10人	11人	保健師	0人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	助産師	0人	0人	0人	2人	0人	0人	2人	理学療法士	1人	7人	1人	6人	11人	1人	6人	作業療法士	2人	5人	2人	3人	8人	2人	3人	言語聴覚士	0人	1人	0人	1人	1人	0人	1人	社会福祉士	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	介護福祉士	2人	3人	2人	1人	4人	2人	0人	精神保健福祉士	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	保育士	0人	10人	0人	10人	15人	0人	10人	合計	19人	55人	19人	36人	74人	18人	31人
区分	交付者数	交付額																																																																																																																							
H28	19人	2,143,594円																																																																																																																							
H29	55人	6,712,155円																																																																																																																							
H30	74人	11,297,029円																																																																																																																							
資格	H28	H29	(内訳)		H30	(内訳)																																																																																																																			
			2年目	新規		3年目	2年目	新規																																																																																																																	
看護師	12人	26人	11人	15人	30人	10人	11人																																																																																																																		
保健師	0人	1人	1人	0人	1人	1人	0人																																																																																																																		
助産師	0人	0人	0人	2人	0人	0人	2人																																																																																																																		
理学療法士	1人	7人	1人	6人	11人	1人	6人																																																																																																																		
作業療法士	2人	5人	2人	3人	8人	2人	3人																																																																																																																		
言語聴覚士	0人	1人	0人	1人	1人	0人	1人																																																																																																																		
社会福祉士	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人																																																																																																																		
介護福祉士	2人	3人	2人	1人	4人	2人	0人																																																																																																																		
精神保健福祉士	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人																																																																																																																		
保育士	0人	10人	0人	10人	15人	0人	10人																																																																																																																		
合計	19人	55人	19人	36人	74人	18人	31人																																																																																																																		
成 果		平成28年度の助成金交付者19名のうち、3年目である平成30年度も交付を受けたのは18名(約95%)であることから、対象者の定住及び就業の定着がみられた。 市内事業所では、本事業を採用活動に用いるなど、制度の周知についても効果が得られた。																																																																																																																							
成果に係る評価		医療・福祉・介護職の人材確保等の効果があった。特に、平成28年度からの継続申請者については市内への定住及び就業の定着の効果があった。 今後も事業の周知を徹底し、地域包括ケアの推進に必要な人材の確保と定住促進を図る。																																																																																																																							
(単位：円)																																																																																																																									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																																				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																	
	11,994,000		11,297,029				2,000,000	9,297,029																																																																																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																												
	1 項	社会福祉費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																												
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																												
実施計画掲載ページ		P68	中 事 業		地域包括ケアサービス事業費																														
事業コード		004-002-001-01063	事 業 名		共生型地域包括ケアサービス事業																														
目的及び事業内容		<p>少子高齢化が深刻な離半島において、高齢者のみならず、障がい者や子ども等も対象とした「共生型」の通所サービスを提供し、保健・福祉を必要とする人たちの居場所の確保と見守り等を行いながら、利用者の生活の質の向上、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。</p>																																	
取組実績		<p>1 実施場所 社団法人福祉センター「清優館」</p> <p>2 実施回数 年間60回</p> <p>3 利用登録者数 49人(男10人・女39人) ※うち障がい者は、男3人・女3人</p> <p>4 利用延人数 543人(男33人・女510人)</p> <p>5 サービス実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活や健康に関する相談・指導等</li> <li>(2) 健康状態の確認(血圧測定、脈拍測定等)</li> <li>(3) 日常動作訓練(健康体操、転倒防止体操等)</li> <li>(4) 教養講座・制作活動・その他レクリエーション等</li> <li>(5) 利用者の送迎</li> <li>(6) 昼食サービスほか</li> </ol>																																	
成 果		<p>障がい者福祉サービス事業所の利用者も参加し、地域の高齢者と一緒に制作活動やレクリエーションを行うなど、利用者相互の交流が見られ、心身機能の維持向上等が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th colspan="2">利用延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>62回</td> <td>600人</td> <td>455人</td> <td>75.8%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>598人</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>552人</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>543人</td> <td>90.5%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	実施回数	利用延べ人数		達成率	目標	実績	H27	62回	600人	455人	75.8%	H28	60回	600人	598人	99.7%	H29	60回	600人	552人	92.0%	H30	60回	600人	543人	90.5%
区分	実施回数	利用延べ人数		達成率																															
		目標	実績																																
H27	62回	600人	455人	75.8%																															
H28	60回	600人	598人	99.7%																															
H29	60回	600人	552人	92.0%																															
H30	60回	600人	543人	90.5%																															
成果に係る評価		<p>利用者の生きがいづくりや介護予防の点からも有用な事業と思われ、平成30年度は障がい者の利用もあったことから、「共生型」としての目的を果たしている。 今後も、共生型通所サービスとして継続し、将来的には、地域住民が主体的に事業を実施していけるよう支援していく。</p>																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	3,888,000		3,888,000					3,888,000																											



予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																					
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		( )																					
	5 目	地域生活支援事業費		(1)	みんなで支えあう地域づくりを推進する		( )																					
実施計画掲載ページ		P 59	中 事 業		地域包括ケアサービス事業費																							
事業コード		004-001-001-01064	事 業 名		買物支援対策事業																							
目的及び事業内容		高齢化や身近な店舗の閉鎖等により買物弱者が多数存在する離半島部等において、買物支援対策事業を実施する住民団体等に対し、事業に要する経費の一部を助成することにより、買物困難地域における買物の利便性の向上を図る。																										
取組実績		<p>1 実施事業</p> <p>離半島部において、日常生活に必要な物資の一括購入、買物の場の提供、無料配達等を実施する団体に対し、物資輸送費（船賃）の実費相当額を助成金として交付した。</p> <p>2 買物支援対策助成金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>309,040円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>265,530円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>274,600円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>271,310円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度はモデル事業として実施</p>							区分	申請件数	交付件数	交付額	H27	1件	1件	309,040円	H28	1件	1件	265,530円	H29	1件	1件	274,600円	H30	1件	1件	271,310円
区分	申請件数	交付件数	交付額																									
H27	1件	1件	309,040円																									
H28	1件	1件	265,530円																									
H29	1件	1件	274,600円																									
H30	1件	1件	271,310円																									
成 果		助成金を交付することで、地域包括ケアの中でも重要な役割である「支えあい（互助）」による買物支援対策事業が安定的に行われ、買物困難地域における買物の利便性の向上が図られた。 なお、助成先である長渡婦人会内では後継者が育ちつつあり、事業継続に意欲を持っている。																										
成果に係る評価		買物困難地域における住民同士の支えあい、互助のあり方等について、地域の実情を踏まえた検討を行いながら、今後も地域住民の取組を支援していく。																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	600,000	271,310				271,310																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																									
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )																																									
	6 目	特別障害者手当等措置費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )																																									
実施計画掲載ページ		P 95	中 事 業		特別障害者手当等措置費																																											
事業コード		004-005-002-00117	事 業 名		特別障害者手当等措置事業																																											
目的及び事業内容		特別児童扶養手当等の支給に関する法律等に基づき、精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当等を支給することにより、福祉の増進を図る。																																														
取組実績		<p>1 各種手当制度に基づき、適切な手当支給に努めた。 (支給対象者)</p> <p>(1) 特別障害者手当 20歳以上で著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の者</p> <p>(2) 障害児福祉手当 20歳未満で重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">特別障害者手当</td> <td>総 額</td> <td>45,794,930円</td> <td>42,955,260円</td> <td>41,265,090円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>142人</td> <td>128人</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>手当月額</td> <td>26,830円</td> <td>26,810円</td> <td>26,940円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">障害児福祉手当</td> <td>総 額</td> <td>11,373,120円</td> <td>12,074,920円</td> <td>11,798,310円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>68人</td> <td>67人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>手当月額</td> <td>14,600円</td> <td>14,580円</td> <td>14,650円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>総 額</td> <td>57,168,050円</td> <td>55,030,180円</td> <td>53,063,400円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>210人</td> <td>195人</td> <td>192人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分		H28	H29	H30	特別障害者手当	総 額	45,794,930円	42,955,260円	41,265,090円	支給者数	142人	128人	128人	手当月額	26,830円	26,810円	26,940円	障害児福祉手当	総 額	11,373,120円	12,074,920円	11,798,310円	支給者数	68人	67人	64人	手当月額	14,600円	14,580円	14,650円	計	総 額	57,168,050円	55,030,180円	53,063,400円	支給者数	210人	195人	192人
区 分		H28	H29	H30																																												
特別障害者手当	総 額	45,794,930円	42,955,260円	41,265,090円																																												
	支給者数	142人	128人	128人																																												
	手当月額	26,830円	26,810円	26,940円																																												
障害児福祉手当	総 額	11,373,120円	12,074,920円	11,798,310円																																												
	支給者数	68人	67人	64人																																												
	手当月額	14,600円	14,580円	14,650円																																												
計	総 額	57,168,050円	55,030,180円	53,063,400円																																												
	支給者数	210人	195人	192人																																												
成 果		適切な手当の認定及び支給を行い、経済的な面から生活を支援し、在宅生活している重度の障害児者の福祉の増進を図ることができた。																																														
成果に係る評価		重度の障害児者が在宅生活を維持するため、特に必要とされる負担の軽減を図るため、今後も継続する必要がある。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	53,316,000	53,063,400	39,986,842			13,076,558																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																									
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		( )																									
	7 目	心身障害者医療対策費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		( )																									
実施計画掲載ページ		P 95	中 事 業	心身障害者医療対策費																												
事業コード		004-005-002-00119	事 業 名	心身障害者医療対策事業																												
目的及び事業内容		<p>重度心身障害者等の医療費を助成することにより、重度心身障害者等の生活の安定を図る。重度心身障害者については、助成対象者に係る医療費（入院時食事療養費を除く。）のうち医療保険各法に定める一部負担金（各法による公費負担額、高額療養費、附加給付額を控除した額）を対象者又はその保護者に助成する。</p> <p>中度心身障害者（特別児童扶養手当2級該当者）については、上記一部負担金の95%の額を助成する。</p>																														
取組実績		<p>重・中度心身障害者医療費助成の実施 重度心身障害者及び中度心身障害者の医療費の一部を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>重度心身障害者</td> <td>3,426人 (内停止中344人)</td> <td>3,390人 (内停止中228人)</td> <td>3,334人 (内停止中191人)</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者</td> <td>120人 (内停止中 5人)</td> <td>124人 (内停止中 74人)</td> <td>125人 (内停止中82人)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,546人 (内停止中349人)</td> <td>3,514人 (内停止中302人)</td> <td>3,459人 (内停止中273人)</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td>277,047,670円</td> <td>280,386,061円</td> <td>306,734,395円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※( )内は、震災による医療費免除該当、子ども医療費該当又は所得超過による助成停止者数</p>							年度	H28	H29	H30	対象者数				重度心身障害者	3,426人 (内停止中344人)	3,390人 (内停止中228人)	3,334人 (内停止中191人)	中度心身障害者	120人 (内停止中 5人)	124人 (内停止中 74人)	125人 (内停止中82人)	計	3,546人 (内停止中349人)	3,514人 (内停止中302人)	3,459人 (内停止中273人)	助成額	277,047,670円	280,386,061円	306,734,395円
年度	H28	H29	H30																													
対象者数																																
重度心身障害者	3,426人 (内停止中344人)	3,390人 (内停止中228人)	3,334人 (内停止中191人)																													
中度心身障害者	120人 (内停止中 5人)	124人 (内停止中 74人)	125人 (内停止中82人)																													
計	3,546人 (内停止中349人)	3,514人 (内停止中302人)	3,459人 (内停止中273人)																													
助成額	277,047,670円	280,386,061円	306,734,395円																													
成 果		<p>本事業の実施により、重・中度心身障害者に対し、適正な医療の機会を確保するとともに経済的負担の軽減が図られ、対象者に必要な医療が確保された。</p>																														
成果に係る評価		<p>平成29年度末で被災者に対する国民健康保険の医療費免除が終了し、医療費免除の適用が終了した者に対して医療費助成を再開した。今後も、障害者の適正な医療の確保のため、事業を継続する必要がある。</p> <p>本助成は身体及び知的障害者を対象としているが、精神障害者への対象拡充についての要望を受け、助成制度が令和元年10月から精神I級にも拡充されるところである。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	311,000,000	306,734,395	151,845,000			154,889,395																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																											
	1 項	社会福祉費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																																																																																											
	8 目	子ども医療対策費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																																																																																											
実施計画掲載ページ		P67	中 事 業	子ども医療対策費																																																																																														
事業コード		004-002-001-00074	事 業 名	子ども医療費助成事業																																																																																														
目的及び事業内容		<p>子どもに対する適正な医療の機会を確保し、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として、出生から中学3年生（15歳に達する年度の末日にある者）までの入院・通院に係る医療費の一部負担金を助成する。</p>																																																																																																
取組実績		<p>・出生から中学3年生までの入院及び通院に係る医療費の一部負担金を助成した。</p> <p>・通院分の所得制限を撤廃し受給者の拡大（3,012人）を図った。</p> <p>・所得制限を撤廃しても、依然として未申請者の方がいることから、市報、ホームページ及び各種子育て情報誌による周知を行うとともに、未申請者への申請案内を送付した。</p> <p>受給者内訳 (平成31年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>16,721人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">受給者数</td> <td>県補助対象</td> <td>5,573人 33.3%</td> </tr> <tr> <td>独自拡大対象</td> <td>10,981人 65.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,554人 99.0%</td> </tr> <tr> <td>未申請者数</td> <td>167人</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>							項目	人数	割合	対象者数	16,721人	—	受給者数	県補助対象	5,573人 33.3%	独自拡大対象	10,981人 65.7%	計	16,554人 99.0%	未申請者数	167人	1.0%																																																																										
項目	人数	割合																																																																																																
対象者数	16,721人	—																																																																																																
受給者数	県補助対象	5,573人 33.3%																																																																																																
	独自拡大対象	10,981人 65.7%																																																																																																
	計	16,554人 99.0%																																																																																																
未申請者数	167人	1.0%																																																																																																
成 果		<p>子育て世代の経済的負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">受給者数 (人)</th> <th colspan="2">県補助対象</th> <th colspan="2">独自拡大対象</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>助成額(円)</th> <th>件数</th> <th>助成額(円)</th> <th>件数</th> <th>助成額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H28</td> <td>国保</td> <td>3,110</td> <td>8,005</td> <td>15,210,454</td> <td>22,628</td> <td>40,053,497</td> <td>30,633</td> <td>55,263,951</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>14,155</td> <td>44,031</td> <td>74,920,075</td> <td>128,241</td> <td>224,093,194</td> <td>172,272</td> <td>299,013,269</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,265</td> <td>52,036</td> <td>90,130,529</td> <td>150,869</td> <td>264,146,691</td> <td>202,905</td> <td>354,277,220</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>国保</td> <td>2,814</td> <td>14,829</td> <td>21,902,301</td> <td>14,375</td> <td>29,992,723</td> <td>29,204</td> <td>51,895,024</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>14,255</td> <td>103,476</td> <td>168,343,502</td> <td>87,757</td> <td>183,457,311</td> <td>191,233</td> <td>351,800,813</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,069</td> <td>118,305</td> <td>190,245,803</td> <td>102,132</td> <td>213,450,034</td> <td>220,437</td> <td>403,695,837</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>国保</td> <td>2,598</td> <td>15,639</td> <td>23,487,019</td> <td>18,171</td> <td>38,065,283</td> <td>33,810</td> <td>61,552,302</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,956</td> <td>99,340</td> <td>156,442,709</td> <td>121,703</td> <td>245,435,680</td> <td>221,043</td> <td>401,878,389</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,554</td> <td>114,979</td> <td>179,929,728</td> <td>139,874</td> <td>283,500,963</td> <td>254,853</td> <td>463,430,691</td> </tr> </tbody> </table> <p>※助成対象年齢  ・平成28年10月～ 入院、通院とも中学3年生まで（通院所得制限あり）  ・平成30年 4月～ 入院、通院とも中学3年生まで（所得制限なし）</p>							年度	区分	受給者数 (人)	県補助対象		独自拡大対象		計		件数	助成額(円)	件数	助成額(円)	件数	助成額(円)	H28	国保	3,110	8,005	15,210,454	22,628	40,053,497	30,633	55,263,951	社保	14,155	44,031	74,920,075	128,241	224,093,194	172,272	299,013,269	計	17,265	52,036	90,130,529	150,869	264,146,691	202,905	354,277,220	H29	国保	2,814	14,829	21,902,301	14,375	29,992,723	29,204	51,895,024	社保	14,255	103,476	168,343,502	87,757	183,457,311	191,233	351,800,813	計	17,069	118,305	190,245,803	102,132	213,450,034	220,437	403,695,837	H30	国保	2,598	15,639	23,487,019	18,171	38,065,283	33,810	61,552,302	社保	13,956	99,340	156,442,709	121,703	245,435,680	221,043	401,878,389	計	16,554	114,979	179,929,728	139,874	283,500,963	254,853	463,430,691
年度	区分	受給者数 (人)	県補助対象		独自拡大対象		計																																																																																											
			件数	助成額(円)	件数	助成額(円)	件数	助成額(円)																																																																																										
H28	国保	3,110	8,005	15,210,454	22,628	40,053,497	30,633	55,263,951																																																																																										
	社保	14,155	44,031	74,920,075	128,241	224,093,194	172,272	299,013,269																																																																																										
	計	17,265	52,036	90,130,529	150,869	264,146,691	202,905	354,277,220																																																																																										
H29	国保	2,814	14,829	21,902,301	14,375	29,992,723	29,204	51,895,024																																																																																										
	社保	14,255	103,476	168,343,502	87,757	183,457,311	191,233	351,800,813																																																																																										
	計	17,069	118,305	190,245,803	102,132	213,450,034	220,437	403,695,837																																																																																										
H30	国保	2,598	15,639	23,487,019	18,171	38,065,283	33,810	61,552,302																																																																																										
	社保	13,956	99,340	156,442,709	121,703	245,435,680	221,043	401,878,389																																																																																										
	計	16,554	114,979	179,929,728	139,874	283,500,963	254,853	463,430,691																																																																																										
成果に係る評価		<p>所得制限を撤廃することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を拡充することができた。</p> <p>また、制度周知や申請案内通知により未申請者割合を減少させることができたが、更なる周知に努めたい。</p>																																																																																																
(単位：円)																																																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																												
	475,001,691	474,618,411	151,334,000			323,284,411																																																																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																															
	1 項	社会福祉費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																															
	11 目	市民相談センター費		(2)	青少年を健全に育成する		( )																															
実施計画掲載ページ		P34	中 事業	少年センター運営費																																		
事業コード	002-002-002-00144	事業名	青少年健全育成事業																																			
目的及び事業内容		少年の非行防止及び非行対策に関し、関係機関、学校、関係団体及び民間有志者の密接な連携のもとに、広く地域社会の理解と協力を求め、総合的かつ効果的な活動を推進し、少年の健全な育成を図る。																																				
取組実績		<p>1 少年補導員による街頭補導活動の実施 各地区に配置している少年補導員による毎月の街頭補導、川開き祭り特別街頭補導及び県下一斉警戒パトロール等を実施した。街頭補導活動においては、少年補導員141名により、少年非行の早期発見、未然防止及び少年の健全育成を目的に、遊技場、駅、公園などを中心に実施した。 また、今年度は本市を会場に宮城県補導センター連絡協議会を開催し、県内各市町と情報交換を行った。</p> <p>2 少年相談 主に不登校や教育問題に悩む親等からの相談に対応した。</p> <p>3 地域における不審者対策ネットワークの推進 ネットワークの会員と地域の団体等が、児童の下校時に年4回ほど同行し、市内全小学校の通学路のパトロールを実施した。また、不審者情報を市ホームページに適宜掲載し注意喚起を行った。</p> <p>4 地域における青少年健全育成の推進 地域で青少年健全育成活動を実施する団体で構成する市民会議による、市民総ぐるみの積極的な地域活動の推進を実施した。</p>																																				
成果		<p>学校や地域等の関係機関の有機的な連携のもと、街頭補導やパトロール等を実施することにより、青少年の非行防止と健全育成に寄与した。</p> <p>&lt;街頭補導実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施回数</th> <th>出勤延人数</th> <th>声かけ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>526回</td> <td>1,525人</td> <td>503件</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>574回</td> <td>1,608人</td> <td>355件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>557回</td> <td>1,550人</td> <td>275件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>486回</td> <td>1,350人</td> <td>625件</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;少年相談実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>36件</td> <td>24件</td> <td>25件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>							区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数	H27	526回	1,525人	503件	H28	574回	1,608人	355件	H29	557回	1,550人	275件	H30	486回	1,350人	625件		H27	H28	H29	H30		36件	24件	25件	10件
区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数																																			
H27	526回	1,525人	503件																																			
H28	574回	1,608人	355件																																			
H29	557回	1,550人	275件																																			
H30	486回	1,350人	625件																																			
	H27	H28	H29	H30																																		
	36件	24件	25件	10件																																		
成果に係る評価		<p>本事業の根幹となる年間街頭補導における少年補導員の延べ実施回数及び出勤人数は、ともに前年度比13%減少している一方で、子どもたちへの「愛の一声」（挨拶、気軽な会話、安全指導等）は激増している。増加の要因として近年各地で多発している凶悪犯罪の発生が挙げられ、少年補導員の路上や公園等での「見守り」に留まらず積極的に地域の子どもに関わる「地域の子どもたちを地域が守る」姿勢の表れとなっている。</p> <p>健全育成、事故の防止、及び不審者抑止の対策として、地域・家庭・学校が互いに連携を深め、地域の宝である子どもたちをしっかりと見守っていくことは極めて重要である。「声がけ」の輪の拡大が地域のコミュニケーションを深め、子どもたちの安心感にもつながるため、今後も「愛の一声」運動の推進を提起していく必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	8,204,000		7,218,585		300,000			6,918,585																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																																																																																												
	1 項	社会福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																																																																																																																																												
	11 目	市民相談センター費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																																																																																																																																												
実施計画掲載ページ		P82	中 事業	市民相談センター事業費																																																																																																																																																															
事業コード	004-003-001-00145	事業名	市民相談事業（家庭児童相談・市民相談）																																																																																																																																																																
目的及び事業内容		子育てなどの家庭児童・母子相談をはじめ、市民生活全般にわたる相談など、複雑多様な相談を一つの窓口で受理し、適切な支援に繋げることにより市民生活の利便性と福祉の向上を図る。また、専門的事業の支援として、仙台弁護士会への委託による定期的な無料法律相談を実施している。																																																																																																																																																																	
取組実績		<p>1 市民相談 市民相談担当職員1人を配置し、市民生活全般の相談等を実施した。</p> <p>2 家庭児童相談 家庭児童相談員1人を配置し、以下の相談等を実施した。 ・家庭児童相談 ・女性相談 ・養育訪問支援利用相談 ・障害児通所サービス利用に係る相談 ・助産施設利用相談 ・母子生活支援施設利用相談 ・里親の申請相談など</p> <p>3 弁護士による無料法律相談 年24回実施（毎月2回、第2・第4火曜日）</p>																																																																																																																																																																	
成果		<p>相談者の福祉向上を図るため、各種相談に対して適切な助言及び援手を行った。また、無料法律相談を実施することにより、専門的事業の早期解決の一助を担った。</p> <p>1 市民相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>行政</th> <th>事故等</th> <th>相続</th> <th>不動産賃貸借</th> <th>離婚</th> <th>家庭内不和</th> <th>法律</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td></td> <td>88</td> <td>3</td> <td>46</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>327</td> <td>531</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>67</td> <td>10</td> <td>57</td> <td>25</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>379</td> <td>558</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度から相談分類変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>行政</th> <th>事故等</th> <th>相続</th> <th>不動産</th> <th>離婚</th> <th>親族家族間問題</th> <th>法律</th> <th>近隣問題</th> <th>窓口紹介</th> <th>生活困窮</th> <th>健康</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>83</td> <td>3</td> <td>49</td> <td>29</td> <td>10</td> <td>28</td> <td>11</td> <td>121</td> <td>139</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>565</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 家庭児童相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="5">家庭児童相談関係</th> <th colspan="3">母子相談関係</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>虐待</th> <th>不登校</th> <th>家族関係</th> <th>児童その他</th> <th>療育申請相談</th> <th>離婚</th> <th>DV</th> <th>婦人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>74</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>100</td> <td>243</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>47</td> <td>34</td> <td>0</td> <td>41</td> <td>0</td> <td>180</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>85</td> <td>38</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>149</td> <td>289</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 無料法律相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>回数</th> <th>金銭貸借</th> <th>不動産</th> <th>相続</th> <th>離婚</th> <th>親族</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td></td> <td>24</td> <td>28</td> <td>17</td> <td>38</td> <td>28</td> <td>12</td> <td>35</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>24</td> <td>30</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>14</td> <td>35</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>24</td> <td>50</td> <td>16</td> <td>37</td> <td>26</td> <td>19</td> <td>34</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table>							年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産賃貸借	離婚	家庭内不和	法律	その他	合計	H28		88	3	46	35	10	7	15	327	531	H29		67	10	57	25	7	10	3	379	558	年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族間問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計	H30		83	3	49	29	10	28	11	121	139	32	34	26	565	年度	内訳	家庭児童相談関係					母子相談関係			合計	虐待	不登校	家族関係	児童その他	療育申請相談	離婚	DV	婦人	H28		0	0	74	40	0	28	1	100	243	H29		1	2	47	34	0	41	0	180	305	H30		0	0	85	38	0	17	0	149	289	年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計	H28		24	28	17	38	28	12	35	158	H29		24	30	23	23	33	14	35	158	H30		24	50	16	37	26	19	34	182
年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産賃貸借	離婚	家庭内不和	法律	その他	合計																																																																																																																																																									
H28		88	3	46	35	10	7	15	327	531																																																																																																																																																									
H29		67	10	57	25	7	10	3	379	558																																																																																																																																																									
年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族間問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計																																																																																																																																																					
H30		83	3	49	29	10	28	11	121	139	32	34	26	565																																																																																																																																																					
年度	内訳	家庭児童相談関係					母子相談関係			合計																																																																																																																																																									
		虐待	不登校	家族関係	児童その他	療育申請相談	離婚	DV	婦人																																																																																																																																																										
H28		0	0	74	40	0	28	1	100	243																																																																																																																																																									
H29		1	2	47	34	0	41	0	180	305																																																																																																																																																									
H30		0	0	85	38	0	17	0	149	289																																																																																																																																																									
年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計																																																																																																																																																										
H28		24	28	17	38	28	12	35	158																																																																																																																																																										
H29		24	30	23	23	33	14	35	158																																																																																																																																																										
H30		24	50	16	37	26	19	34	182																																																																																																																																																										
成果に係る評価		<p>市民生活全般にかかる相談件数は年々増加傾向にあるが、家庭児童相談は減少しており、相談する関係機関が増えたことが減少要因の一つと考えられる。複雑化・多様化する相談に対して、迅速かつ適切な解決及び支援を行うことにより、市民の福祉向上が図られるため、今後も継続的に相談事業を実施していく必要がある。また、相談者は複合的な問題を抱えている場合が多いことから、今後も各関係機関・団体等との連携をさらに強化するとともに、中・長期的に関わっていく必要がある。</p>																																																																																																																																																																	
(単位：円)																																																																																																																																																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																																																																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																											
	4,940,000		4,226,804					4,226,804																																																																																																																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																				
	1 項	社会福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																																				
	12 目	権利擁護推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																																				
実施計画掲載ページ		P 83		中 事 業	要保護児童対策事業費																																																						
事業コード		004-003-001-00147		事 業 名	要保護児童対策事業																																																						
目的及び事業内容		<p>子どもの幸せと健やかな成長を促すために、福祉、教育、保健、医療、警察、司法などの関係機関や団体等が円滑な連携・協力を図り、児童虐待等の要保護児童の早期発見や適切な支援を行うことを目的に、平成21年5月に「石巻市要保護児童対策地域協議会」を設置した。</p> <p>要保護児童に関する情報や適切な保護を図るために必要な情報交換を行いながら、支援の内容に関する協議を行い速やかに対応するとともに、児童虐待防止研修会の開催やリーフレットの配布など市民への虐待防止の啓発を行う。</p>																																																									
取組実績		<p>1 石巻市要保護児童対策地域協議会 関係機関等が、要保護児童及びその家族に関する情報や考え方を共有し、適切な連携の下で対応することで要保護児童の早期発見や適切な保護が図られた。</p> <p>(1) 代表者会議の開催 1回 関係機関の代表者19名で構成され、要保護対策のシステム全体の検討・施策の策定を行った。</p> <p>(2) 実務者会議の開催（進行管理ケース数：市193人、児相603人 合計796人） ・全体実務者会議 2回 協議会の年間活動方針の策定、啓発活動の企画を行った。 ・ブロック別実務者会議 4ブロック×3回 全体的なケースの支援の見直しや役割の確認を行った。</p> <p>(3) 個別ケース検討会議（カンファレンスを含む） 31回 要保護児童の状況把握や問題点の確認を行った。</p> <p>2 児童虐待防止啓発事業 (1) 「子どもの日常生活調査」の実施(小学校8校・6年生281名を対象) 啓発リーフレットを市内小学校1年生（保護者向け）及び母子手帳交付者に配布した。 (2) 虐待防止啓発講演(出前講座含む) 3回 延べ340人参加</p> <p>3 専門カウンセラー相談会 子どもへの虐待や生育歴で虐待された経験やDVを受けている相談者に対して、心理カウンセラーや家族相談士によるカウンセリングを実施した。 28回開催 実利用者19人 延べ利用者45人</p> <p>4 児童虐待防止講演会 虐待防止の意識啓発を図ることを目的とした講演会を12月に開催し、虐待問題に対する関心の高まりと、理解の促進を図った。 日時:平成30年12月21日(金) 場所:河北総合センター 参加者:205名</p>																																																									
成 果		<p>関係機関との連携により、虐待事案等の重症化防止と要保護児童の安全確保が図られた。</p> <p>対応実績推移 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">新規 (再起含む)</th> <th colspan="3">前年度からの 継続</th> <th colspan="3">合 計</th> <th colspan="3">終結ケース (再掲)</th> </tr> <tr> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>95</td> <td>404</td> <td>499</td> <td>95</td> <td>107</td> <td>202</td> <td>190</td> <td>511</td> <td>701</td> <td>94</td> <td>413</td> <td>507</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>96</td> <td>506</td> <td>602</td> <td>97</td> <td>97</td> <td>194</td> <td>193</td> <td>603</td> <td>796</td> <td>99</td> <td>406</td> <td>505</td> </tr> </tbody> </table>								新規 (再起含む)			前年度からの 継続			合 計			終結ケース (再掲)			市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	H29	95	404	499	95	107	202	190	511	701	94	413	507	H30	96	506	602	97	97	194	193	603	796	99	406	505
	新規 (再起含む)			前年度からの 継続			合 計			終結ケース (再掲)																																																	
	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計																																															
H29	95	404	499	95	107	202	190	511	701	94	413	507																																															
H30	96	506	602	97	97	194	193	603	796	99	406	505																																															
成果に係る評価		<p>本市の要保護児童対応実績件数は、市虐待防止センター（市）対応分は、前年度から横ばいであるが、東部児童相談所（児相）の対応件数を含めると増加している。昨今、「しつけ」と称して子どもを死亡させる児童虐待が相次ぎ、市民の関心度や認識度が高まったことが増加要因の一つと考えられる。児童への虐待は、保護者の生育歴や精神疾患の悪化、経済的困窮や日々の生活ストレスなど、様々な要因が考えられるが、今後も要保護児童の早期発見と適切な支援を行う必要がある。</p> <p>また、情報交換会や個別ケース会議等をさらに充実させるとともに、児童相談所や警察、関係機関と連携を図りながら、子どもたちを虐待から見守る体制の強化に努めていくことも重要である。</p>																																																									
(単位：円)																																																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
		3,610,000	1,194,987	426,000			768,987																																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																						
	1 項	社会福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )																																																						
	12 目	権利擁護推進費		(4)	認知症高齢者と家族を支援する		( )																																																						
実施計画掲載ページ		P 92		中 事 業	虐待防止センター事業費																																																								
事業コード		004-004-004-00611		事 業 名	虐待防止センター事業																																																								
目的及び事業内容		<p>高齢者虐待や障害者虐待、ドメスティックバイオレンスは尊厳を著しく侵し、その自立及び社会参加に深刻な影響を与えることから、虐待等の未然防止や重症化を防ぐための体制整備を行い、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して暮らせることを目的とする。</p> <p>また、事案の複雑化・重症化に伴い、専門的見地からの支援が必要となるケースが増加してきたことから、虐待対応への専門的知識と技術を持つ専門職を配置し、体制を整備するとともに、虐待に対する理解促進と未然防止のための啓発事業の実施のほか、重症化防止及び権利擁護のため支援事業を行う。</p>																																																											
取組実績		<p>虐待を受けた高齢者・障害者及びDV被害者の保護並びに自立支援と養護者に対する支援措置等を実施して重症化の防止を図るとともに、虐待防止の啓発に向けて周知に取り組んだ。</p> <p>1 高齢者虐待防止事業 (1) 老人特例保護措置⇒ 平成30年度利用人数 2人 延べ95日利用 (2) 緊急一時保護事業（家庭内暴力防止支援事業）⇒ 平成30年度利用実績なし (3) 高齢者権利擁護委託事業⇒ 権利擁護支援のため弁護士相談委託</p> <p>2 障害者虐待防止事業 (1) 障害者虐待家庭訪問個別支援事業⇒ 平成30年度利用実績なし (2) 緊急一時保護事業⇒ 平成30年度利用実績なし</p> <p>3 DV被害者支援事業 (1) DV被害者支援施策 ア 緊急一時保護（1件） イ 母子生活支援施設入所措置（平成31年3月末現在2世帯4名利用中）※1世帯2名が新規で利用 ウ 保護命令申請同行支援事務 エ 住民基本台帳事務における支援措置（住民票、戸籍附票の閲覧制限） (2) 専門カウンセラー相談事業（要保護児童対策事業費）の利用助言 (3) DV被害防止の啓発 ・DV相談窓口周知カードの配布 (4) 配偶者暴力相談支援センター事業実施要綱制定（平成31年3月27日）※平成31年4月1日施行</p> <p>4 虐待関連出前講座等 「権利擁護を守る話」6回 延べ161人参加</p>																																																											
成 果		<p>高齢者・障害者等の虐待及びDVの未然防止対策や早期発見のため、研修会・啓発講演等を実施するとともに、要保護者・被害者等に対し迅速で適切な支援を実施した。</p> <p>各種虐待の新規相談実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">虐待種別</th> <th colspan="2">相談件数</th> <th colspan="2">虐待確認</th> <th colspan="2">一時保護</th> <th colspan="2">入所措置</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者</td> <td>61</td> <td>40</td> <td>48</td> <td>36</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>DV・女性相談</td> <td>25</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>93</td> <td>78</td> <td>73</td> <td>56</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>							虐待種別	相談件数		虐待確認		一時保護		入所措置		H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	高齢者	61	40	48	36	2	0	1	2	障害者	7	7	2	4	0	0	0	0	DV・女性相談	25	31	23	16	5	1	0	1	合 計	93	78	73	56	7	1	1	3
虐待種別	相談件数		虐待確認		一時保護		入所措置																																																						
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30																																																					
高齢者	61	40	48	36	2	0	1	2																																																					
障害者	7	7	2	4	0	0	0	0																																																					
DV・女性相談	25	31	23	16	5	1	0	1																																																					
合 計	93	78	73	56	7	1	1	3																																																					
成果に係る評価		<p>本市の高齢者虐待の相談件数は減少しているものの、終結率は48.8%となっており、次年度への継続支援が必要となるケースが過半数以上となっている。その要因としては、問題が複雑化することで対応が困難となるケースが多いことから、今後も地域包括支援センターなどの関係機関やケアマネージャーとの連携を強化することが重要である。</p> <p>また、DV・女性相談については、重篤な事案がなかったものの、引き続きDV防止に向けた各種啓発活動を行うとともに、平成31年3月に制定した配偶者暴力相談支援センターの機能を活かし、DV被害者の支援の充実を図る必要がある。</p>																																																											
(単位：円)																																																													
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
		9,810,000	7,099,227	6,077,724			1,021,503																																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																															
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いへ支えあい生活で きる仕組みを構築する		( )																																																																															
	13 目	生活困窮者自立支援費		(2)	生活保護制度等を適正に運用する		( )																																																																															
実施計画掲載ページ		P 61	中 事 業	自立相談支援事業費、住居確保給付事業費																																																																																		
事業コード	004-001-002-01106	事 業 名	生活困窮者自立相談支援事業																																																																																			
<p>目的及び事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応ずる相談窓口となり、抱えている課題を踏まえた支援を行う。</li> <li>・離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれのある者に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労自立を図る。</li> <li>・生活困窮世帯の子どもへの貧困の連鎖を防ぐ目的で、生活保護世帯を含む生活困窮世帯の子ども及びその保護者に対し、養育相談、日常生活習慣の取得、高校進学、学び直しの機会提供、高校中退防止等に関する支援を業務委託により行う。</li> </ul>																																																																																						
<p>取 組 実 績</p> <p>1 自立相談支援事業 主任相談員、相談支援員、就労支援員の3名を保護課内に配置し、生活困窮者の相談に応じ個々人の状況にあった支援計画の作成や就労支援等を実施した。</p> <p>2 住居確保給付金の支給 離職により住宅を失った又はそのおそれが高い生活困窮者であって、資産・所得が一定基準以下のものに対し、就職活動を要件に原則3か月間（9か月まで延長可）を限度として生活保護の住宅扶助の特別基準額を上限に住居確保給付金を支給する事業を実施するものであるが、本市における雇用状況等から平成30年度まで支援実績は無かった。</p> <p>3 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業 生活保護受給世帯及び準要保護世帯、並びに自立相談支援窓口での支援プラン対象世帯の小学校4年生から高校生までの児童生徒とその保護者を対象に、市内3カ所に学習支援教室を開設、その他通所困難な者に対し訪問型での学習支援事業を実施し、平成28年度は4名全員（進学率100%）平成29年度は6名全員（進学率100%）が、平成30年度は17名中16名（進学率94%）高校進学に至った。児童・生徒への居場所の提供と学習機会の提供、保護者への養育相談等を実施し、貧困の連鎖の防止に努めた。</p>																																																																																						
<p>成 果</p> <p>支援の必要な相談者に対して支援プランを策定し、ハローワーク等と連携した計画的かつ継続的な支援を包括的に実施した結果、就労等による自立助長が図られた。また、支援プラン策定に至らない相談者に対しては、相談支援員からの助言や各種関係機関へのつなぎを適切に行うことにより、生活困窮者に対して必要な支援の提供を行うことで新しいセーフティネットの構築を実現した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">1 自立相談支援事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>新規相談件数</td> <td></td> <td>273 件</td> <td>131 件</td> <td>66 件</td> <td>131 件</td> </tr> <tr> <td>プラン作成数</td> <td></td> <td>11 件</td> <td>18 件</td> <td>24 件</td> <td>15 件</td> </tr> <tr> <td>うち就労プラン対象者数／就職者数</td> <td></td> <td>11人／10人</td> <td>11人／5人</td> <td>18人／7人</td> <td>10人／9人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2 住居確保給付金の支給</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>支給件数</td> <td></td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>延べ実施回数</td> <td></td> <td></td> <td>167 回</td> <td>347 回</td> <td>363 回</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>(未実施)</td> <td></td> <td>30 人</td> <td>33 人</td> <td>53 人</td> </tr> <tr> <td>高校進学者</td> <td></td> <td></td> <td>4人／4人</td> <td>6人／6人</td> <td>17人／16人</td> </tr> </table>									1 自立相談支援事業						年度		H27	H28	H29	H30	新規相談件数		273 件	131 件	66 件	131 件	プラン作成数		11 件	18 件	24 件	15 件	うち就労プラン対象者数／就職者数		11人／10人	11人／5人	18人／7人	10人／9人	2 住居確保給付金の支給						年度		H27	H28	H29	H30	支給件数		0 件	0 件	0 件	0 件	3 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業						年度		H27	H28	H29	H30	延べ実施回数			167 回	347 回	363 回	利用者数	(未実施)		30 人	33 人	53 人	高校進学者			4人／4人	6人／6人	17人／16人
1 自立相談支援事業																																																																																						
年度		H27	H28	H29	H30																																																																																	
新規相談件数		273 件	131 件	66 件	131 件																																																																																	
プラン作成数		11 件	18 件	24 件	15 件																																																																																	
うち就労プラン対象者数／就職者数		11人／10人	11人／5人	18人／7人	10人／9人																																																																																	
2 住居確保給付金の支給																																																																																						
年度		H27	H28	H29	H30																																																																																	
支給件数		0 件	0 件	0 件	0 件																																																																																	
3 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業																																																																																						
年度		H27	H28	H29	H30																																																																																	
延べ実施回数			167 回	347 回	363 回																																																																																	
利用者数	(未実施)		30 人	33 人	53 人																																																																																	
高校進学者			4人／4人	6人／6人	17人／16人																																																																																	
<p>成果に係る評価</p> <p>生活困窮者に対し生活保護受給に至る前の段階で、自立に向けた支援を行う本制度の運用については、巡回型の相談会やアウトリーチ、関係機関との連携により前年度よりも新規相談件数が大幅に増え、成果が見られた。今後、経済情勢の変化や各種震災支援策の終了等により、生活に困窮する世帯の増加が見込まれることから、生活保護制度との適切な連携により実施体制の充実を図り、事業継続していく必要がある。</p> <p>また、学習支援事業については、利用する児童・生徒及びその保護者において生活状況の改善が見られることから、継続的な事業実施を行う必要がある。なお、社会問題となっているひきこもりやゴミ屋敷、8050問題等に向けた「就労準備支援事業」や借金や家計管理の課題を抱えている生活困窮者に対する「家計改善支援事業」については、令和2年度からの実施を検討する。</p>																																																																																						
(単位：円)																																																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																
	22,725,000	21,871,951	12,656,470				9,215,481																																																																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す										
	1 項	社会福祉費		第 節			(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保										
	14 目	東日本大震災関係費		( )			(3)	地域福祉の復旧・復興										
実施計画掲載ページ		P 179	中 事 業	ささえあいセンター建設事業費														
事業コード	002-103-003-01161	事 業 名	(仮称)ささえあいセンター整備事業（津波復興拠点整備分） 〔復興交付金〕															
<p>目的及び事業内容</p> <p>本市は、震災により、地域力が衰退し、地域コミュニティの低下や住民の孤立・孤独化を招く恐れがあることから、地域での助け合いや支えあうことのできる社会づくりを推進していく必要がある。このことから（仮称）ささえあいセンターは、全ての市民が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、保健、介護、福祉を地域と連携して一体的に提供する「地域包括ケアを推進する拠点」として整備することで、地域での助け合いや支えあうことのできる社会づくりの礎となることを目的とする。</p> <p>なお、災害時には福祉避難所として、迅速かつ適切な被災者支援を行うことを目的とする。</p>																		
<p>取 組 実 績</p> <p>◎（仮称）ささえあいセンター建設概要</p> <p>(1) 敷地面積 2,944.66㎡ (2) 構造/規模 鉄骨造/地上3階建 (3) 延床面積 4,256.61㎡</p> <p>1 事業用地の取得 (1) 用地取得 (2) 物件移転補償費</p> <p>2 業務委託及び建設工事の実施 (1) 設計業務（その2・その3） (2) 建設工事 (3) 建設工事監理業務</p>																		
<p>成 果</p> <p>1 平成30年度で用地契約及び引渡しをすべて終了、事業推進が図られた。</p> <p>2 平成30年度に建設工事開始、令和2年3月完成に向け、計画的に建設工事を進めた。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">区分</td> <td colspan="2">事業の進捗</td> <td rowspan="2">達成率（%）</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績等</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,669,117,000円</td> <td>734,230,283円</td> <td>27.5%</td> </tr> </table>									区分	事業の進捗		達成率（%）	目標値	実績等	H30	2,669,117,000円	734,230,283円	27.5%
区分	事業の進捗		達成率（%）															
	目標値	実績等																
H30	2,669,117,000円	734,230,283円	27.5%															
<p>成果に係る評価</p> <p>1 建設スケジュールに合わせ、令和2年3月完成に向けて建設工事を着実に進める必要がある。</p> <p>2 完成後の管理・運営について、健康部と福祉部によるプロジェクトチームにより、管理運営計画を策定する必要がある。</p>																		
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	266,915,386	266,747,166					199,544,000	67,203,166										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )	
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		( )	
実施計画掲載ページ		P 83		中 事 業	敬老祝金支給事業費			
事業コード		004-004-001-00086		事 業 名	敬老祝金支給事業			
目的及び事業内容								
88歳を迎える高齢者に敬老祝金を、100歳を迎える高齢者に特別敬老祝金を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表すとともに、高齢福祉の関心を深め、福祉の向上を図る。								
取組実績	1 敬老祝金等支給実績（過去2か年）							
	H29			H30				
	区分	金額	人数	支給額	金額	人数	支給額	
88歳	10,000円	856人	8,560,000円	10,000円	917人	9,170,000円		
100歳	100,000円	3人	300,000円	75,000円	3人	225,000円		
	200,000円	23人	4,600,000円	150,000円	40人	6,000,000円		
計		882人	13,460,000円		960人	15,395,000円		
取組実績	2 受給資格及び支給額							
	祝金	受給資格者			支給額			
	敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者			10,000円			
特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者			・3年以上10年未満 ・10年以上		75,000円 150,000円		
※高齢者人口の増加による事業費の増加が見込まれることから、平成30年度より特別敬老祝金の金額を100,000円に改正した。（但し、平成30年度から令和2年度の3年間は経過措置により、150,000円とした。なお、市内居住3年以上10年未満についても改正した。）								
成果								
高齢者に対し、敬老祝金等を支給したことで、長寿を祝い、敬老の意を表するとともに、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図ることができた。								
成果に係る評価								
敬老祝金支給に関する高齢者の期待が高く、事業の実施は本市の福祉政策への関心を深めることにつながった。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	15,525,000		15,494,757					15,494,757

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )		
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )		
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		( )		
実施計画掲載ページ		P 84		中 事 業	敬老会費				
事業コード		004-004-001-00087		事 業 名	敬老会開催事業				
目的及び事業内容									
77歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催し、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表するとともに心身の健康意識の向上を図る。									
取組実績	77歳以上の高齢者を対象に、長年の功績と長寿を祝うため、市内7地区9会場（社鹿地区3会場）で敬老会を開催。式典とアトラクションの2部構成とし、アトラクションを重視した内容とした。また、震災以降の居住環境の変化を考慮し、市内いずれの会場でも参加可能とした。今後の敬老会のあり方について参考とするため、7月上旬発送の案内通知にアンケート用紙を同封し、出欠報告と併せて返信していただく方式で、敬老者を対象としたアンケートを実施した。								
	成果								
	地区			開催会場	開催日	対象者数	出席者数	出席率	
石巻地区		石巻専修大学		9月 2日	13,708人	613人	4.5%		
河北地区		河北総合センター（ビッグバン）		9月 8日	1,934人	260人	13.4%		
雄勝地区		旧大須小学校		9月15日	412人	62人	15.0%		
河南地区		遊楽館		9月 8日	2,833人	304人	10.7%		
桃生地区		桃生農業者トレーニングセンター		9月15日	1,214人	242人	19.9%		
北上地区		北上保健医療センター		9月 8日	484人	73人	15.1%		
社鹿地区		社鹿保健福祉センター（清優館）		9月 2日	636人	98人	15.4%		
		長渡地区振興会館・網地地区自治会館		9月28日					
合 計					21,221人	1,652人	7.8%		
※9月開催時点									
上記会場及び日程で各地区ごとに敬老会を開催、全体の参加率は7.8%となった。									
成果に係る評価									
敬老会を挙行し、長年に渡り社会の発展に尽力された高齢者への敬意を表することが出来た。アンケートについて、対象者21,404名（通知発送6月時点）のうち、41.3%にあたる8,845名から返答があった。その中で「市主催で今までどおり」、「市主催で市内1箇所」、「市主催の敬老会は不要」、「地区主催で開催」、「その他」の選択肢を設けて、今後の敬老会の開催希望形態について質問したところ、約6割の方が「市主催で今までどおり」と回答した。半数以上が現状どおりを希望しているという結果から、現行どおりの開催を継続することとした。出席率向上のため、アンケートでいただいた自由意見などを参考に、より関心を持ってもらえるよう、敬老会の楽しみについて検討していく必要がある。									
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	12,957,000		12,497,865					12,497,865	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )	
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		( )	
実施計画掲載ページ		P 84	中 事 業		高齢者保健福祉事業費			
事業コード		004-004-001-00106	事 業 名		老人クラブ活動費補助事業			
目的及び事業内容		高齢者の孤立感の解消と社会交流を図り、高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し活動費補助金を交付することにより、老人クラブ等の自主的活動を支援する。						
取 組 実 績		1 単位老人クラブへの補助基準額（合併協定項目） 会員数10人以上 35人未満：34,000円 35人以上70人未満：50,000円 70人以上100人未満：60,000円 100人以上：70,000円 2 老人クラブ連合会への補助金積算：会員数割（1人当たり150円） +基本割（合併前市町における老連補助金合算額の半額相当）						
成 果		各単位老人クラブ及び老人クラブ連合会へ活動費補助金を交付することで、老人クラブ等の自主的活動が支援でき、地域社会及び関係諸団体等との社会交流、高齢者の生きがいの向上と福祉の増進が図られた。 1 単位クラブに対する補助金 補助金交付クラブ数：84クラブ 交付補助金額：3,594,000円 クラブ会員数：2,762人（男：1,069人 女：1,693人） 【内訳】 34,000円×41クラブ 50,000円×39クラブ 60,000円×3クラブ 70,000円×1クラブ 2 老人クラブ連合会に対する補助金 補助金交付団体：石巻市老人クラブ連合会 交付補助金額：1,556,250円 【内訳】 会員数割 2,755人×150円＝413,250円 均等割 1,143,000円 ※会員数割は4月1日を基準日とし、それ以降の増減による追加交付や返還を行っていないため、年度途中で事業中止により補助金の返還を行ったクラブ(41人)は含んでいるが、年度途中に新規設立したクラブ(30人)については含まれていない。なお、連合会未加入クラブ(18人)も除いている。						
成果に係る評価		前年度より団体数、会員数ともに減少となり、震災以降は会員数の減少が続いている。クラブの設立及び会員の加入促進、活動の活性化のためにも、引き続き補助金を交付し支援を継続する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,686,000		5,150,250		2,194,000			2,956,250

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																																										
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )																																																																																																										
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		( )																																																																																																										
実施計画掲載ページ		P 87	中 事 業		ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業費																																																																																																												
事業コード		004-004-002-00099	事 業 名		ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業																																																																																																												
目的及び事業内容		在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を配備して、日常生活の安全を確保するとともに、精神的な不安を解消して福祉の増進を図る。																																																																																																															
取 組 実 績		【緊急通報システム設置状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 分</th> <th>全体</th> <th>本 庁</th> <th>河 北</th> <th>雄 勝</th> <th>河 南</th> <th>桃 生</th> <th>北 上</th> <th>牡 鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>年度末設置者数</td> <td>312人</td> <td>196人</td> <td>34人</td> <td>10人</td> <td>29人</td> <td>22人</td> <td>16人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>47人</td> <td>29人</td> <td>7人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>7人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>年度末設置者数</td> <td>298人</td> <td>193人</td> <td>32人</td> <td>10人</td> <td>26人</td> <td>18人</td> <td>15人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>29人</td> <td>20人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>年度末設置者数</td> <td>289人</td> <td>187人</td> <td>35人</td> <td>8人</td> <td>23人</td> <td>17人</td> <td>15人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>27人</td> <td>15人</td> <td>7人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>年度末設置者数</td> <td>283人</td> <td>179人</td> <td>39人</td> <td>8人</td> <td>23人</td> <td>16人</td> <td>13人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>36人</td> <td>22人</td> <td>8人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>年度末設置者数</td> <td>286人</td> <td>186人</td> <td>30人</td> <td>8人</td> <td>28人</td> <td>16人</td> <td>12人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>33人</td> <td>22人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> ※被災者見守りシステムとの合算設置件数は、平成26年度493件、平成27年度487件、平成28年度490件、平成29年度506件、平成30年度516件							年度	区 分	全体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	H26	年度末設置者数	312人	196人	34人	10人	29人	22人	16人	5人	新規設置者数	47人	29人	7人	0人	4人	7人	0人	0人	H27	年度末設置者数	298人	193人	32人	10人	26人	18人	15人	4人	新規設置者数	29人	20人	5人	0人	3人	1人	0人	0人	H28	年度末設置者数	289人	187人	35人	8人	23人	17人	15人	4人	新規設置者数	27人	15人	7人	0人	2人	2人	1人	0人	H29	年度末設置者数	283人	179人	39人	8人	23人	16人	13人	5人	新規設置者数	36人	22人	8人	0人	3人	2人	0人	1人	H30	年度末設置者数	286人	186人	30人	8人	28人	16人	12人	6人	新規設置者数	33人	22人	1人	0人	6人	1人	2人	1人
年度	区 分	全体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿																																																																																																								
H26	年度末設置者数	312人	196人	34人	10人	29人	22人	16人	5人																																																																																																								
	新規設置者数	47人	29人	7人	0人	4人	7人	0人	0人																																																																																																								
H27	年度末設置者数	298人	193人	32人	10人	26人	18人	15人	4人																																																																																																								
	新規設置者数	29人	20人	5人	0人	3人	1人	0人	0人																																																																																																								
H28	年度末設置者数	289人	187人	35人	8人	23人	17人	15人	4人																																																																																																								
	新規設置者数	27人	15人	7人	0人	2人	2人	1人	0人																																																																																																								
H29	年度末設置者数	283人	179人	39人	8人	23人	16人	13人	5人																																																																																																								
	新規設置者数	36人	22人	8人	0人	3人	2人	0人	1人																																																																																																								
H30	年度末設置者数	286人	186人	30人	8人	28人	16人	12人	6人																																																																																																								
	新規設置者数	33人	22人	1人	0人	6人	1人	2人	1人																																																																																																								
成 果		平成30年度の設置数は286件であり、全体では昨年度より3件の増加、新規設置数は33件で昨年度より3件減少した。ひとり暮らし高齢者等の日常生活上の安全確保と精神的な不安の解消が図られた。																																																																																																															
成果に係る評価		本市では、ひとり暮らしの高齢者数が増えており、家庭や地域の関係性の希薄化が進む中、緊急時の連絡や安否確認の上で非常に有効なシステムであると考えられることから、今後も高齢者が安心して暮らしていくために、高齢者および地域の支援者等への周知を行い、新規設置者の増加を図っていく必要がある。																																																																																																															
(単位：円)																																																																																																																	
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																												
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																									
	7,220,400		6,166,040				31,000	6,135,040																																																																																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																																										
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )																																																																																																										
	2 目	在宅老人福祉費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		( )																																																																																																										
実施計画掲載ページ		P 90	中 事 業		デイサービス事業関係費																																																																																																												
事業コード		004-004-003-00091	事 業 名		生きがいデイサービス事業																																																																																																												
目的及び事業内容																																																																																																																	
65歳以上の家に閉じこもりがちで心身の機能は自立している高齢者が利用できるサービスで、生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練、各種教養講座、健康チェックなどを行い、対象者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持・向上等を図ることを目的とする。																																																																																																																	
取組実績																																																																																																																	
平成30年度利用実績																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>199回</td> <td>20回</td> <td>41回</td> <td>304回</td> <td>204回</td> <td>140回</td> <td>100回</td> <td>1,008回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,554人</td> <td>335人</td> <td>291人</td> <td>2,825人</td> <td>1,612人</td> <td>1,289人</td> <td>752人</td> <td>8,658人</td> </tr> </tbody> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	実施回数	199回	20回	41回	304回	204回	140回	100回	1,008回	延利用者数	1,554人	335人	291人	2,825人	1,612人	1,289人	752人	8,658人																																																																														
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																																																									
実施回数	199回	20回	41回	304回	204回	140回	100回	1,008回																																																																																																									
延利用者数	1,554人	335人	291人	2,825人	1,612人	1,289人	752人	8,658人																																																																																																									
成果																																																																																																																	
創作活動や日常動作訓練を通じて、高齢者の心身機能の維持向上に資することができ、在宅高齢者の福祉の増進が図られた。																																																																																																																	
利用状況【過去5年】																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>実施回数</td> <td>200回</td> <td>44回</td> <td></td> <td>350回</td> <td>168回</td> <td>143回</td> <td>99回</td> <td>1,004回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,667人</td> <td>487人</td> <td></td> <td>2,689人</td> <td>1,548人</td> <td>1,465人</td> <td>598人</td> <td>8,454人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>実施回数</td> <td>197回</td> <td>43回</td> <td>36回</td> <td>353回</td> <td>204回</td> <td>139回</td> <td>93回</td> <td>1,065回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,556人</td> <td>482人</td> <td>311人</td> <td>3,007人</td> <td>1,955人</td> <td>1,380人</td> <td>738人</td> <td>9,429人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>実施回数</td> <td>196回</td> <td>33回</td> <td>45回</td> <td>321回</td> <td>204回</td> <td>139回</td> <td>92回</td> <td>1,030回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,434人</td> <td>505人</td> <td>330人</td> <td>2,924人</td> <td>1,886人</td> <td>1,241人</td> <td>682人</td> <td>9,002人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>実施回数</td> <td>199回</td> <td>28回</td> <td>45回</td> <td>300回</td> <td>204回</td> <td>142回</td> <td>96回</td> <td>1,014回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,536人</td> <td>326人</td> <td>302人</td> <td>3,170人</td> <td>1,750人</td> <td>1,211人</td> <td>814人</td> <td>9,109人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>実施回数</td> <td>199回</td> <td>20回</td> <td>41回</td> <td>304回</td> <td>204回</td> <td>140回</td> <td>100回</td> <td>1,008回</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,554人</td> <td>335人</td> <td>291人</td> <td>2,825人</td> <td>1,612人</td> <td>1,289人</td> <td>752人</td> <td>8,658人</td> </tr> </tbody> </table>									年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	H26	実施回数	200回	44回		350回	168回	143回	99回	1,004回	延利用者数	1,667人	487人		2,689人	1,548人	1,465人	598人	8,454人	H27	実施回数	197回	43回	36回	353回	204回	139回	93回	1,065回	延利用者数	1,556人	482人	311人	3,007人	1,955人	1,380人	738人	9,429人	H28	実施回数	196回	33回	45回	321回	204回	139回	92回	1,030回	延利用者数	1,434人	505人	330人	2,924人	1,886人	1,241人	682人	9,002人	H29	実施回数	199回	28回	45回	300回	204回	142回	96回	1,014回	延利用者数	1,536人	326人	302人	3,170人	1,750人	1,211人	814人	9,109人	H30	実施回数	199回	20回	41回	304回	204回	140回	100回	1,008回	延利用者数	1,554人	335人	291人	2,825人	1,612人	1,289人	752人	8,658人
年度	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																																																																								
H26	実施回数	200回	44回		350回	168回	143回	99回	1,004回																																																																																																								
	延利用者数	1,667人	487人		2,689人	1,548人	1,465人	598人	8,454人																																																																																																								
H27	実施回数	197回	43回	36回	353回	204回	139回	93回	1,065回																																																																																																								
	延利用者数	1,556人	482人	311人	3,007人	1,955人	1,380人	738人	9,429人																																																																																																								
H28	実施回数	196回	33回	45回	321回	204回	139回	92回	1,030回																																																																																																								
	延利用者数	1,434人	505人	330人	2,924人	1,886人	1,241人	682人	9,002人																																																																																																								
H29	実施回数	199回	28回	45回	300回	204回	142回	96回	1,014回																																																																																																								
	延利用者数	1,536人	326人	302人	3,170人	1,750人	1,211人	814人	9,109人																																																																																																								
H30	実施回数	199回	20回	41回	304回	204回	140回	100回	1,008回																																																																																																								
	延利用者数	1,554人	335人	291人	2,825人	1,612人	1,289人	752人	8,658人																																																																																																								
成果に係る評価																																																																																																																	
財源の確保が課題となっているため、介護保険事業の類似事業への移行や事業内容の見直しが必要である。																																																																																																																	
(単位：円)																																																																																																																	
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																													
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																										
		50,282,560	46,145,946				46,145,946																																																																																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																					
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )																																					
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		( )																																					
実施計画掲載ページ		P 87	中 事 業		在宅高齢者サービス事業費																																							
事業コード		004-004-002-01105	事 業 名		在宅高齢者サービス事業																																							
目的及び事業内容																																												
在宅において福祉サービスを必要とする高齢者（非課税世帯等）に対し、日常生活等の必要となる介護保険制度以外のサービスを提供する。 (外出支援サービス、寝具洗濯乾燥消毒サービス、訪問理美容サービス、老人日常生活用具給付事業、バリアフリー住宅普及促進事業)																																												
取組実績																																												
福祉サービスを必要とする在宅の高齢者やその家族が必要とする福祉サービスを提供して支援を図るために、5つの事業を実施している。																																												
1 外出支援サービス																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>202人</td> <td>40人</td> <td>0人</td> <td>92人</td> <td>38人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>384人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>693件</td> <td>92件</td> <td>0件</td> <td>139件</td> <td>54件</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>985件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 3,400,550円</td> </tr> </tbody> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	202人	40人	0人	92人	38人	12人	0人	384人	利用件数	693件	92件	0件	139件	54件	7件	0件	985件									金額 3,400,550円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	202人	40人	0人	92人	38人	12人	0人	384人																																				
利用件数	693件	92件	0件	139件	54件	7件	0件	985件																																				
								金額 3,400,550円																																				
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>12件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 93,480円</td> </tr> </tbody> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	10人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	13人	利用件数	12件	0件	0件	0件	0件	3件	0件	15件									金額 93,480円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	10人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	13人																																				
利用件数	12件	0件	0件	0件	0件	3件	0件	15件																																				
								金額 93,480円																																				
3 訪問理美容サービス																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>22人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>45件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 70,500円</td> </tr> </tbody> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	22人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	23人	利用件数	45件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	47件									金額 70,500円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	22人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	23人																																				
利用件数	45件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	47件																																				
								金額 70,500円																																				
4 老人日常生活用具給付事業																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>28,600円</td> <td>5000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>33,600円</td> </tr> </tbody> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	2件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	3件	金額	28,600円	5000円	0円	0円	0円	0円	0円	33,600円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
利用件数	2件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	3件																																				
金額	28,600円	5000円	0円	0円	0円	0円	0円	33,600円																																				
5 バリアフリー住宅普及促進事業																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>56,376円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>56,376円</td> </tr> </tbody> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	金額	56,376円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	56,376円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件																																				
金額	56,376円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	56,376円																																				
成果																																												
サービスを提供することで、対象者の生活支援及び介護者の負担軽減が図られた。																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">交付者数</th> <th colspan="3">利用件数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>512人</td> <td>459人</td> <td>90%</td> <td>1,549件</td> <td>1,171件</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>483人</td> <td>424人</td> <td>88%</td> <td>1,501件</td> <td>1,051件</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>									区分	交付者数			利用件数			目標値	実績	達成率	目標値	実績	達成率	H29	512人	459人	90%	1,549件	1,171件	76%	H30	483人	424人	88%	1,501件	1,051件	70%									
区分	交付者数			利用件数																																								
	目標値	実績	達成率	目標値	実績	達成率																																						
H29	512人	459人	90%	1,549件	1,171件	76%																																						
H30	483人	424人	88%	1,501件	1,051件	70%																																						
成果に係る評価																																												
前年度に比べ、交付者数・利用者数はほぼ横ばいであるが、高齢化率の上昇により、今後も事業への一定のニーズは見込まれるため、引き続き広報等での周知徹底に努めるとともに、高齢者を支える地域包括支援センターと連携し、事業を継続する必要がある。																																												
(単位：円)																																												
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		5,000,000	3,661,612				3,661,612																																					



予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( )																								
	2 項	老人福祉費		第 節			( )																								
	3 目	老人福祉施設費		( )			( )																								
実施計画掲載ページ			中 事 業	高齢者福祉センター管理費																											
事業コード			事 業 名	老人福祉センター寿楽荘運営事業																											
目的及び事業内容		高齢者に対して、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等の場を供し、高齢者福祉の増進に資する。																													
取 組 実 績	1 年間の利用状況		開館日数	290日	利用者数	21,853人																									
	2 施設の概要		<table border="1"> <tr><td>施設の名称</td><td>石巻市老人福祉センター寿楽荘</td></tr> <tr><td>所在地</td><td>石巻市日和が丘1丁目1番1号</td></tr> <tr><td>施設内容</td><td>集会室、娛樂室(2)、談話室、浴室(2)、機能回復室、会議室</td></tr> <tr><td>利用料</td><td>設置条例に基づき徴収</td></tr> <tr><td>指定管理者</td><td>石巻市寿楽荘コンソーシアム</td></tr> <tr><td>指定管理料</td><td>14,878,000円</td></tr> <tr><td>駐車場借上料</td><td>594,000円</td></tr> <tr><td>指定管理期間</td><td>平成28年11月26日から令和3年3月31日</td></tr> </table>						施設の名称	石巻市老人福祉センター寿楽荘	所在地	石巻市日和が丘1丁目1番1号	施設内容	集会室、娛樂室(2)、談話室、浴室(2)、機能回復室、会議室	利用料	設置条例に基づき徴収	指定管理者	石巻市寿楽荘コンソーシアム	指定管理料	14,878,000円	駐車場借上料	594,000円	指定管理期間	平成28年11月26日から令和3年3月31日							
	施設の名称	石巻市老人福祉センター寿楽荘																													
	所在地	石巻市日和が丘1丁目1番1号																													
	施設内容	集会室、娛樂室(2)、談話室、浴室(2)、機能回復室、会議室																													
	利用料	設置条例に基づき徴収																													
	指定管理者	石巻市寿楽荘コンソーシアム																													
	指定管理料	14,878,000円																													
	駐車場借上料	594,000円																													
	指定管理期間	平成28年11月26日から令和3年3月31日																													
平成28年度に移転新築したことにより利用者が増え、老人福祉法に基づく老人福祉センターとして、より多くの高齢者に対し、各種相談に応じたほか、レクリエーションや生きがいを供し、高齢者福祉の増進が図られた。																															
【入浴状況】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入浴者数</th> <th>総利用者数</th> <th>利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>4,621人</td><td>13,324人</td><td>35%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,363人</td><td>11,961人</td><td>36%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>5,461人</td><td>14,433人</td><td>38%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>8,327人</td><td>21,717人</td><td>38%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8,222人</td><td>21,853人</td><td>38%</td></tr> </tbody> </table>						年度	入浴者数	総利用者数	利用率	H26	4,621人	13,324人	35%	H27	4,363人	11,961人	36%	H28	5,461人	14,433人	38%	H29	8,327人	21,717人	38%	H30	8,222人	21,853人	38%
年度	入浴者数	総利用者数	利用率																												
H26	4,621人	13,324人	35%																												
H27	4,363人	11,961人	36%																												
H28	5,461人	14,433人	38%																												
H29	8,327人	21,717人	38%																												
H30	8,222人	21,853人	38%																												
成果に係る評価		老人福祉センターは、高齢者の憩いの場として重要であり、高齢者福祉の増進を図るためにも事業を継続する必要がある。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
	15,472,000	15,472,000	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
						15,472,000																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( )																					
	2 項	老人福祉費		第 節			( )																					
	3 目	老人福祉施設費		( )			( )																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	高齢者福祉センター管理費																								
事業コード			事 業 名	河南老人福祉センター運営事業																								
目的及び事業内容		地域の高齢者に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供し、もって高齢者が健康で明るい生活を営むことに寄与する。																										
取 組 実 績	1 年間の利用状況		開館日数	285日	利用者数	6,479人																						
	2 施設状況		<table border="1"> <tr><td>施設名称</td><td>河南老人福祉センター</td></tr> <tr><td>所在地</td><td>石巻市前谷地字黒沢前35番地</td></tr> <tr><td>施設概要</td><td>栄養指導室、教養娛樂室、健康相談室、工作室、集会及び運動指導室、生活相談室、図書室</td></tr> <tr><td>利用料</td><td>設置条例に基づき徴収</td></tr> <tr><td>指定管理者</td><td>社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会</td></tr> <tr><td>指定管理料</td><td>2,950,000円</td></tr> <tr><td>修繕料</td><td>1,198,260円</td></tr> <tr><td>その他委託料</td><td>125,280円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>486,000円</td></tr> <tr><td>指定期間</td><td>平成28年4月1日～令和3年3月31日</td></tr> </table>						施設名称	河南老人福祉センター	所在地	石巻市前谷地字黒沢前35番地	施設概要	栄養指導室、教養娛樂室、健康相談室、工作室、集会及び運動指導室、生活相談室、図書室	利用料	設置条例に基づき徴収	指定管理者	社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会	指定管理料	2,950,000円	修繕料	1,198,260円	その他委託料	125,280円	備品購入費	486,000円	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
	施設名称	河南老人福祉センター																										
	所在地	石巻市前谷地字黒沢前35番地																										
	施設概要	栄養指導室、教養娛樂室、健康相談室、工作室、集会及び運動指導室、生活相談室、図書室																										
	利用料	設置条例に基づき徴収																										
	指定管理者	社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会																										
	指定管理料	2,950,000円																										
	修繕料	1,198,260円																										
	その他委託料	125,280円																										
備品購入費	486,000円																											
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日																											
老人福祉法に基づく老人福祉センターとして、多くの高齢者に対し、各種相談に応じたほか、健康の増進やレクリエーション等の便宜を総合的に供与することにより、高齢者の健康で明るい生活を営むことに寄与した。																												
【利用者数】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>6,182 人</td></tr> <tr><td>H27</td><td>6,536 人</td></tr> <tr><td>H28</td><td>8,293 人</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7,972 人</td></tr> <tr><td>H30</td><td>6,479 人</td></tr> </tbody> </table>						年度	利用者数	H26	6,182 人	H27	6,536 人	H28	8,293 人	H29	7,972 人	H30	6,479 人									
年度	利用者数																											
H26	6,182 人																											
H27	6,536 人																											
H28	8,293 人																											
H29	7,972 人																											
H30	6,479 人																											
成果に係る評価		老人福祉センターは、高齢者の憩いの場として重要であり、高齢者福祉の増進を図るためにも事業を継続する必要がある。																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
	4,759,540	4,759,540	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
						4,759,540																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																									
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		( )																																									
	4 目	老人保護費		(2)	生活支援を充実する		( )																																									
実施計画掲載ページ		P 86	中 事 業		老人保護対策費																																											
事業コード		004-004-002-00092	事 業 名		老人保護対策事業																																											
目的及び事業内容		老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへの入所措置を行い、老人福祉の増進に資する。																																														
取組実績		<p>1 老人ホーム入所等の生活相談受付          養護老人ホームの入所に際し、市民からの生活相談に応じた。</p> <p>2 生活実態調査          養護老人ホームの入所を希望する者の生活状況等の実態調査を行った。</p> <p>3 老人ホーム入所判定委員会の開催 2回          養護老人ホームへ措置する者の適否を審査した。</p> <p>4 老人ホーム入所依頼数 12人</p> <p>養護老人ホーム措置者数 平成31年3月31日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th>万生園</th> <th>ひばり園</th> <th>偕楽園</th> <th>松風荘</th> <th>松寿園</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>(石巻市)</th> <th>(美里町)</th> <th>(大和町)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初入所者数</td> <td>70人</td> <td>11人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>増 新規入所者数</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>減 退所者数</td> <td>13人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>年度末入所者数</td> <td>64人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>79人</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	万生園	ひばり園	偕楽園	松風荘	松寿園	計	(石巻市)	(美里町)	(大和町)	(名取市)	(名取市)	年度当初入所者数	70人	11人	0人	2人	1人	84人	増 新規入所者数	7人	1人	0人	0人	0人	8人	減 退所者数	13人	0人	0人	0人	0人	13人	年度末入所者数	64人	12人	0人	2人	1人	79人
施設名	万生園	ひばり園	偕楽園	松風荘	松寿園	計																																										
	(石巻市)	(美里町)	(大和町)	(名取市)	(名取市)																																											
年度当初入所者数	70人	11人	0人	2人	1人	84人																																										
増 新規入所者数	7人	1人	0人	0人	0人	8人																																										
減 退所者数	13人	0人	0人	0人	0人	13人																																										
年度末入所者数	64人	12人	0人	2人	1人	79人																																										
成 果		環境的、経済的等の理由により、在宅での生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置することにより、老人福祉の増進が図られた。																																														
成果に係る評価		在宅での生活が困難な高齢者を老人福祉法に基づいて入所措置し、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障することができる。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	247,591,000	239,243,266			30,937,467	208,305,799																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																													
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																																																													
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																																																													
実施計画掲載ページ		P 79	中 事 業		民間保育所助成費																																																																															
事業コード		004-003-001-00129	事 業 名		民間保育所助成事業																																																																															
目的及び事業内容		市内に設置されている認可外保育施設に対し、補助金を交付することで、当該施設の適正な運営と当該施設に勤務する職員の研究活動の助長を図る。																																																																																		
取組実績		<p>要件を満たす認可外保育施設に補助金を交付し、保育施設の適正な運営に寄与した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">職員数</th> <th rowspan="2">利用延べ児童数</th> <th colspan="4">補助金額内訳</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>施設運営費</th> <th>児童保育費</th> <th>職員研究奨励費</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所ちびっこランド石巻向陽園</td> <td>5人</td> <td>158人</td> <td>22,000円</td> <td>1,174,000円</td> <td>198,500円</td> <td>1,394,500円</td> </tr> <tr> <td>保育室フレンドくらぶ</td> <td>4人</td> <td>63人</td> <td>55,000円</td> <td>663,000円</td> <td>187,000円</td> <td>905,000円</td> </tr> <tr> <td>託児室びよちゃんらんど</td> <td>5人</td> <td>101人</td> <td>55,000円</td> <td>1,102,000円</td> <td>198,500円</td> <td>1,355,500円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14人</td> <td>322人</td> <td>132,000円</td> <td>2,939,000円</td> <td>584,000円</td> <td>3,655,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去8年間の推移(入所児童数は、各年度4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>7施設</td> <td>7施設</td> <td>6施設</td> <td>6施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> </tr> <tr> <td>定員数</td> <td>385人</td> <td>348人</td> <td>298人</td> <td>288人</td> <td>190人</td> <td>180人</td> <td>60人</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>入所児童数</td> <td>159人</td> <td>162人</td> <td>155人</td> <td>121人</td> <td>107人</td> <td>93人</td> <td>32人</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	職員数	利用延べ児童数	補助金額内訳				合計	施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費		保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	158人	22,000円	1,174,000円	198,500円	1,394,500円	保育室フレンドくらぶ	4人	63人	55,000円	663,000円	187,000円	905,000円	託児室びよちゃんらんど	5人	101人	55,000円	1,102,000円	198,500円	1,355,500円	合計	14人	322人	132,000円	2,939,000円	584,000円	3,655,000円	項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	施設数	7施設	7施設	6施設	6施設	3施設	3施設	3施設	3施設	定員数	385人	348人	298人	288人	190人	180人	60人	65人	入所児童数	159人	162人	155人	121人	107人	93人	32人	23人
施設名	職員数	利用延べ児童数	補助金額内訳				合計																																																																													
			施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費																																																																															
保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	158人	22,000円	1,174,000円	198,500円	1,394,500円																																																																														
保育室フレンドくらぶ	4人	63人	55,000円	663,000円	187,000円	905,000円																																																																														
託児室びよちゃんらんど	5人	101人	55,000円	1,102,000円	198,500円	1,355,500円																																																																														
合計	14人	322人	132,000円	2,939,000円	584,000円	3,655,000円																																																																														
項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																												
施設数	7施設	7施設	6施設	6施設	3施設	3施設	3施設	3施設																																																																												
定員数	385人	348人	298人	288人	190人	180人	60人	65人																																																																												
入所児童数	159人	162人	155人	121人	107人	93人	32人	23人																																																																												
成 果		認可外保育施設の適正な運営及び低年齢児童の保育の確保により、児童福祉の向上が図られた。																																																																																		
成果に係る評価		認可外保育施設の適正な運営及び職員の資質向上を支援することができた。保護者の就労の変化や保育の無償化により、今後も保育需要が増すことが想定されることから、引き続き事業を継続し待機児童の減少に取り組む必要がある。																																																																																		
(単位：円)																																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																														
	5,143,000	3,655,000	1,320,000			2,335,000																																																																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																																										
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																																																																																										
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																																																																																										
実施計画掲載ページ	P 79		中 事 業	私立認可保育所運営費																																																																																																													
事業コード	004-003-001-00130	事 業 名	私立認可保育所助成事業																																																																																																														
目的及び事業内容	<p>私立認可保育所に、運営費を支弁して保育所の運営の安定化を図ることにより、保育の受け皿を確保し、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。</p>																																																																																																																
取組実績	<p>1 私立認可保育所に対して運営費・補助金の支弁を通じて、保育の受け皿を確保し、保護者の就労支援と児童福祉の増進に取り組んだ。</p> <p>2 私立認可保育所が実施している特別保育事業（延長保育事業）に係る補助金の支弁を通じて、保護者の就労支援と児童福祉の増進に取り組んだ。</p> <p>【委託料等の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>15</td> <td>1,322,863,680円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>14</td> <td>7,442,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>1,330,305,680円</td> </tr> </tbody> </table>									施設数	金額	委託料	15	1,322,863,680円	補助金	14	7,442,000円	合計	—	1,330,305,680円																																																																																													
		施設数	金額																																																																																																														
委託料	15	1,322,863,680円																																																																																																															
補助金	14	7,442,000円																																																																																																															
合計	—	1,330,305,680円																																																																																																															
成 果	<p>子ども・子育て支援法に基づく支弁を行うことで、事業が安定的に運営でき、児童の健全な育成と子育て家庭の就労支援が図られた。（※延長保育事業は、各保育所で実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保 育 所 名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="3">入所児童数（4月1日現在）</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なかよし保育園</td> <td>60人</td> <td>67人</td> <td>67人</td> <td>63人</td> <td>一時預かり事業実施</td> </tr> <tr> <td>ひまわり保育園</td> <td>90人</td> <td>92人</td> <td>84人</td> <td>88人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インターナショナル「リスキル」ノッチ</td> <td>70人</td> <td>70人</td> <td>72人</td> <td>71人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルーバードインターナショナル「リスキル」</td> <td>110人</td> <td>100人</td> <td>110人</td> <td>106人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻ひがし保育園</td> <td>60人</td> <td>88人</td> <td>65人</td> <td>57人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻たから保育園</td> <td>60人</td> <td>58人</td> <td>58人</td> <td>56人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>さくら保育園</td> <td>75人</td> <td>63人</td> <td>84人</td> <td>88人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズあゆみの保育園</td> <td>74人</td> <td></td> <td>48人</td> <td>69人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳幼児保育園ミルク</td> <td>60人</td> <td></td> <td>39人</td> <td>55人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レインボーインターナショナル「リスキル」</td> <td>70人</td> <td></td> <td></td> <td>36人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズさくらまち保育園</td> <td>90人</td> <td></td> <td></td> <td>47人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズのぞみの保育園</td> <td>90人</td> <td></td> <td></td> <td>48人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広瀬保育所</td> <td>60人</td> <td>71人</td> <td>69人</td> <td>70人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メロン保育園</td> <td>140人</td> <td>157人</td> <td>159人</td> <td>158人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アリス保育園</td> <td>70人</td> <td>71人</td> <td>76人</td> <td>73人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,179人</td> <td>837人</td> <td>931人</td> <td>1,085人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）			備 考	H28	H29	H30	なかよし保育園	60人	67人	67人	63人	一時預かり事業実施	ひまわり保育園	90人	92人	84人	88人		インターナショナル「リスキル」ノッチ	70人	70人	72人	71人		ブルーバードインターナショナル「リスキル」	110人	100人	110人	106人		石巻ひがし保育園	60人	88人	65人	57人		石巻たから保育園	60人	58人	58人	56人		さくら保育園	75人	63人	84人	88人		ケヤキッズあゆみの保育園	74人		48人	69人		乳幼児保育園ミルク	60人		39人	55人		レインボーインターナショナル「リスキル」	70人			36人		ケヤキッズさくらまち保育園	90人			47人		ケヤキッズのぞみの保育園	90人			48人		広瀬保育所	60人	71人	69人	70人		メロン保育園	140人	157人	159人	158人		アリス保育園	70人	71人	76人	73人		合計	1,179人	837人	931人	1,085人	
保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）			備 考																																																																																																												
		H28	H29	H30																																																																																																													
なかよし保育園	60人	67人	67人	63人	一時預かり事業実施																																																																																																												
ひまわり保育園	90人	92人	84人	88人																																																																																																													
インターナショナル「リスキル」ノッチ	70人	70人	72人	71人																																																																																																													
ブルーバードインターナショナル「リスキル」	110人	100人	110人	106人																																																																																																													
石巻ひがし保育園	60人	88人	65人	57人																																																																																																													
石巻たから保育園	60人	58人	58人	56人																																																																																																													
さくら保育園	75人	63人	84人	88人																																																																																																													
ケヤキッズあゆみの保育園	74人		48人	69人																																																																																																													
乳幼児保育園ミルク	60人		39人	55人																																																																																																													
レインボーインターナショナル「リスキル」	70人			36人																																																																																																													
ケヤキッズさくらまち保育園	90人			47人																																																																																																													
ケヤキッズのぞみの保育園	90人			48人																																																																																																													
広瀬保育所	60人	71人	69人	70人																																																																																																													
メロン保育園	140人	157人	159人	158人																																																																																																													
アリス保育園	70人	71人	76人	73人																																																																																																													
合計	1,179人	837人	931人	1,085人																																																																																																													
成果による評価	<p>私立認可保育所の運営が安定し、保育の受け皿の確保を図ることができた。保護者の就労の変化や保育の無償化により、今後も入所申し込みは増加すると見込んでいることから、引き続き事業を継続し待機児童の減少に取り組む必要がある。</p>																																																																																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																																																																																
予算額	1,381,765,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																											
		1,330,305,680	886,717,082		120,384,710	323,203,888																																																																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( )																																																											
	3 項	児童福祉費		第 節			( )																																																											
	1 目	児童福祉総務費		( )			( )																																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業	地域型保育事業運営費																																																														
事業コード			事 業 名	地域型保育事業																																																														
目的及び事業内容	<p>地域型保育事業所（小規模保育事業所）に運営費を支弁して、地域型保育事業の運営の安定化を図ることにより、保育の受け皿を確保し、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。</p>																																																																	
取組実績	<p>1 地域型保育事業所（小規模保育事業所）に対しての運営費・補助金の支弁を通じて、保育の受け皿を確保し保護者の就労支援と児童福祉の増進に取り組んだ。</p> <p>2 地域型保育事業所（小規模保育事業所）が実施している特別保育事業（延長保育事業）に係る補助金の支弁を通じて、保護者の就労支援が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名</th> <th>給付費等の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GENKIっこ保育園石巻園</td> <td>31,001,890円</td> </tr> <tr> <td>保育園ほこあぼこ</td> <td>11,385,710円</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズへびた保育園</td> <td>32,874,410円</td> </tr> <tr> <td>ピーターパン石巻南中里園</td> <td>31,186,580円</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズにばんやち保育園</td> <td>34,513,140円</td> </tr> <tr> <td>ちるびよ</td> <td>42,341,770円</td> </tr> <tr> <td>石巻中里メリー保育園</td> <td>29,325,920円</td> </tr> <tr> <td>ハビネス保育園</td> <td>33,774,220円</td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>37,779,320円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>284,182,960円</td> </tr> </tbody> </table>								事業所名	給付費等の額	GENKIっこ保育園石巻園	31,001,890円	保育園ほこあぼこ	11,385,710円	ケヤキッズへびた保育園	32,874,410円	ピーターパン石巻南中里園	31,186,580円	ケヤキッズにばんやち保育園	34,513,140円	ちるびよ	42,341,770円	石巻中里メリー保育園	29,325,920円	ハビネス保育園	33,774,220円	吉田保育園	37,779,320円	合計	284,182,960円																																				
	事業所名	給付費等の額																																																																
GENKIっこ保育園石巻園	31,001,890円																																																																	
保育園ほこあぼこ	11,385,710円																																																																	
ケヤキッズへびた保育園	32,874,410円																																																																	
ピーターパン石巻南中里園	31,186,580円																																																																	
ケヤキッズにばんやち保育園	34,513,140円																																																																	
ちるびよ	42,341,770円																																																																	
石巻中里メリー保育園	29,325,920円																																																																	
ハビネス保育園	33,774,220円																																																																	
吉田保育園	37,779,320円																																																																	
合計	284,182,960円																																																																	
成 果	<p>子ども・子育て支援法に基づく支弁を行うことで、事業が安定的に運営でき、保護者の就労支援と児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業所名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="3">入所児童数（4月1日現在）</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GENKIっこ保育園石巻園</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>保育園ほこあぼこ</td> <td>15人</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズへびた保育園</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>ピーターパン石巻南中里園</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>ケヤキッズにばんやち保育園</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>ちるびよ</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>石巻中里メリー保育園</td> <td>19人</td> <td></td> <td>17人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>ハビネス保育園</td> <td>19人</td> <td></td> <td>19人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>19人</td> <td></td> <td>13人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>160人</td> <td>97人</td> <td>144人</td> <td>138人</td> </tr> </tbody> </table>								事業所名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）			H28年度	H29年度	H30年度	GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	12人	保育園ほこあぼこ	15人	13人	13人	10人	ケヤキッズへびた保育園	19人	19人	18人	16人	ピーターパン石巻南中里園	19人	17人	17人	18人	ケヤキッズにばんやち保育園	19人	18人	18人	17人	ちるびよ	19人	18人	17人	17人	石巻中里メリー保育園	19人		17人	19人	ハビネス保育園	19人		19人	12人	吉田保育園	19人		13人	17人	合計	160人	97人	144人	138人
事業所名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）																																																																
		H28年度	H29年度	H30年度																																																														
GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	12人																																																														
保育園ほこあぼこ	15人	13人	13人	10人																																																														
ケヤキッズへびた保育園	19人	19人	18人	16人																																																														
ピーターパン石巻南中里園	19人	17人	17人	18人																																																														
ケヤキッズにばんやち保育園	19人	18人	18人	17人																																																														
ちるびよ	19人	18人	17人	17人																																																														
石巻中里メリー保育園	19人		17人	19人																																																														
ハビネス保育園	19人		19人	12人																																																														
吉田保育園	19人		13人	17人																																																														
合計	160人	97人	144人	138人																																																														
成果に係る評価	<p>地域型保育事業所の経営の安定は、子ども達の安全な受け入れや保育士の就労環境の改善に直結しており、本助成事業が大きく貢献しているものと評価している。</p> <p>また、児童数が減少しているにも関わらず、保護者の就労の変化により、特に0歳から2歳児の入所申し込みは、今後も増加傾向が続くものと予想しており、その保育需要への主要な受け皿としても期待しているところである。</p>																																																																	
予算の執行状況	（単位：円）																																																																	
予算額	324,566,000	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
		284,182,960	210,129,016			74,053,944																																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( )							
	3 項	児童福祉費		第 節			( )							
	1 目	児童福祉総務費		( )			( )							
実施計画掲載ページ			中 事 業	民間保育所助成費										
事業コード			事 業 名	民間保育所建設補助事業										
目的及び事業内容		保育所等整備交付金及び子育て支援対策臨時特例交付金（安心子ども基金）を活用して社会福祉法人等が保育所等を創設、増築、増改築を行う場合に、保育所等の整備に要する費用の一部を補助し、保育環境の整備と待機児童の解消を図る。												
取組実績		<p>1 民間保育所建設補助事業</p> <p>(1) 乳幼児保育園ミルク（事業者：特定非営利活動法人 乳幼児保育園ミルク）  施設所在地：石巻市のぞみ野二丁目1番地5 敷地面積：1,656.00㎡ 建物面積：651.34㎡  建物：鉄骨・木造2階  開所日：平成29年4月1日 認可定員：85人 総事業費：52,464千円 補助金額：13,389千円</p>												
成 果		<p>保育施設が増え、保育の受け皿が拡大したことで、保育を必要とする保護者の就労支援等が図られ、児童の保育環境が整備された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保育施設名</th> <th>認可定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児保育園ミルク</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>85人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※増築により、認可定員60人から85人に増員。</p>							保育施設名	認可定員	乳幼児保育園ミルク	85人	合計	85人
保育施設名	認可定員													
乳幼児保育園ミルク	85人													
合計	85人													
成果に係る評価		民間保育施設の整備により保育の受け皿が拡大し、待機児童の減少に一定の成果が見られた。今後、再編計画の中で位置付けられている民間保育施設の建設に向け、引き続き補助事業を継続する必要がある。												
(単位：円)														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	13,956,000	13,389,000	11,902,000			1,487,000								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																														
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																														
	1 目	児童福祉総務費		( 1 )	子育てを支援する環境を整備する		( )																														
実施計画掲載ページ			P82	中 事 業	保育士確保支援事業費																																
事業コード		004-003-001-01238	事 業 名	保育士確保支援事業																																	
目的及び事業内容		市内私立保育施設へ就職する保育士へ就労支援金及び資格取得支援金の交付を行うことにより、保育士資格の取得促進、保育施設への就職及び離職防止につなげ、保育の受け皿拡大に必要となる保育人材の安定的な確保を図る。																																			
取組実績		<p>平成30年度は、13名に対し、就労支援金及び資格取得支援金として1,660,000円を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">補助金額</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">就労支援金</td> <td>就労時分 転入有</td> <td>200,000円</td> <td>2人</td> <td>400,000円</td> </tr> <tr> <td>転入無</td> <td>100,000円</td> <td>11人</td> <td>1,100,000円</td> </tr> <tr> <td>勤続1年後</td> <td>100,000円</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>資格取得支援金</td> <td>最大100,000円</td> <td>2人</td> <td>160,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>最大300,000円</td> <td>13人</td> <td>1,660,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度開始事業のため勤続1年後の対象者無し。  ※就労支援金対象者13人中、資格取得支援金対象者2人が含まれているため実人数は13人となる。</p>							区 分	補助金額	H30		人数	交付額	就労支援金	就労時分 転入有	200,000円	2人	400,000円	転入無	100,000円	11人	1,100,000円	勤続1年後	100,000円	-	-	資格取得支援金	最大100,000円	2人	160,000円		合計	最大300,000円	13人	1,660,000円	
区 分	補助金額	H30																																			
		人数	交付額																																		
就労支援金	就労時分 転入有	200,000円	2人	400,000円																																	
	転入無	100,000円	11人	1,100,000円																																	
	勤続1年後	100,000円	-	-																																	
資格取得支援金	最大100,000円	2人	160,000円																																		
合計	最大300,000円	13人	1,660,000円																																		
成 果		初年度である平成30年度は、13人に対して、就労支援金及び資格取得支援金を交付することにより、保育士の就職支援、離職防止及び安定した保育人材の確保が図られた。																																			
成果に係る評価		私立保育所における新規就職及び離職防止に一定の成果が見られた。本事業は、3か年度限定事業であることから、成果をあらためて再検証し、事業延長の必要性を検討する必要がある。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	1,660,000	1,660,000				1,660,000																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )	
	1 目	児童福祉総務費		( 1 )	子育てを支援する環境を整備する		( )	
実施計画掲載ページ		P 82	中 事 業	母子支援事業費				
事業コード	004-003-001-00146	事 業 名	助産施設入所助成事業					
目的及び事業内容 母子保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し出産費用を助成することにより、安心して出産ができるよう助産施設への入所を図る。								
取 組 実 績	1 助産施設 県内9施設が対象							
	石巻赤十字病院		仙台医療センター		東北大学病院			
	仙台市立病院		仙台赤十字病院		みやぎ県南中核病院			
大崎市民病院		気仙沼市立病院		光ヶ丘スベルマン病院				
2 利用対象者								
保健上必要		異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がいないとか、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等						
経済的理由		一般の産科病院、診療所または助産所に入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合。また、費用を全く支払うことができない者及び費用の一部を支払うことができるが、全部を支払うことができない者。						
3 利用実績								
年度		利用施設名		利用者数		区 分		
						普通分娩 帝王切開		
H27		石巻赤十字病院		4人		1 3		
H28		石巻赤十字病院		3人		2 1		
H29		石巻赤十字病院		6人		6 0		
		東北大学病院		2人		2 0		
H30		石巻赤十字病院		6人		5 1		
成 果 経済的な理由により、助産施設を利用できない妊産婦の安全な出産確保が図られた。利用者は未婚者が多く、妊娠により就労困難や家族等の支援が乏しい場合も多いため、より安心して出産できるよう、相談・申請の段階において、保健師及び家庭児童相談員による適切な母子支援を行い、安心して出産できる体制づくりに努めた。								
成果に係る評価 児童福祉法に基づく安全な出産を確保するための施策であり、今後とも継続して実施していく必要がある。また、妊婦の低年齢化や経済的に困窮している世帯の増加などにより、特定妊婦が年々増加傾向にあり、助産制度利用対象者が増加する可能性があることから、経済的理由等により入院助産を受けることができない妊産婦が助産施設で安心して出産できるよう、病院及び各関係機関と連携を図りながらより良い環境づくりに努めていく必要がある。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金 地方債 その他 一般財源			
	4,400,000		3,432,465		2,310,183 1,122,282			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )	
	1 目	児童福祉総務費		( 1 )	子育てを支援する環境を整備する		( )	
実施計画掲載ページ		P 83	中 事 業	母子支援事業費				
事業コード	004-003-001-00148	事 業 名	養育支援訪問事業（ホームヘルパー支援事業）					
目的及び事業内容 要保護児童対策の一環として、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、当該家庭の適切な養育の確保を図る。								
取 組 実 績	育児に対する強い不安や不衛生な生活環境にあるなど、特に養育支援が必要とされる家庭に対しホームヘルパー、保健師、助産師等を派遣し、家事援助や育児支援を行い、適切な養育環境の確保を実施した。							
	1 対象者 (1)生活環境等が不適切な養育状態にあり、虐待の恐れがある家庭 (2)出産後、間もない時期（概ね1年程度）の養育者が育児ストレス等により強い不安を抱える家庭 (3)若年の妊婦、望まない妊娠などで妊娠から継続的な支援が必要とする家庭							
	2 支援内容 (1)ホームヘルパーによる育児、家事の援助 (2)保健師、助産師などによる専門的な育児指導及び栄養指導							
3 派遣決定 「養育支援個別ケース検討会議」を開催し、派遣の可否を検討している。								
4 支援基準 1回2時間以内とし、1日2回までとしている。								
【利用実績：ホームヘルパー派遣】								
年度		利用世帯数		利用延回数		派遣時間数		
H27		4世帯		189回		262時間		
H28		2世帯		38回		35.5時間		
H29		3世帯		278回		191.5時間		
H30		2世帯		103回		103時間		
成 果 訪問したホームヘルパー等による育児・家事の援助及び養育に関する指導・助言などを行うことで、家事負担及び育児不安の軽減と養育環境の改善が図られ、子どもの安全が守られた。								
成果に係る評価 特定妊婦の増加等の社会的背景もあり、児童虐待などの要保護児童等が年々増加傾向にあることから、母親の育児ストレスを軽減し、安定した子どもの養育環境を確保するとともに、養育能力の低い母親への指導・支援を継続して実施していく必要がある。また、各関係機関・団体等と、より一層連携し、支援・援助が必要な家庭をサポートしていく体制づくりの強化が求められる。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金 地方債 その他 一般財源			
	3,540,000		229,690		152,000 77,690			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																											
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																											
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																											
実施計画掲載ページ		P 76	中 事 業	子ども・子育て利用者支援事業関係費																														
事業コード	004-003-001-01045	事 業 名	子育て世代包括支援センター事業 (地域子ども・子育て利用者支援事業)																															
目的及び事業内容		妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを目的とする。子ども又はその保護者に身近な場所で、教育・保育・保健その他の子ども・子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連携調整等を行う。																																
取組実績		<p>妊娠期から出産・子育て期までの各ステージを包括的に網羅する仕組みとして、地域子ども・子育て利用者支援事業を子育て世代包括支援センター事業と位置づけ平成28年11月より実施。基本型を子育て支援課、特定型を子ども保育課、母子保健型を健康推進課に置き、総合支所保健福祉課も一体化した体制とする。基本型の機能として子育て支援課では子育てに関する総合相談窓口を実施。より子育て世代が身近で相談しやすい体制作りのために、民間子育て支援団体へも業務委託している。</p> <p>基本型…「利用者支援」と「地域連携」を担い、妊産婦、生活、発育（発達）、医学的問題、家庭環境等に関する相談を行う。 パート助産師が、市内の子育て支援センターを巡回し子どもの成長測定等を実施する際に子育てに関する専門的な相談を行う。 特定型…市の窓口において、保育所入所に関する相談を行う。 母子保健型…保健師等の専門職が関係機関と協力しながら、妊産婦及び乳幼児に関する専門的な相談を行う。</p>																																
成 果		<p>子育てに困り感を感じながらも自らが公的サービスを受ける対象と認識していなかった利用者が、相談窓口や相談電話につながることで、子育て中の不安感を緩和することに寄与し、早期の予防的な支援が図られた。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">基本型</th> <th rowspan="2">特定型</th> <th rowspan="2">母子保健型</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>直営</th> <th>委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>31件</td> <td>137件</td> <td>170件</td> <td>402件</td> <td>740件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>183件</td> <td>793件</td> <td>524件</td> <td>877件</td> <td>2,377件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>369件</td> <td>505件</td> <td>411件</td> <td>816件</td> <td>2,101件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成28年度は11月～3月までの5か月分</p>								基本型		特定型	母子保健型	計	直営	委託	H28	31件	137件	170件	402件	740件	H29	183件	793件	524件	877件	2,377件	H30	369件	505件	411件	816件	2,101件
	基本型		特定型	母子保健型	計																													
	直営	委託																																
H28	31件	137件	170件	402件	740件																													
H29	183件	793件	524件	877件	2,377件																													
H30	369件	505件	411件	816件	2,101件																													
成果に係る評価		妊娠中または0歳から18歳未満の子どもを子育て中の方が気軽に相談できる窓口という周知が進み、前年度同様2,000件を超える相談があった。特に、基本型の助産師による専門的な相談においては、母乳育児や離乳食についての相談のニーズが高く、利用者の悩みに寄り添った丁寧な対応ができた。今後は子育てに関する地域資源の情報収集と関係機関との協力・連携をさらに推進したい。																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	8,150,000	7,609,828	5,072,000				2,537,828																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																						
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																						
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																						
実施計画掲載ページ		P 75	中 事 業	病児保育事業関係費																									
事業コード	004-003-001-00140	事 業 名	病後児保育事業																										
目的及び事業内容		児童の保護者が就労等により病気の児童を保育することが困難である場合において、保育需要に対応するため、市が業務を委託した保育所において病気の回復期の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童への緊急対応することにより、保護者が安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。																											
取組実績		<p>1 病後児保育対応型 平成29年4月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。児童が病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育する。保育所・幼稚園等に通園している児童で概ね生後6か月から就学前の児童。1日の定員は3名。看護師、保育士を1名ずつ配置。職員は利用の少ない日に、市内保育所等に対し感染症流行状況、予防策等の情報提供や巡回支援等を適宜実施する。</p> <p>2 体調不良児対応型 平成28年9月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。本保育所に通所する児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に保健的な対応を図る事業。看護師等を1名配置し、預かる児童は2名まで。 担当看護師は、実施保育所における児童全体の健康管理、衛生管理等の保健的な対応を日常的に行うとともに、地域の子育て支援センターを会場に子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を、地域のニーズに応じて定期的実施する。</p>																											
成 果		<p>病後児保育事業の周知活動として、1歳半健診会場にて担当看護師がチラシ配布と事業説明を行った。これにより利用登録者が49人から107人に増加し、年間63人の利用となった。 体調不良児対応型では、234人の利用があった。また担当看護師が子育て支援センター利用親子105人に保健講話（手洗いについて、季節の感染症対策等）および相談支援を実施したことにより、より多くの人に対し情報提供を行うことができた。</p> <p>1 病後児対応型</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年間利用者</th> <th>感染症予防策情報提供等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>26人</td> <td>93回</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>63人</td> <td>132回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 体調不良児対応型（H28年度は7か月実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年間利用者</th> <th>相談支援等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>37人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>275人</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>234人</td> <td>105人</td> </tr> </tbody> </table>								年間利用者	感染症予防策情報提供等	H29	26人	93回	H30	63人	132回		年間利用者	相談支援等	H28	37人	28人	H29	275人	63人	H30	234人	105人
	年間利用者	感染症予防策情報提供等																											
H29	26人	93回																											
H30	63人	132回																											
	年間利用者	相談支援等																											
H28	37人	28人																											
H29	275人	63人																											
H30	234人	105人																											
成果に係る評価		健診会場での周知のほか、本事業の内容や石巻圏域や宮城県内の感染症情報を掲載した「ほげんたより」を公立保育所、私立認可保育所、子育て支援センターに毎月配信し、事業の周知を図ったことにより、病後児保育の利用者は増加した。今後もさらに周知を進めていく。																											
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	9,252,744	9,146,326	6,096,000				3,050,326																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )										
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )										
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )										
実施計画掲載ページ		P 78	中 事 業		小学校入学祝い金支給事業費												
事業コード		004-003-001-01221	事 業 名		小学校入学祝い金支給事業												
目的及び事業内容		少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担を軽減するため、小学校に入学する第2子以降の子を監護する保護者等に対して入学祝金を支給する。															
取組実績		<p>平成30年度より第2子以降の子どもを持つ保護者に入学祝い金の対象者を拡大して実施した。市報及び市のホームページに掲載して周知を図るとともに、子育て支援課及び各総合支所保健福祉課窓口及び市内各小学校1年生に申請書を配付し、対象者の確実な支給に努めた。</p> <p>【支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給者数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>162人</td> <td>4,860,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>503人</td> <td>15,090,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成29年度は第3子以降に支給</p>							年度	支給者数	支給額	H29	162人	4,860,000円	H30	503人	15,090,000円
年度	支給者数	支給額															
H29	162人	4,860,000円															
H30	503人	15,090,000円															
成 果		第2子以降の子で小学校に入学する児童を監護する保護者等に対して、小学校入学祝い金として1人につき3万円を支給することによって、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減に一定の成果があった。															
成果に係る評価		平成30年度から、対象者を第3子以降の子どもを持つ保護者から第2子以降の子どもを持つ保護者に支給対象者を拡大することにより、支給人数は増大した。小学校入学祝金を支給することで、子育て世代の経済的負担の軽減の一助となっている。															
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	15,260,000	15,184,364	2,355,000			12,829,364											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																									
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																									
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																									
実施計画掲載ページ		P 77	中 事 業		子育て支援センター管理費																											
事業コード		004-003-001-01046	事 業 名		地域子ども・子育て支援拠点事業																											
目的及び事業内容		<p>家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感、不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、もって子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>【基本事業】 (1) 子育て親子が気軽かつ自由に利用できる場の提供  (2) 子育てに不安、悩み等を持つ子育て親子に対する相談及び援助の実施  (3) 子育て親子が必要とする身近な地域の子育て支援に関する情報の提供  (4) 子育て及び子育て支援に関する講習等を月1回以上実施</p>																														
取組実績		<p>平成30年度より、社鹿子育て支援センターが月2回から週3回となった。</p> <p>子育て支援センター（12か所）</p> <table border="1"> <tr> <td>湊子育て支援センター</td> <td>湊こども園内</td> <td>北上子育て支援センター</td> <td>相川保育所内</td> </tr> <tr> <td>渡波子育て支援センター</td> <td>渡波保育所内</td> <td>社鹿子育て支援センター</td> <td>社鹿保健福祉センター内</td> </tr> <tr> <td>河北子育て支援センター</td> <td>飯野川保育所内</td> <td>釜子育て支援センター</td> <td>釜保育所内</td> </tr> <tr> <td>雄勝子育て支援センター</td> <td>雄勝保育所内</td> <td>なかよし保育園地域子育て支援センター</td> <td>なかよし保育園内</td> </tr> <tr> <td>河南子育て支援センター</td> <td>河南農村環境改善センター内</td> <td>NPO法人ベビースマイル石巻</td> <td>石巻市蛇田字土和田</td> </tr> <tr> <td>桃生子育て支援センター</td> <td>桃生バイオ研修センター内</td> <td>NPO法人にじいろクレヨン</td> <td>石巻市大街道西二丁目</td> </tr> </table>							湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内	渡波子育て支援センター	渡波保育所内	社鹿子育て支援センター	社鹿保健福祉センター内	河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内	雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内	河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ベビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田	桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目
湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内																													
渡波子育て支援センター	渡波保育所内	社鹿子育て支援センター	社鹿保健福祉センター内																													
河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内																													
雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内																													
河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ベビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田																													
桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目																													
成 果		<p>社鹿子育て支援センターの開催日の増などにより、親子・家庭・地域社会の交わりをつくりだす場がさらに充実し、主任児童委員をはじめとする地域住民との連携が図られた。また、指導員の声がけや助産師の講話等を行うことにより、遊びの広場の参加者からの子育て相談が大幅に増加し、相談者の不安感を緩和することに寄与した（実数1,753件、延数3,268件）。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電話・来所・訪問（相談件数）</td> <td>763件</td> <td>1,208件</td> <td>1,753件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>子育てサークル支援（支援件数）</td> <td>617件</td> <td>326件</td> <td>550件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>親子教室・遊びの広場（参加親子数）</td> <td>19,376組</td> <td>17,941組</td> <td>16,701組</td> </tr> </tbody> </table>							No.	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	1	電話・来所・訪問（相談件数）	763件	1,208件	1,753件	2	子育てサークル支援（支援件数）	617件	326件	550件	3	親子教室・遊びの広場（参加親子数）	19,376組	17,941組	16,701組				
No.	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度																												
1	電話・来所・訪問（相談件数）	763件	1,208件	1,753件																												
2	子育てサークル支援（支援件数）	617件	326件	550件																												
3	親子教室・遊びの広場（参加親子数）	19,376組	17,941組	16,701組																												
成果に係る評価		<p>親子教室・遊びの広場の利用者が減少したことについては、出生数の減少や、3歳未満の子どもの保育施設利用の増加が関係していると考えられる。電話・来所・訪問等の個別相談件数は大幅に増加しており、子育て支援センターは親にとって、子育ての悩みや不安を気兼ねなく相談できる場所になっている。</p> <p>また、今後も子育てサークル支援や地域との交流活動を継続して実施し、利用者や地域をつなぐ役割を担っていきたい。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	68,377,256	62,297,280	41,530,000			20,767,280																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																																																																	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																																																																	
実施計画掲載ページ		P 75	中 事 業		ファミリーサポート事業費																																																																																			
事業コード		004-003-001-00133	事 業 名		ファミリーサポート事業																																																																																			
目的及び事業内容		<p>・市民が相互に行う育児援助活動に対し、その活動を支援することにより安心して子育てができる環境づくりを推進する。</p> <p>・仕事と家庭の両立や保護者の急用等により子ども(市内在住で概ね生後2ヶ月から小学6年生)を預かってほしい場合に、石巻市ファミリーサポートセンターへ登録した会員同士がそれぞれの信頼のもとに相互援助活動を行う。</p>																																																																																						
取組実績		<p>1 事業委託先 特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻</p> <p>2 事務局開局日及び体制 月曜日から土曜日 午前9時30分～午後4時 2名のアドバイザー配置</p> <p>3 利用件数 1,443件</p> <p>4 協力会員の研修の実施 ・新規協力会員の初回研修 3回 ・既協力会員のステップアップ研修 2回</p> <p>5 事業PRの推進 ・会報の発行 4回 ・会員の交流会 4回</p>																																																																																						
成 果		<p>平成30年度から業務委託により実施し、より利用しやすい体制としたことで会員登録数及び利用件数の増加が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">会員数</th> <th colspan="4">利用件数</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>H28末</th> <th>H29末</th> <th>H30末</th> <th>項 目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力会員</td> <td>53人</td> <td>65人</td> <td>75人</td> <td>仕事(仕事復帰準備含む)</td> <td>45件</td> <td>186件</td> <td>704件</td> </tr> <tr> <td>利用会員</td> <td>159人</td> <td>206人</td> <td>276人</td> <td>保育所・幼稚園の送り</td> <td>52件</td> <td>139件</td> <td>182件</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>38人</td> <td>46人</td> <td>61人</td> <td>保育所・幼稚園の迎え</td> <td>8件</td> <td>76件</td> <td>140件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>250人</td> <td>317人</td> <td>412人</td> <td>小学校への送迎</td> <td>0件</td> <td>53件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護者の外出の際の援助</td> <td>9件</td> <td>48件</td> <td>98件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>放課後児童クラブの迎え</td> <td>29件</td> <td>27件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>39件</td> <td>94件</td> <td>278件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合 計</td> <td>182件</td> <td>623件</td> <td>1,443件</td> </tr> </tbody> </table>							会員数				利用件数				区 分	H28末	H29末	H30末	項 目	H28	H29	H30	協力会員	53人	65人	75人	仕事(仕事復帰準備含む)	45件	186件	704件	利用会員	159人	206人	276人	保育所・幼稚園の送り	52件	139件	182件	両方会員	38人	46人	61人	保育所・幼稚園の迎え	8件	76件	140件	合 計	250人	317人	412人	小学校への送迎	0件	53件	3件					保護者の外出の際の援助	9件	48件	98件					放課後児童クラブの迎え	29件	27件	38件					その他	39件	94件	278件					合 計	182件	623件	1,443件
会員数				利用件数																																																																																				
区 分	H28末	H29末	H30末	項 目	H28	H29	H30																																																																																	
協力会員	53人	65人	75人	仕事(仕事復帰準備含む)	45件	186件	704件																																																																																	
利用会員	159人	206人	276人	保育所・幼稚園の送り	52件	139件	182件																																																																																	
両方会員	38人	46人	61人	保育所・幼稚園の迎え	8件	76件	140件																																																																																	
合 計	250人	317人	412人	小学校への送迎	0件	53件	3件																																																																																	
				保護者の外出の際の援助	9件	48件	98件																																																																																	
				放課後児童クラブの迎え	29件	27件	38件																																																																																	
				その他	39件	94件	278件																																																																																	
				合 計	182件	623件	1,443件																																																																																	
成果に係る評価		<p>預かる場所について、協力会員自宅を基本としていたが、利用者の要望により子どもセンターや子育て支援センターで預かることも取り入れた。事業の広報活動や利用しやすい体制の強化により利用件数は増加している。今後も協力会員の研修の強化、利用会員と協力会員の丁寧なマッチングなどにより、事業の拡充を図っていく。</p>																																																																																						
(単位：円)																																																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																		
	5,010,000	4,600,000	3,066,000			1,534,000																																																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																														
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																																																														
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																																																														
実施計画掲載ページ		P 77	中 事 業		心とからだのトータルケア推進事業費																																																																																
事業コード		004-003-001-01055	事 業 名		助産師による産前産後の「心とからだのトータルケア」推進事業																																																																																
目的及び事業内容		<p>妊娠期から子育て期にわたり、妊産婦が相談や研修会等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごし、子育てできることを目的とする。</p>																																																																																			
取組実績		<p>一般社団法人「宮城県助産師会」に委託して研修会や相談会を実施した。</p> <p>1 心とからだのトータルケア推進事業 会場：子育て支援センター等 内容：妊婦向け講座 出産準備の講話や、沐浴体験・妊婦体験等を通して子育てについて学ぶ。 祖父母向け講座 今どきの子育て方法や関わり方を学ぶ。 乳児とその保護者向け講座 ベビーマッサージ、親子体操の体験を通して乳児との関わり方を学ぶ。 保護者同士の交流を図る。</p> <p>2 妊産婦相談 会場：市役所2階授乳室、子育て支援センター 内容：母乳育児等の個別相談</p>																																																																																			
成 果		<p>心とからだのトータルケア推進事業、妊産婦相談とも利用者のアンケート満足度が90%を超えており、助産師と関わることで妊産婦の不安軽減が図られた。</p> <p>1 心とからだのトータルケア推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">妊婦向け講座</th> <th colspan="2">祖父母向け講座</th> <th colspan="2">乳児と保護者向け講座</th> <th colspan="2">妊産婦サロン</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>10回</td> <td>73人</td> <td>6回</td> <td>47人</td> <td>24回</td> <td>211人</td> <td>12回</td> <td>154人</td> <td>52回</td> <td>485人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>17回</td> <td>167人</td> <td>5回</td> <td>121人</td> <td>14回</td> <td>259人</td> <td></td> <td></td> <td>36回</td> <td>547人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>14回</td> <td>131人</td> <td>3回</td> <td>65人</td> <td>14回</td> <td>229人</td> <td></td> <td></td> <td>31回</td> <td>425人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※妊産婦サロンは平成29年度から助産師の自主事業となった。</p> <p>2 妊産婦相談</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>妊婦</th> <th>産婦</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>49回</td> <td>5人</td> <td>127人</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>48回</td> <td>11人</td> <td>148人</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>48回</td> <td>2人</td> <td>158人</td> <td>160人</td> </tr> </tbody> </table>								妊婦向け講座		祖父母向け講座		乳児と保護者向け講座		妊産婦サロン		計		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	H28	10回	73人	6回	47人	24回	211人	12回	154人	52回	485人	H29	17回	167人	5回	121人	14回	259人			36回	547人	H30	14回	131人	3回	65人	14回	229人			31回	425人		回数	参加者数			妊婦	産婦	合計	H28	49回	5人	127人	132人	H29	48回	11人	148人	159人	H30	48回	2人	158人	160人
	妊婦向け講座		祖父母向け講座		乳児と保護者向け講座		妊産婦サロン			計																																																																											
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数																																																																											
H28	10回	73人	6回	47人	24回	211人	12回	154人	52回	485人																																																																											
H29	17回	167人	5回	121人	14回	259人			36回	547人																																																																											
H30	14回	131人	3回	65人	14回	229人			31回	425人																																																																											
	回数	参加者数																																																																																			
		妊婦	産婦	合計																																																																																	
H28	49回	5人	127人	132人																																																																																	
H29	48回	11人	148人	159人																																																																																	
H30	48回	2人	158人	160人																																																																																	
成果に係る評価		<p>産前から出産・育児に関する正しい知識を得ることにより、赤ちゃんを迎えてからの生活について具体的なイメージが持てるようになった妊婦が多かった。 今後も、より多くの妊産婦が妊娠期から子育て期を安心して過ごせるように、本事業の一層の周知を図っていく。</p>																																																																																			
(単位：円)																																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
	2,900,000	2,675,917	1,337,000			1,338,917																																																																															



予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																			
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																			
	2 目	児童手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																			
実施計画掲載ページ		P 73		中 事 業	児童手当費																					
事業コード		004-003-001-00124		事 業 名	児童手当支給事業																					
目的及び事業内容		<p>中学校修了前の児童を養育している保護者に、児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。(2月、6月、10月に前月までの4か月分を支給)</p> <p>3歳未満及び小学生までの第3子以降 15,000円 小学生までの第1子、第2子及び中学生まで 10,000円 所得制限以上の所得がある者は中学生まで一律 5,000円</p>																								
取組実績		<p>【平成30年度支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給対象延べ人数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時払</td> <td>3,614人</td> <td>37,080,000円</td> </tr> <tr> <td>定例払</td> <td>177,773人</td> <td>1,958,430,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>181,387人</td> <td>1,995,510,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定例払・・・年3回(2・6・10月) 随時払・・・定例払の月を除く各月(資格喪失者等)</p>								支給対象延べ人数	支給総額	随時払	3,614人	37,080,000円	定例払	177,773人	1,958,430,000円	計	181,387人	1,995,510,000円						
	支給対象延べ人数	支給総額																								
随時払	3,614人	37,080,000円																								
定例払	177,773人	1,958,430,000円																								
計	181,387人	1,995,510,000円																								
成 果		<p>児童を養育している保護者に手当を支給することにより、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象延べ児童数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>201,579人</td> <td>2,235,140,000円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>197,312人</td> <td>2,188,470,000円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>192,127人</td> <td>2,128,610,000円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>187,098人</td> <td>2,064,210,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>181,387人</td> <td>1,995,510,000円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	支給対象延べ児童数	支給総額	H26	201,579人	2,235,140,000円	H27	197,312人	2,188,470,000円	H28	192,127人	2,128,610,000円	H29	187,098人	2,064,210,000円	H30	181,387人	1,995,510,000円
年度	支給対象延べ児童数	支給総額																								
H26	201,579人	2,235,140,000円																								
H27	197,312人	2,188,470,000円																								
H28	192,127人	2,128,610,000円																								
H29	187,098人	2,064,210,000円																								
H30	181,387人	1,995,510,000円																								
成果に係る評価		<p>対象児童数の減少により支給額は減少傾向にある。少子化が問題となっている現在、子育てしやすい環境づくりや社会形成が喫緊の課題となっており、当事業はその一助を担っている。今後も国の動向を踏まえて情報の発信と適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図る必要がある。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
		2,002,880,000	1,995,510,000	1,689,362,165			306,147,835																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																									
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																									
	3 目	児童扶養手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																									
実施計画掲載ページ		P 74		中 事 業	児童扶養手当費																											
事業コード		004-003-001-00126		事 業 名	児童扶養手当支給事業																											
目的及び事業内容		<p>父又は母と生計を同じくしていない児童を監護している母、児童を監護し生計を同じくする父又は当該父母にかわって児童を養育している方に、手当を支給し、生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の向上を図る。</p> <p>手当額 H30.4月～</p> <p>全部支給 42,500円 一部支給 42,490円～10,030円 2人目 全部支給 10,040円 一部支給 10,030円～5,020円 3人目以降 全部支給 6,020円 一部支給 6,010円～3,010円</p>																														
取組実績		<p>1 児童扶養手当支給の実施 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭に支給した。 支給対象者 1,407人、支給額 729,148,250円</p> <p>2 現況届の実施 児童扶養手当受給者の前年所得、認定後の資格要件及び生活状況の確認を行った。</p>																														
成 果		<p>父又は母と生計を同じくしていない児童について児童扶養手当を支給することにより、家庭生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象者数</th> <th>支給対象児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,669人</td> <td>2,408人</td> <td>850,590,030円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,594人</td> <td>2,309人</td> <td>800,908,600円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,525人</td> <td>2,170人</td> <td>775,250,320円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,436人</td> <td>2,126人</td> <td>765,328,750円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,407人</td> <td>2,079人</td> <td>729,148,250円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	H26	1,669人	2,408人	850,590,030円	H27	1,594人	2,309人	800,908,600円	H28	1,525人	2,170人	775,250,320円	H29	1,436人	2,126人	765,328,750円	H30	1,407人	2,079人	729,148,250円
年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額																													
H26	1,669人	2,408人	850,590,030円																													
H27	1,594人	2,309人	800,908,600円																													
H28	1,525人	2,170人	775,250,320円																													
H29	1,436人	2,126人	765,328,750円																													
H30	1,407人	2,079人	729,148,250円																													
成果に係る評価		<p>人口減少の影響等により、支給対象者数等や支給額は減少傾向にある。児童物価スライド制により平成30年4月に全手当額の増額改定があり、支援の拡大を図られているが、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭等の生活安定と福祉の増進を図るため、国においては、さらなる支援の拡充について検討しており、動向を注視する必要がある。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
		737,853,000	729,148,250	241,680,193			487,468,057																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																					
	4 目	母子福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																					
実施計画掲載ページ		P 74		中 事 業	母子・父子家庭医療対策費																							
事業コード	004-003-001-00125		事 業 名	母子・父子家庭医療対策事業																								
目的及び事業内容	<p>母子及び父子家庭に対し、医療費の助成を行い生活の安定と福祉の増進を図る。健康保険等により、本人の負担する自己負担額から次の金額を控除し助成する。</p> <p>入院の場合 1レセプト 2,000円（食事療養費は除く。）          外来の場合 1レセプト 1,000円          ※所得制限あり</p>																											
取組実績	<p>1. 助成対象者          ・ 母子・父子家庭の母、父及び児童          ・ 父母のいずれかが重度障害により就労困難な家庭の母、父及び児童          ・ 父母のいない児童及びその児童を監護する母子・父子家庭の母、父</p> <p>2. 助成件数 10,449件</p> <p>3. 助成金額 28,107,208円</p>																											
成 果	<p>母子・父子家庭等にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。このことにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>所得制限内 受給世帯数</th> <th>所得制限内 受給者数</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,686世帯</td> <td>4,118人</td> <td>10,751件</td> <td>27,162,801円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,580世帯</td> <td>3,885人</td> <td>9,142件</td> <td>24,593,327円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,459世帯</td> <td>3,410人</td> <td>10,449件</td> <td>28,107,208円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 受給世帯数、受給者数は該年度の10月1日現在の数値、助成件数、助成金額は該年度の合計値（市財務上の決算値）を示している。</p>								年度	所得制限内 受給世帯数	所得制限内 受給者数	助成件数	助成金額	H28	1,686世帯	4,118人	10,751件	27,162,801円	H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円	H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円
年度	所得制限内 受給世帯数	所得制限内 受給者数	助成件数	助成金額																								
H28	1,686世帯	4,118人	10,751件	27,162,801円																								
H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円																								
H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円																								
成果に係る評価	<p>平成28年10月から子ども医療費の対象年齢が拡大されたことにより、平成29年度は助成額が減少したが、国保加入者の一部を対象とした震災による医療費免除が平成29年度で終了となり、平成30年度の助成額は増加となった。今後も医療費助成を実施することにより母子・父子家庭の経済的負担の軽減に寄与し、生活の安定と福祉の増進を図りたい。</p>																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	30,443,316	28,973,554	14,053,000			14,920,554																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																							
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																							
	4 目	母子福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																							
実施計画掲載ページ		P 78		中 事 業	母子家庭等自立支援給付金事業費																																									
事業コード	004-003-001-01222		事 業 名	ひとり親家庭等自立支援事業																																										
目的及び事業内容	<p>ひとり親家庭等の親（母子家庭の母又は父子家庭の父）の経済的な自立を促進するため、就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格を取得するための教育訓練受講等に係る経費について支援する。</p> <p>①自立支援教育訓練給付金・・・ひとり親家庭等の主体的な能力開発を支援するもので、対象の教育訓練講座を受講して修了した場合に、受講料等の経費の一部を支給し、自立の促進を図るもの。          ※支給額・・・受講のための入学金・受講料の60%相当額</p> <p>②高等職業訓練促進給付金・・・ひとり親家庭の親等の就職に有利な資格、生活の安定に資する資格の取得を促進するとともに、生活費の一部を支給することで修学期間における生活の負担の軽減を図るもの。資格取得のために1年以上（対象）養成機関で修業する場合に、3年間を上限に支給する。          ※支給額・・・市民税非課税世帯 月額 100,000円 市民税課税世帯 月額 70,500円</p> <p>③高等職業訓練修了支援給付金・・・②の高等職業訓練促進給付金を支給されている方に対し、訓練終了後に支援給付金を給付し、自立の促進を図るもの。          ※支給額・・・市民税非課税世帯 修了時50,000円 市民税課税世帯 修了時25,000円</p>																																													
取組実績	<p>支給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>指定講座等の主な内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金 ①</td> <td>5件</td> <td>275,184円</td> <td>介護福祉士・介護職</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金 ②</td> <td>11件</td> <td>9,895,500円</td> <td>准看護師・看護師・社会福祉士 美容師</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金 ③</td> <td>4件</td> <td>200,000円</td> <td>准看護師</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳	自立支援教育訓練給付金 ①	5件	275,184円	介護福祉士・介護職	高等職業訓練促進給付金 ②	11件	9,895,500円	准看護師・看護師・社会福祉士 美容師	高等職業訓練修了支援給付金 ③	4件	200,000円	准看護師																						
事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳																																											
自立支援教育訓練給付金 ①	5件	275,184円	介護福祉士・介護職																																											
高等職業訓練促進給付金 ②	11件	9,895,500円	准看護師・看護師・社会福祉士 美容師																																											
高等職業訓練修了支援給付金 ③	4件	200,000円	准看護師																																											
成 果	<p>昨年に引き続き支給件数、支給額が増加している。制度の周知に加え、ひとり親自身の自立への意識の高まりが大きく影響している。これら受講者に対し、経済的負担の軽減を図ることができ、ひとり親家庭の自立支援と福祉の向上が図られた。</p> <p>※高等職業訓練促進給付金の支給件数は、実件数（支給者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>合計(①②③)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">平成28年度</td> <td>自立支援教育訓練給付金 ①</td> <td>1件</td> <td>47,880円</td> <td rowspan="3">4,657,880円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金 ②</td> <td>7件</td> <td>4,610,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金 ③</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">平成29年度</td> <td>自立支援教育訓練給付金 ①</td> <td>6件</td> <td>322,186円</td> <td rowspan="3">7,643,186円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金 ②</td> <td>7件</td> <td>7,146,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金 ③</td> <td>4件</td> <td>175,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">平成30年度</td> <td>自立支援教育訓練給付金 ①</td> <td>5件</td> <td>275,184円</td> <td rowspan="3">10,370,684円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金 ②</td> <td>11件</td> <td>9,895,500円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金 ③</td> <td>4件</td> <td>200,000円</td> </tr> </tbody> </table>								年度	事業名	支給件数	支給額	合計(①②③)	平成28年度	自立支援教育訓練給付金 ①	1件	47,880円	4,657,880円	高等職業訓練促進給付金 ②	7件	4,610,000円	高等職業訓練修了支援給付金 ③	0件	0円	平成29年度	自立支援教育訓練給付金 ①	6件	322,186円	7,643,186円	高等職業訓練促進給付金 ②	7件	7,146,000円	高等職業訓練修了支援給付金 ③	4件	175,000円	平成30年度	自立支援教育訓練給付金 ①	5件	275,184円	10,370,684円	高等職業訓練促進給付金 ②	11件	9,895,500円	高等職業訓練修了支援給付金 ③	4件	200,000円
年度	事業名	支給件数	支給額	合計(①②③)																																										
平成28年度	自立支援教育訓練給付金 ①	1件	47,880円	4,657,880円																																										
	高等職業訓練促進給付金 ②	7件	4,610,000円																																											
	高等職業訓練修了支援給付金 ③	0件	0円																																											
平成29年度	自立支援教育訓練給付金 ①	6件	322,186円	7,643,186円																																										
	高等職業訓練促進給付金 ②	7件	7,146,000円																																											
	高等職業訓練修了支援給付金 ③	4件	175,000円																																											
平成30年度	自立支援教育訓練給付金 ①	5件	275,184円	10,370,684円																																										
	高等職業訓練促進給付金 ②	11件	9,895,500円																																											
	高等職業訓練修了支援給付金 ③	4件	200,000円																																											
成果に係る評価	<p>自立支援教育訓練給付金の給付状況については、平成29年度に引き続き平成30年度も介護職を中心とした受講者が多く、高等職業訓練促進給付金においては、受給者が増加、相談者も増加しており、制度が周知されている。</p> <p>今後も、より多くのひとり親の経済的自立と福祉の増進に寄与できるよう本事業の一層の利用拡大を図っていく。</p>																																													
(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	10,370,684	10,370,684	7,689,000			2,681,684																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																															
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																															
	5 目	保育所管理費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																															
実施計画掲載ページ		P 80	中 事 業		保育所管理費																																	
事業コード		004-003-001-00132	事 業 名		延長保育事業																																	
目的及び事業内容		就労形態の多様化等に伴い、やむを得ない理由により、保育時間を延長して児童を預けられる環境が求められている。こうした需要に対応するため通常の利用時間以外の時間において、保育所及び子ども園で引き続き保育を実施することで、安心して子育てできる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。																																				
取組実績		<p>平成27年度から子ども・子育て支援新制度が開始され、通常保育の保育時間が、保育短時間（午前8時30分から午後4時30分まで）と保育標準時間（午前7時30分から午後6時30分まで）の2区分となり、これにあわせて、延長保育の取り扱いも変更になった。</p> <p>平成30年度は、公立保育所26施設で、時間外保育（午前7時30分から午前8時30分、午後4時30分から午後6時30分）及び延長保育（午後6時30分から午後7時00分）を実施し、実利用児童数は618人となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>施設数</th> <th>時間外保育</th> <th>延長保育</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立保育所</td> <td>26</td> <td>603人</td> <td>15人</td> <td>618人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去4年間の推移（実利用人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外保育</td> <td>382人</td> <td>333人</td> <td>533人</td> <td>603人</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>29人</td> <td>17人</td> <td>21人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>411人</td> <td>350人</td> <td>554人</td> <td>618人</td> </tr> </tbody> </table>							H30年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計	公立保育所	26	603人	15人	618人		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	時間外保育	382人	333人	533人	603人	延長保育	29人	17人	21人	15人	合計	411人	350人	554人	618人
H30年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計																																		
公立保育所	26	603人	15人	618人																																		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																																		
時間外保育	382人	333人	533人	603人																																		
延長保育	29人	17人	21人	15人																																		
合計	411人	350人	554人	618人																																		
成 果		保育時間を延長して児童を預けられる環境を求める保護者の需要に応えることができた。																																				
成果に係る評価		保育利用時間外において保育を行う本事業は、日々の就労時間が一定していない保護者が安心して就労するための重要な事業であると評価している。 今後は、現在公立1施設のみで実施となっている延長保育のあり方を検討し、更に安心して子育てができる環境づくりに努めたい。																																				
予算の執行状況		(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	5,626,659	5,626,659			3,781,500	1,845,159																																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																										
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																										
	6 目	一時保育事業管理費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																										
実施計画掲載ページ		P 79	中 事 業		一時預かり事業関係費																																												
事業コード		004-003-001-00131	事 業 名		一時保育事業																																												
目的及び事業内容		保育所等を利用していない家庭においても、日常生活の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難になる場合がある。また、核家族化の進行により、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援が必要となる。 こうしたニーズに対応するため、保育所において、児童を一時的に預かることで、安心して子育てできる環境を整備し、あわせて児童福祉の向上を図る。																																															
取組実績		<p>公立保育所（3施設）及び私立認可保育所（1施設）において、一時預かり事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施保育所</th> <th>1日当たりの実施時間</th> <th>1日当たりの定員</th> <th>平成30年度延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>鹿妻保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>487人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>二俣保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>112人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北村保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>なかよし保育園</td> <td>8時間</td> <td>おおむね10人</td> <td>1,798人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td></td> <td>2,466人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>2,884人</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>3,939人</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>2,664人</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>3,189人</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>2,466人</td> </tr> </tbody> </table>							実施保育所	1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	平成30年度延利用者数	公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	487人		二俣保育所	8時間	おおむね5人	112人		北村保育所	8時間	おおむね5人	69人	私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	1,798人	合計				2,466人	年度	延利用者数	H26年度	2,884人	H27年度	3,939人	H28年度	2,664人	H29年度	3,189人	H30年度	2,466人
実施保育所	1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	平成30年度延利用者数																																														
公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね5人	487人																																													
	二俣保育所	8時間	おおむね5人	112人																																													
	北村保育所	8時間	おおむね5人	69人																																													
私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	1,798人																																													
合計				2,466人																																													
年度	延利用者数																																																
H26年度	2,884人																																																
H27年度	3,939人																																																
H28年度	2,664人																																																
H29年度	3,189人																																																
H30年度	2,466人																																																
成 果		保育士不足により鹿妻保育所で受け入れ児童数を調整したため、前年度と比較して利用者数が減少したものの、集団生活の経験を踏まえた事業として、半日単位からの預かりができ、子育て世帯の育児負担の軽減を担っている。																																															
成果に係る評価		保育所等を利用していない家庭における保護者の心理的・身体的負担の軽減を図ることができる事業であり、引き続き事業を継続するうえで、従事する保育士の安定した配置が必要である。																																															
予算の執行状況		(単位：円)																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	14,763,000	12,658,114	6,064,000		1,313,150	5,280,964																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( )																																																		
	3 項	児童福祉費		第 節			( )																																																		
	7 目	障害児福祉費		( )			( )																																																		
実施計画掲載ページ			中 事 業		かもめ学園管理費																																																				
事業コード			事 業 名		かもめ学園管理事業																																																				
目的及び事業内容			心身障害児に対して障害の克服に必要な機能訓練及び生活指導を行い、児童の健全な育成に資するとともに、保護者の就労支援等を図るため、かもめ学園内において児童発達支援事業等を実施する。児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障害児日中一時支援事業、出張子育て支援事業に係る支援業務、たんぼぼ広場に係る支援業務、発達・療育支援業務に係る支援業務、放課後児童クラブに係る支援業務。																																																						
取組実績			<p>1 かもめ学園における児童福祉サービス等の提供（利用）状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">児童発達支援</th> <th colspan="3">放課後等デイサービス</th> <th colspan="3">日中一時支援</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,370人</td> <td>249日</td> <td>5.5人</td> <td>1,419人</td> <td>223日</td> <td>6.3人</td> <td>278人</td> <td>107日</td> <td>2.5人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,784人</td> <td>247日</td> <td>7.2人</td> <td>1,406人</td> <td>247日</td> <td>5.6人</td> <td>249人</td> <td>80日</td> <td>3.1人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,335人</td> <td>251日</td> <td>5.3人</td> <td>1,269人</td> <td>244日</td> <td>5.2人</td> <td>141人</td> <td>49日</td> <td>2.8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 児童発達支援：未就学児童を対象とする事業（療育の観点から発達段階に合わせた個別療育・集団療育を実施、親へは助言及び指導を通しこの時期に必要なとされる家庭での療育を実施するに資するよう支援） ○開設日等 月～土 9:30～13:30</p> <p>(2) 放課後等デイサービス：就学児童を対象とする事業（年齢期に必要な人と人との関係作りを中心に療育を行い、コミュニケーションによる行動の促しや、要求手段の獲得、意欲を引き出すことに重点を置き支援）○開設日等 月～金 14:00～17:30</p> <p>(3) 日中一時支援事業：児童の日常生活の支援を行うと共に日中における生活の場を提供し見守りや必要な支援を実施。 ○開設日等 土日・祝日 9:00～17:00</p> <p>2 指定管理者制度により実施 ・指定管理者：（福）石巻祥心会（H28～R2）</p>						年度	児童発達支援			放課後等デイサービス			日中一時支援			利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	H28	1,370人	249日	5.5人	1,419人	223日	6.3人	278人	107日	2.5人	H29	1,784人	247日	7.2人	1,406人	247日	5.6人	249人	80日	3.1人	H30	1,335人	251日	5.3人	1,269人	244日	5.2人	141人	49日	2.8人
年度	児童発達支援			放課後等デイサービス			日中一時支援																																																		
	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均																																																
H28	1,370人	249日	5.5人	1,419人	223日	6.3人	278人	107日	2.5人																																																
H29	1,784人	247日	7.2人	1,406人	247日	5.6人	249人	80日	3.1人																																																
H30	1,335人	251日	5.3人	1,269人	244日	5.2人	141人	49日	2.8人																																																
成果			児童発達支援及び放課後等デイサービスは、同様の事業所の増加を受け、よりきめ細やかな支援の実施のため定員を減らして運営。 また、日中一時支援は開設日等を変更して運営したことにより前年度に比べ利用者数は減少しているが、目的である児童及び保護者に対する支援が適切になされた。																																																						
成果に係る評価			安定した事業運営のため、指定管理者による定員等の見直しも適宜行われており、毎年度事業目的も達成されていることから、今後も引き続き事業を継続していく。																																																						
（単位：円）																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	8,410,000	7,239,926				7,239,926																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																																																
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																																																																																																
	7 目	障害児福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																																																																																																
実施計画掲載ページ		P80	中 事 業		心身障害児通園対策費																																																																																																																		
事業コード		004-003-001-00136	事 業 名		心身障害児通園対策事業																																																																																																																		
目的及び事業内容		障害児保育を実施している保育所及びかもめ学園に通園する心身障害児の通園に要する交通費を助成することにより児童福祉の増進を図る。																																																																																																																					
取組実績		<p>1 助成内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道又はバス定期券運賃代</li> <li>・自家用車ガソリン代</li> </ul> <p>13施設に通園する児童の保護者に対し通園に要する交通費を交付し、通園児童の福祉増進に寄与した。</p> <p>1 助成実績（H30）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道又はバス定期券運賃代 実績なし</li> <li>・自家用車ガソリン代 助成対象者：30人、助成額：1,007,462円</li> </ul>																																																																																																																					
成果		<p>障害児保育実施保育所及びかもめ学園へ通園する児童の健全育成と保護者の負担軽減が図られた。</p> <p>事業費及び対象者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">H28年度</th> <th colspan="2">H29年度</th> <th colspan="2">H30年度</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かもめ学園</td> <td>8人</td> <td>87,311円</td> <td>11人</td> <td>146,651円</td> <td>8人</td> <td>90,955円</td> </tr> <tr> <td>石巻保育所</td> <td>3人</td> <td>87,206円</td> <td>4人</td> <td>119,551円</td> <td>5人</td> <td>188,577円</td> </tr> <tr> <td>渡波保育所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>17,365円</td> <td>1人</td> <td>18,808円</td> </tr> <tr> <td>若草保育所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>17,285円</td> <td>2人</td> <td>54,572円</td> </tr> <tr> <td>ふたば保育所</td> <td>1人</td> <td>15,637円</td> <td>2人</td> <td>43,427円</td> <td>2人</td> <td>47,214円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻保育所</td> <td>2人</td> <td>192,133円</td> <td>2人</td> <td>193,224円</td> <td>1人</td> <td>24,712円</td> </tr> <tr> <td>水押保育所</td> <td>1人</td> <td>24,932円</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>27,506円</td> </tr> <tr> <td>井内保育所</td> <td>4人</td> <td>221,068円</td> <td>2人</td> <td>132,208円</td> <td>1人</td> <td>37,570円</td> </tr> <tr> <td>飯野川保育所</td> <td>1人</td> <td>23,031円</td> <td>1人</td> <td>22,202円</td> <td>1人</td> <td>52,309円</td> </tr> <tr> <td>和淵保育所</td> <td>5人</td> <td>166,784円</td> <td>4人</td> <td>166,288円</td> <td>3人</td> <td>168,746円</td> </tr> <tr> <td>桃生新田保育所</td> <td>1人</td> <td>32,379円</td> <td>1人</td> <td>94,495円</td> <td>2人</td> <td>155,167円</td> </tr> <tr> <td>橋浦保育所</td> <td>1人</td> <td>27,847円</td> <td>2人</td> <td>86,027円</td> <td>2人</td> <td>90,843円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿保育所</td> <td>2人</td> <td>141,286円</td> <td>2人</td> <td>86,999円</td> <td>1人</td> <td>50,483円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29人</td> <td>1,019,614円</td> <td>33人</td> <td>1,125,722円</td> <td>30人</td> <td>1,007,462円</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援が必要な児童の入所状況により、対象となる施設は毎年度変動するもの。</p>							区 分	H28年度		H29年度		H30年度		対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	かもめ学園	8人	87,311円	11人	146,651円	8人	90,955円	石巻保育所	3人	87,206円	4人	119,551円	5人	188,577円	渡波保育所	—	—	1人	17,365円	1人	18,808円	若草保育所	—	—	1人	17,285円	2人	54,572円	ふたば保育所	1人	15,637円	2人	43,427円	2人	47,214円	鹿妻保育所	2人	192,133円	2人	193,224円	1人	24,712円	水押保育所	1人	24,932円	—	—	1人	27,506円	井内保育所	4人	221,068円	2人	132,208円	1人	37,570円	飯野川保育所	1人	23,031円	1人	22,202円	1人	52,309円	和淵保育所	5人	166,784円	4人	166,288円	3人	168,746円	桃生新田保育所	1人	32,379円	1人	94,495円	2人	155,167円	橋浦保育所	1人	27,847円	2人	86,027円	2人	90,843円	牡鹿保育所	2人	141,286円	2人	86,999円	1人	50,483円	合計	29人	1,019,614円	33人	1,125,722円	30人	1,007,462円
区 分	H28年度		H29年度		H30年度																																																																																																																		
	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費																																																																																																																	
かもめ学園	8人	87,311円	11人	146,651円	8人	90,955円																																																																																																																	
石巻保育所	3人	87,206円	4人	119,551円	5人	188,577円																																																																																																																	
渡波保育所	—	—	1人	17,365円	1人	18,808円																																																																																																																	
若草保育所	—	—	1人	17,285円	2人	54,572円																																																																																																																	
ふたば保育所	1人	15,637円	2人	43,427円	2人	47,214円																																																																																																																	
鹿妻保育所	2人	192,133円	2人	193,224円	1人	24,712円																																																																																																																	
水押保育所	1人	24,932円	—	—	1人	27,506円																																																																																																																	
井内保育所	4人	221,068円	2人	132,208円	1人	37,570円																																																																																																																	
飯野川保育所	1人	23,031円	1人	22,202円	1人	52,309円																																																																																																																	
和淵保育所	5人	166,784円	4人	166,288円	3人	168,746円																																																																																																																	
桃生新田保育所	1人	32,379円	1人	94,495円	2人	155,167円																																																																																																																	
橋浦保育所	1人	27,847円	2人	86,027円	2人	90,843円																																																																																																																	
牡鹿保育所	2人	141,286円	2人	86,999円	1人	50,483円																																																																																																																	
合計	29人	1,019,614円	33人	1,125,722円	30人	1,007,462円																																																																																																																	
成果に係る評価		通園に必要な経費を助成することにより、保護者の経済的負担が軽減され、また、通園が容易になることで障害児の成長発達を支援し、福祉の増進にも繋がることから事業の継続が必要である。																																																																																																																					
（単位：円）																																																																																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																	
	1,200,000	1,007,462				1,007,462																																																																																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																															
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																															
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																															
実施計画掲載ページ		P 75	中 事 業	子どもセンター管理費																																		
事業コード	004-003-001-00142	事 業 名	子どもセンター事業																																			
目的及び事業内容	<p>児童に健全な遊びと安心して過ごせる居場所を与え、その健康を増進し、子どもたちの声を運営に反映させるとともに、子どもの社会参加の推進を図るため、遊び・学び・集う場を提供する。あわせて子育て支援サークルや子育て中の保護者の交流を推進し、子育て環境の充実と寄与する。また、運動を主とする遊びを通して児童の体力増進や「石巻市子どもの権利に関する条例」に基づく児童の社会参加を推進する事業を実施する。</p>																																					
取組実績	<p>1 開設日：祝日及び年末年始、毎月第1、3木曜日を除く毎日  2 開設時間：午前9時30分～午後7時（小学生以下は午後5時まで※保護者等の同伴は除く）  3 事業内容  (1) 遊び場・居場所の提供 . . . . . 開設日数 315日  (2) 定期開催事業・イベント . . . . . 開催回数 236回  (3) 子育て支援関係者の団体利用 . . . . . 利用団体数 102団体  4 指定管理制度の導入 指定管理者 いしのまき子どもセンターコンソーシアム  指定期間 平成30年度～令和3年度  5 その他  社会参加促進活動  Bigvoice（アンケートの実施と利用方法の作成と上映）（H30.10）  意見交換会（まちトーク…まちの良いところ、改善点の話し合い）（H30.5）  地域連携・協働活動  防災サミット（鯖江市、芦屋市の子どもと行政委員との防災意見交換）（H30.7）  元気なみやぎっ子のためのキッズフェスタin石巻（遊び場づくり）（H30.7）  石巻ハロウィン祭り（商店街等と協力し、子ども実行委員の企画で実施）（H30.10）  移動児童館（稲井地区6月1回、蛇田地区10月1回、3月3回、釜地区10月1回）</p>																																					
成 果	<p>本年度も子ども参加で運営される児童館として、施設内で継続的に行われている乳幼児向けの子育て支援事業や移動児童館のほか、ハロウィン祭り等、季節に応じて近隣商店街と連携したイベントの実施、また、他の自治体の子どもたちとの意見交換に加え、企業との連携により商店街への花の植栽活動を行う等、多方面にわたる事業を行い、子どもたちが地域で力を発揮できる機会の提供を行うことができた。</p> <p>利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一 般 来 館</td> <td>19,604人</td> <td>20,212人</td> <td>19,170人</td> <td>19,404人</td> </tr> <tr> <td>定期事業・イベント</td> <td>5,031人</td> <td>5,735人</td> <td>4,930人</td> <td>6,371人</td> </tr> <tr> <td>団 体 利 用</td> <td>3,478人</td> <td>2,166人</td> <td>2,406人</td> <td>1,270人</td> </tr> <tr> <td>見 学</td> <td>804人</td> <td>658人</td> <td>411人</td> <td>677人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28,917人</td> <td>28,771人</td> <td>26,917人</td> <td>27,722人</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	一 般 来 館	19,604人	20,212人	19,170人	19,404人	定期事業・イベント	5,031人	5,735人	4,930人	6,371人	団 体 利 用	3,478人	2,166人	2,406人	1,270人	見 学	804人	658人	411人	677人	合 計	28,917人	28,771人	26,917人	27,722人
区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																		
一 般 来 館	19,604人	20,212人	19,170人	19,404人																																		
定期事業・イベント	5,031人	5,735人	4,930人	6,371人																																		
団 体 利 用	3,478人	2,166人	2,406人	1,270人																																		
見 学	804人	658人	411人	677人																																		
合 計	28,917人	28,771人	26,917人	27,722人																																		
成果に係る評価	<p>子どもセンターは子どもが主体的に企画、活動することを重視する特性をもつが、事業の運営については多様化する住民ニーズへの対応や、子育て支援にかかる専門性が必要とされることから、平成30年度より指定管理制度を導入したことにより、社会参加促進活動や地域連携・協働活動が活発となり、地域や住民と密着した事業展開を行うことができている。</p>																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	30,008,000	30,007,600	12,614,000			17,393,600																																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																				
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																																				
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																																				
実施計画掲載ページ		P 80	中 事 業	放課後児童クラブ関係費																																							
事業コード	004-003-001-00135	事 業 名	放課後児童クラブ事業（運営）																																								
目的及び事業内容	<p>保護者の就労等により保育ができない小学生を対象に、放課後における遊びと生活の場として放課後児童クラブを開設し、児童の安全確保と健全育成を図る。</p>																																										
取組実績	<p>待機児童を解消するため、新たに放課後児童クラブ専用教室等を開設したほか、利用定員数の拡大を図った。</p> <p>1 平成30年度開設クラブ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>利用定員</th> <th>開設日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北上地区放課後児童クラブ</td> <td>30人</td> <td>H30.4.1</td> <td>新設・公共施設内</td> </tr> </tbody> </table>								クラブ名	利用定員	開設日	備考	北上地区放課後児童クラブ	30人	H30.4.1	新設・公共施設内																											
クラブ名	利用定員	開設日	備考																																								
北上地区放課後児童クラブ	30人	H30.4.1	新設・公共施設内																																								
成 果	<p>放課後児童クラブの専用教室の整備や余裕教室の開放等による受入体制を整備し、利用者数の拡大が図られた。</p> <p>【児童クラブ設置数・利用児童数・待機児童数】各年度4月1日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分(年度)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施クラブ数</td> <td>32施設</td> <td>33施設</td> <td>40施設</td> <td>43施設</td> <td>45施設</td> <td>47施設</td> </tr> <tr> <td>定 員 数</td> <td>1,464人</td> <td>1,700人</td> <td>1,975人</td> <td>2,135人</td> <td>2,225人</td> <td>2,263人</td> </tr> <tr> <td>利用児童数</td> <td>1,108人</td> <td>1,310人</td> <td>1,600人</td> <td>1,872人</td> <td>1,983人</td> <td>2,044人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>21人</td> <td>41人</td> <td>137人</td> <td>35人</td> <td>51人</td> <td>87人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29→H30の施設数の増加は、北上地区放課後児童クラブ（H30.4.1開設）と渡波地区第二放課後児童クラブ（H29.10.1開設）によるもの。</p>								区分(年度)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施クラブ数	32施設	33施設	40施設	43施設	45施設	47施設	定 員 数	1,464人	1,700人	1,975人	2,135人	2,225人	2,263人	利用児童数	1,108人	1,310人	1,600人	1,872人	1,983人	2,044人	待機児童数	21人	41人	137人	35人	51人	87人
区分(年度)	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																					
実施クラブ数	32施設	33施設	40施設	43施設	45施設	47施設																																					
定 員 数	1,464人	1,700人	1,975人	2,135人	2,225人	2,263人																																					
利用児童数	1,108人	1,310人	1,600人	1,872人	1,983人	2,044人																																					
待機児童数	21人	41人	137人	35人	51人	87人																																					
成果に係る評価	<p>放課後における遊びと生活の場の提供という視点から、本事業は児童の安全確保と健全育成に大きな役割を果たしていると評価している。  女性の就業率の増加に伴い、今後も利用者数は増加するものと見込んでおり、必要な受け皿の整備と保育の質の向上の両面からの事業展開が必要と考える。</p>																																										
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	248,431,157	238,372,532	131,460,000			23,413,000	83,499,532																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																							
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		( )																							
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		( )																							
実施計画掲載ページ		P 81	中 事 業		放課後児童クラブ施設整備事業費																									
事業コード		004-003-001-01023	事 業 名		放課後児童クラブ整備事業																									
目的及び事業内容		平成27年度の子ども・子育て支援新制度の開始により、利用対象児童を小学4年生から小学6年生まで引き上げたことから、年々利用者が増加しているため、専用教室の建設や小学校余裕教室の改修などにより、受入態勢の拡大を図る。																												
取組実績		<p>待機児童を解消するため、新たに放課後児童クラブ専用教室の施設整備を行い、利用定員数の拡大を図った。</p> <p>1 平成30年度整備施設（新規施設4箇所整備）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名称</th> <th>開設年月日</th> <th>定員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波地区第一・第二放課後児童クラブ（2階建て専用教室を整備）</td> <td>H31.4.1</td> <td>各 50人</td> </tr> <tr> <td>二俣地区放課後児童クラブ（学校敷地内に専用教室を整備）</td> <td>H31.4.1</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>広淵地区放課後児童クラブ（学校敷地内に専用教室を整備）</td> <td>H31.4.1</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 平成30年度整備により、平成30年度4月1日と比較して定員ベースで92人増加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名称</th> <th>増加定員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波地区第一・第二（39人×2クラブ→50人×2クラブ）</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>二俣地区（クラブ未設置地区における新規開設）</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>和淵地区（校舎内の使用教室の変更による：10人→30人）</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>92人</td> </tr> </tbody> </table>							クラブ名称	開設年月日	定員数	渡波地区第一・第二放課後児童クラブ（2階建て専用教室を整備）	H31.4.1	各 50人	二俣地区放課後児童クラブ（学校敷地内に専用教室を整備）	H31.4.1	50人	広淵地区放課後児童クラブ（学校敷地内に専用教室を整備）	H31.4.1	50人	クラブ名称	増加定員数	渡波地区第一・第二（39人×2クラブ→50人×2クラブ）	22人	二俣地区（クラブ未設置地区における新規開設）	50人	和淵地区（校舎内の使用教室の変更による：10人→30人）	20人	合計	92人
クラブ名称	開設年月日	定員数																												
渡波地区第一・第二放課後児童クラブ（2階建て専用教室を整備）	H31.4.1	各 50人																												
二俣地区放課後児童クラブ（学校敷地内に専用教室を整備）	H31.4.1	50人																												
広淵地区放課後児童クラブ（学校敷地内に専用教室を整備）	H31.4.1	50人																												
クラブ名称	増加定員数																													
渡波地区第一・第二（39人×2クラブ→50人×2クラブ）	22人																													
二俣地区（クラブ未設置地区における新規開設）	50人																													
和淵地区（校舎内の使用教室の変更による：10人→30人）	20人																													
合計	92人																													
成 果		待機児童の多かった渡波地区において、2階建て施設（2クラブ）を整備することで利用定員を拡大し、待機児童の解消が図られた。クラブ未設置地区であった二俣地区において、専用教室を整備しクラブを新規開設することで、当該地域の児童の利用が可能となった。校舎内空き教室を活用していた広淵地区において、学校敷地内に専用教室を整備することで、クラブ運営の環境整備を行うことができた。平成30年4月1日現在、47クラブ、定員数2,263人であったが、平成31年4月1日現在、48クラブ、定員数2,355人に受入態勢を拡充することができた。																												
成果に係る評価		施設の整備を行い、受入体制の拡大を図ったことで、待機児童の減少が図られ、児童の安全確保と健全な育成が図られた。引き続き、利用状況や待機児童の状況を精査しながら施設整備を行い、利用定員数の拡大を図る。																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	208,754,843	208,205,327	85,219,000	116,200,000		6,786,327																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる												
	3 項	児童福祉費		第 節			(1)	未来の人を育てる												
	9 目	東日本大震災関係費		( )			(2)	子育て環境の復興												
実施計画掲載ページ		P 208	中 事 業		(仮称)北上こども園建設事業費															
事業コード		004-102-001-00890	事 業 名		(仮称)北上こども園建設事業															
目的及び事業内容		<p>橋浦保育所を廃止・移行し、にっこりサンパーク内の高台に北上地区こども園を建設することで、津波等の自然災害に備え、より安全性が確保される場所に建築し、保護者及び児童の安全を確保することを目的とする。</p> <p>・令和2年度開所予定、施設規模は60人定員、0歳から5歳児までを受け入れるほか、障害児保育も実施する。</p> <p>・土地面積 2,904.32㎡ ・建物面積 936.00㎡</p>																		
取組実績		<p>(仮称)北上こども園の基本・実施設計に基づき、平成30年12月から建設工事を開始し、令和2年2月の竣工予定となっている。</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計委託料</td> <td>5,274,497</td> </tr> <tr> <td>実施設計委託料</td> <td>16,613,206</td> </tr> <tr> <td>建設工事費</td> <td>19,711,241</td> </tr> <tr> <td>工事監理業務</td> <td>525,465</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42,124,409</td> </tr> </tbody> </table>							項目	事業費	基本設計委託料	5,274,497	実施設計委託料	16,613,206	建設工事費	19,711,241	工事監理業務	525,465	合計	42,124,409
項目	事業費																			
基本設計委託料	5,274,497																			
実施設計委託料	16,613,206																			
建設工事費	19,711,241																			
工事監理業務	525,465																			
合計	42,124,409																			
成 果		震災復興基本計画実施計画に基づき、北上地区の橋浦保育所を廃止し、幼児連携型認定こども園として整備するため、基本・実施設計を完了し、建設工事に着手した。																		
成果に係る評価		令和2年4月の開園に向け、職員研修及び運営方法、幼児教育のあり方等について準備を進め、万全の体制で受入れできるよう努める必要がある。																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	52,236,706	42,124,409		42,000,000		124,409														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																									
	4 項	生活保護費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		( )																									
	2 目	扶助費		(2)	生活保護制度等を適正 に運用する		( )																									
実施計画 掲載ページ		P 60	中 事 業		各種扶助費																											
事業コード		004-001-002-00123	事 業 名		生活保護事業																											
目的及び事業内容																																
生活に困窮する市民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。																																
取組実績																																
1 生活保護の実施 現業員16名、査察指導員2名を配置し、保護の実施に当たった。																																
2 新規相談の受理 面接相談員2名を配置し、376世帯（延べ539件）からの相談を受理した。																																
3 就労支援の実施 就労支援員2名を配置して就労支援事業活用プログラムによる支援を実施することにより、就労可能な生活保護受給者53名に対してハローワーク等との連携による就労支援を行い、うち18名が就労につながった。																																
4 各種調査・点検等の実施 生活保護受給者宅への訪問調査や課税調査、扶養能力調査などの必要な調査を行い、扶助費の適正支出を図った。 また、レセプト点検員2名を配置してレセプト点検を行い、後発医薬品の利用促進など、医療費の適正な支出に努めた。																																
成果																																
保護の必要な世帯に対し、国の定める保護基準による最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長が図られた。																																
各種保護の実施																																
1 保護の相談件数 539 件																																
2 保護の開始件数 163 件 227 人																																
3 保護の廃止件数 140 件 164 人																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被保護世帯数</td> <td>1,072世帯</td> <td>1,098世帯</td> <td>1,103世帯</td> <td>1,146世帯</td> <td>1,176世帯</td> </tr> <tr> <td>被保護人員</td> <td>1,394 人</td> <td>1,449 人</td> <td>1,442 人</td> <td>1,492 人</td> <td>1,516 人</td> </tr> <tr> <td>保護率</td> <td>9.36 %</td> <td>9.84 %</td> <td>9.84 %</td> <td>10.19 %</td> <td>10.48 %</td> </tr> </tbody> </table>									年度	H26	H27	H28	H29	H30	被保護世帯数	1,072世帯	1,098世帯	1,103世帯	1,146世帯	1,176世帯	被保護人員	1,394 人	1,449 人	1,442 人	1,492 人	1,516 人	保護率	9.36 %	9.84 %	9.84 %	10.19 %	10.48 %
年度	H26	H27	H28	H29	H30																											
被保護世帯数	1,072世帯	1,098世帯	1,103世帯	1,146世帯	1,176世帯																											
被保護人員	1,394 人	1,449 人	1,442 人	1,492 人	1,516 人																											
保護率	9.36 %	9.84 %	9.84 %	10.19 %	10.48 %																											
※保護率＝保護受給人員÷人口×1,000（単位：％＝パーミル、千分率） ※年度平均数値																																
成果に係る評価																																
生活保護は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障した憲法第25条の理念に基づき、社会保障制度における最後のセーフティーネットとしての役割を果たしてきた。 生活保護の動向は、近年の経済的・社会的要因から全国的に増加傾向で推移してきたが、本市においては、震災の影響により保護世帯数・人員ともに減少がみられた。しかし、これは一時的な現象で、平成24年度中には再び増加に転じ、以後引き続き増加で推移している。 今後、各種震災支援策の終了等により、新たに保護を必要とする市民の増加も見込まれるところであり、引き続き実施体制の整備を図り、被災者の生活再建支援を含め事業を継続するとともに、生活困窮者自立支援事業との連携により、多層的なセーフティーネットを構築していく。																																
(単位：円)																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
		2,346,504,000	2,250,531,681	1,773,404,329			477,127,352																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																																																				
	5 項	災害救助費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		( )																																																																																				
	1 目	災害救助費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		( )																																																																																				
実施計画 掲載ページ		P60	中 事 業		災害援護費																																																																																						
事業コード		004-001-001-00090	事 業 名		災害援護事業																																																																																						
目的及び事業内容																																																																																											
【火災見舞金】 火災により被害を受けた市民を援護し、もってその生活の安定に資することを目的とする。																																																																																											
【高齢者世帯災害援護資金】 自然災害により住宅被害を受けた高齢者世帯の住宅復旧を援護し、生活の安定を図ることを目的とする。																																																																																											
取組実績																																																																																											
1 火災見舞金 (1) 支給額等 ア 弔慰金：(死亡した世帯員1名につき)20万円 イ 損害見舞金：(全焼・全壊)自家10万円、貸家3万円 (半壊・半焼)自家 5万円、貸家2万円 (小損)1万円 ウ 負傷見舞金：(療養期間2か月以上)4万円 (療養期間1か月以上)1万円																																																																																											
2 高齢者世帯災害援護資金の支給 (1) 対象者：以下のいずれにも該当する者 ア 災害により自らが居住し、かつ所有する市内の住宅に被害を受けた者 イ 災害時において満65歳以上の者のみの世帯に属する者 ウ 災害を受けた年度において市民税が課税されていない世帯に属する者 (2) 支給限度額 住宅復旧工事に要する費用の2分の1以内、上限20万円																																																																																											
成果																																																																																											
火災等により、被災した市民に対して見舞金等を支給することにより、り災害支援の一助とすることができた。																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">災害状況</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>支給額</th> <th>件数</th> <th>支給額</th> <th>件数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弔慰金(1人当り)</td> <td>1</td> <td>200,000円</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>全焼(自家)</td> <td>1</td> <td>100,000円</td> <td>4</td> <td>400,000円</td> <td>3</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>全焼(賃貸)</td> <td>1</td> <td>30,000円</td> <td>1</td> <td>30,000円</td> <td>1</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>半焼(自家)</td> <td>1</td> <td>50,000円</td> <td>3</td> <td>150,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>半焼(賃貸)</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>20,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小損(自家)</td> <td>1</td> <td>10,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小損(賃貸)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負傷(2月以上)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負傷(1月以上)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5</td> <td>390,000円</td> <td>9</td> <td>600,000円</td> <td>5</td> <td>530,000円</td> </tr> </tbody> </table>									災害状況	平成28年度		平成29年度		平成30年度		件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額	弔慰金(1人当り)	1	200,000円			1	200,000円	全焼(自家)	1	100,000円	4	400,000円	3	300,000円	全焼(賃貸)	1	30,000円	1	30,000円	1	30,000円	半焼(自家)	1	50,000円	3	150,000円			半焼(賃貸)			1	20,000円			小損(自家)	1	10,000円					小損(賃貸)							負傷(2月以上)							負傷(1月以上)							合 計	5	390,000円	9	600,000円	5	530,000円
災害状況	平成28年度		平成29年度		平成30年度																																																																																						
	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額																																																																																					
弔慰金(1人当り)	1	200,000円			1	200,000円																																																																																					
全焼(自家)	1	100,000円	4	400,000円	3	300,000円																																																																																					
全焼(賃貸)	1	30,000円	1	30,000円	1	30,000円																																																																																					
半焼(自家)	1	50,000円	3	150,000円																																																																																							
半焼(賃貸)			1	20,000円																																																																																							
小損(自家)	1	10,000円																																																																																									
小損(賃貸)																																																																																											
負傷(2月以上)																																																																																											
負傷(1月以上)																																																																																											
合 計	5	390,000円	9	600,000円	5	530,000円																																																																																					
高齢者世帯災害援護資金の支給は、平成26年度に（9件、1,209,455円）実績がある。																																																																																											
成果に係る評価																																																																																											
災害により被害を受けた市民の生活の安定に資するため、本事業の継続が必要である。																																																																																											
(単位：円)																																																																																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																				
		1,110,000	530,000				530,000																																																																																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																		
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																		
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 2 )	被災者の健康支援																		
実施計画掲載ページ	P177		中 事 業	被災者生活支援事業費																					
事業コード	002-102-001-00363		事 業 名	心のケア事業																					
目的及び事業内容	震災後に多く発症する、うつ病、孤独死、自殺などを予防するための事業を委託し、精神保健の予防、包括的な地域サポートを実施する。																								
取組実績	<p>ストレスによって心の状態が悪化するのを防ぐために、専門機関に相談して孤立化を防ぐことを推進した。</p> <p>委託先：一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ(活動拠点：からころステーション)</p> <p>心のサポート拠点事業</p> <p>1 来所、訪問、電話による個別支援</p> <p>(1) 来所相談 延べ1,749件</p> <p>(2) 訪問 延べ2,198件</p> <p>(3) 電話相談 延べ2,789件 計 延べ6,736件</p> <p>平成30年度の相談は、思春期の相談件数が増加している。</p> <p>診断がついていない方の心の相談が最も多い。</p> <p>2 イベント、講演会</p> <p>各地域での居場所作りや、適正飲酒、ストレスと上手につき合うために、睡眠や認知症について等、要望に応じて地域や小集団で実施した。また、アルコール問題を抱える方を対象に回復プログラムを提供し開催した。(延べ77回 1,380人)</p> <p>3 相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関する相談会を要望に応じて地域で実施した。(からころ相談会 延べ44回 639人)</li> <li>ハローワークにおいてメンタルチェックを実施した。(延べ50回 552人)</li> </ul>																								
	成 果	<p>震災後の生活環境の変化等による不安、うつ病、不眠等の相談が続いている現状にある。また、復興住宅入居の経過とともに体調や心の状態が悪化している被災者に対し、家庭訪問、来所相談、電話相談等あらゆる手段で365日対応した。</p> <p>また、仮設住宅や、復興住宅においてイベントを実施したり、アルコールの問題を抱える方を対象に勉強会やサロンを開催するなど、イベントや講演会を充実させたことにより、被災者の心のケアの強化と被災者の孤立防止が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">相談件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>6,000件</td> <td>5,620件</td> <td>93.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>7,000件</td> <td>6,572件</td> <td>93.9%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7,000件</td> <td>6,736件</td> <td>96.2%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	相談件数		達成率	目標値	実績	H28	6,000件	5,620件	93.7%	H29	7,000件	6,572件	93.9%	H30	7,000件	6,736件
区分	相談件数		達成率																						
	目標値	実績																							
H28	6,000件	5,620件	93.7%																						
H29	7,000件	6,572件	93.9%																						
H30	7,000件	6,736件	96.2%																						
成果に係る評価	<p>震災後、生活環境の変化等により、診断がついていないが心の問題を抱え支援が必要な方や、うつ病、不眠等で不安を抱えている被災者に対し、心のケア専門職により、365日、いつでも相談できる体制で相談者の要望に即座に対応した個別支援ができた。</p> <p>また、不登校やひきこもりの問題を抱えている方の居場所作りとなるサロン活動やイベントを実施したことで仲間づくりの場を提供し被災者の孤立化を防いだ。</p> <p>平成30年度は、行政、医療機関、地域包括支援センター、相談支援事業所、学校等様々な機関からのケースが紹介され支援することも多く、関係機関との連携も強化されている。</p> <p>復興公営住宅等の健康調査の結果から体調面の改善や行事への参加が増えているものの、入居の経過とともに心の状態が悪化している傾向があることから、今後も長期的な心の支援の継続が必要である。</p>																								
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	46,397,000	46,128,960	46,128,960																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																																																																															
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																																																																																															
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 2 )	被災者の健康支援																																																																																																																															
実施計画掲載ページ	P178		中 事 業	被災者生活支援事業費																																																																																																																																		
事業コード	002-102-003-00691		事 業 名	まちの保健室事業																																																																																																																																		
目的及び事業内容	街なかの人が集まりやすい商業店舗等を会場に、買い物ついでに気軽に相談や健康チェックができる場を定期的に設け、看護職による血管年齢や体脂肪、血圧等の測定及び健康相談を実施し、健康の悪化予防及び自立した健康的な生活への一助とすることを目的とする。主に復興公営住宅や在宅被災者の集まりやすい会場として、蛇田(2か所)、万石浦、鹿妻、大街道の5か所、月5回(年間60回)実施している。																																																																																																																																					
取組実績	<p>1 委託先：宮城県看護協会</p> <p>2 実施内容：血管年齢測定・肌年齢測定・体脂肪測定・血圧測定等の健康チェック、健康相談、こころの相談等を実施し、継続相談者には健康手帳の配付を行った。</p> <p>3 実施場所：5か所 (イオンモール石巻月1回、イトーヨーカドーあけぼの店月1回、イトーヨーカドーセンター石巻東店月1回、ヨークベニマル大街道店月1回、ヨークベニマル湊鹿妻店月1回、)</p> <p>4 実施回数：月5回 年60回</p> <p>5 スタッフ：コーディネーター(看護師)、相談員(保健師・看護師)、相談員補助</p>																																																																																																																																					
成 果	利用者の被災者の割合が約7割となっている。また、新規利用者が約3割、定期的な利用が4割を超えており、定着してきている。																																																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">開催回数</th> <th colspan="3">参加人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">延べ従事者数</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>月4回</td> <td>47回</td> <td>2,800人</td> <td>2,596人</td> <td>1,038人</td> <td>92.7%</td> <td>330人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>月5回</td> <td>62回</td> <td>2,900人</td> <td>2,969人</td> <td>1,156人</td> <td>102.4%</td> <td>422人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月5回</td> <td>60回</td> <td>2,900人</td> <td>2,890人</td> <td>1,097人</td> <td>99.7%</td> <td>413人</td> </tr> </tbody> </table> <p>内訳</p> <p>(1) イオンモール石巻</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>月2回</td> <td>23回</td> <td>1,954人</td> <td>749人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>月2回</td> <td>24回</td> <td>1,783人</td> <td>623人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>1,099人</td> <td>391人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) イオンスーパーセンター石巻東店</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>251人</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>275人</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>238人</td> <td>97人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ヨークベニマル大街道店</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>391人</td> <td>186人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>466人</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>593人</td> <td>190人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) ヨークベニマル湊鹿妻店</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>376人</td> <td>195人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>342人</td> <td>144人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) イトヨーカドーあけぼの店</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>年 2回</td> <td>69人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>618人</td> <td>275人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	開催回数	参加人数			達成率	延べ従事者数	目標	延べ人数	実人数	H28	月4回	47回	2,800人	2,596人	1,038人	92.7%	330人	H29	月5回	62回	2,900人	2,969人	1,156人	102.4%	422人	H30	月5回	60回	2,900人	2,890人	1,097人	99.7%	413人	年度	開催回数	延べ人数	実人数	H28	月2回	23回	1,954人	749人	H29	月2回	24回	1,783人	623人	H30	月1回	12回	1,099人	391人	年度	開催回数	延べ人数	実人数	H28	月1回	12回	251人	103人	H29	月1回	12回	275人	114人	H30	月1回	12回	238人	97人	年度	開催回数	延べ人数	実人数	H28	月1回	12回	391人	186人	H29	月1回	12回	466人	166人	H30	月1回	12回	593人	190人	年度	開催回数	延べ人数	実人数	H28	—	—	—	—	H29	月1回	12回	376人	195人	H30	月1回	12回	342人	144人	年度	開催回数	延べ人数	実人数	H28	—	—	—	—	H29	年 2回	69人	58人	H30	月1回	12回	618人
年度	開催回数	参加人数			達成率	延べ従事者数																																																																																																																																
		目標	延べ人数	実人数																																																																																																																																		
H28	月4回	47回	2,800人	2,596人	1,038人	92.7%	330人																																																																																																																															
H29	月5回	62回	2,900人	2,969人	1,156人	102.4%	422人																																																																																																																															
H30	月5回	60回	2,900人	2,890人	1,097人	99.7%	413人																																																																																																																															
年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																			
H28	月2回	23回	1,954人	749人																																																																																																																																		
H29	月2回	24回	1,783人	623人																																																																																																																																		
H30	月1回	12回	1,099人	391人																																																																																																																																		
年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																			
H28	月1回	12回	251人	103人																																																																																																																																		
H29	月1回	12回	275人	114人																																																																																																																																		
H30	月1回	12回	238人	97人																																																																																																																																		
年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																			
H28	月1回	12回	391人	186人																																																																																																																																		
H29	月1回	12回	466人	166人																																																																																																																																		
H30	月1回	12回	593人	190人																																																																																																																																		
年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																			
H28	—	—	—	—																																																																																																																																		
H29	月1回	12回	376人	195人																																																																																																																																		
H30	月1回	12回	342人	144人																																																																																																																																		
年度	開催回数	延べ人数	実人数																																																																																																																																			
H28	—	—	—	—																																																																																																																																		
H29	年 2回	69人	58人																																																																																																																																			
H30	月1回	12回	618人	275人																																																																																																																																		
成果に係る評価	<p>開催場所を5か所に拡大し、気軽に健康相談や健康チェックができるため、身近に定期で健康相談ができる場として利用されている。</p> <p>また、家庭での血圧測定の推進により高血圧が改善するなど、受診のきっかけや生活習慣を改善する機会となり生活習慣病予防の成果が見られる。</p> <p>さらに、利用者の話せる場として、復興公営住宅入居者や独居高齢者等の交流の場にもなり、心のケアを行う上でも効果的な事業となっている。</p>																																																																																																																																					
(単位：円)																																																																																																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																
	9,312,000	7,388,790	7,388,790																																																																																																																																			



予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																		
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																																		
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援																																																																		
実施計画掲載ページ	P173		中 事 業	東日本大震災援護費																																																																					
事業コード	002-101-001-00352		事 業 名	災害弔慰金・災害障害見舞金給付事業																																																																					
目的及び事業内容	<p>自然災害により死亡された市民の遺族に対する災害弔慰金の支給を行い、また、自然災害により精神又は身体に著しい障害を受けた市民には災害障害見舞金の支給を行うことにより、市民の福祉及び生活の安定に資する。</p>																																																																								
取組実績	<p>1 災害弔慰金支給件数及び金額  (1) 生計維持者 (500万円) 支給実績なし  (2) その他 (250万円) 支給実績なし</p> <p>2 災害障害見舞金支給件数及び金額  (1) 生計維持者 (250万円) 支給実績なし  (2) その他 (125万円) 支給実績なし</p>																																																																								
成 果	<p>平成30年度においては支給実績はないが、震災で死亡された方の遺族に対し弔意を示すとともに、市民の福祉・生活の安定に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">災害弔慰金支給状況</th> <th colspan="3">災害障害見舞金支給状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>3,410 件</td><td>10,062,500,000 円</td><td>H23</td><td>4 件</td><td>7,500,000 円</td></tr> <tr><td>H24</td><td>105 件</td><td>310,000,000 円</td><td>H24</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H25</td><td>18 件</td><td>51,250,000 円</td><td>H25</td><td>1 件</td><td>1,250,000 円</td></tr> <tr><td>H26</td><td>35 件</td><td>102,500,000 円</td><td>H26</td><td>1 件</td><td>1,250,000 円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>21 件</td><td>57,500,000 円</td><td>H27</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>8 件</td><td>22,500,000 円</td><td>H28</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2 件</td><td>7,500,000 円</td><td>H29</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0 件</td><td>0 円</td><td>H30</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,599 件</td><td>10,613,750,000 円</td><td>計</td><td>6 件</td><td>10,000,000 円</td></tr> </tbody> </table>							災害弔慰金支給状況			災害障害見舞金支給状況			年度	件数	金額	年度	件数	金額	H23	3,410 件	10,062,500,000 円	H23	4 件	7,500,000 円	H24	105 件	310,000,000 円	H24	0 件	0 円	H25	18 件	51,250,000 円	H25	1 件	1,250,000 円	H26	35 件	102,500,000 円	H26	1 件	1,250,000 円	H27	21 件	57,500,000 円	H27	0 件	0 円	H28	8 件	22,500,000 円	H28	0 件	0 円	H29	2 件	7,500,000 円	H29	0 件	0 円	H30	0 件	0 円	H30	0 件	0 円	計	3,599 件	10,613,750,000 円	計	6 件	10,000,000 円
災害弔慰金支給状況			災害障害見舞金支給状況																																																																						
年度	件数	金額	年度	件数	金額																																																																				
H23	3,410 件	10,062,500,000 円	H23	4 件	7,500,000 円																																																																				
H24	105 件	310,000,000 円	H24	0 件	0 円																																																																				
H25	18 件	51,250,000 円	H25	1 件	1,250,000 円																																																																				
H26	35 件	102,500,000 円	H26	1 件	1,250,000 円																																																																				
H27	21 件	57,500,000 円	H27	0 件	0 円																																																																				
H28	8 件	22,500,000 円	H28	0 件	0 円																																																																				
H29	2 件	7,500,000 円	H29	0 件	0 円																																																																				
H30	0 件	0 円	H30	0 件	0 円																																																																				
計	3,599 件	10,613,750,000 円	計	6 件	10,000,000 円																																																																				
成果に係る評価	<p>災害弔慰金の未支給者については、東日本大震災で被災し死亡された方や行方不明者の遺族の確認作業を完了しており、関連死に係る申請が見込まれるが、カルテなどの保存年限が経過し震災との関連を挙証することが困難となっている。</p> <p>また、災害障害見舞金についても、負傷又は疾病により精神や身体に著しい障害を受けた場合で、震災との因果関係がある場合を対象とするものであり、平成27年度から申請はない状況となっている。</p>																																																																								
(単位：円)																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
	16,633,000	212,627				212,627																																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( )																																																																																						
	5 項	災害救助費		第 節		( )																																																																																						
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( )																																																																																						
実施計画掲載ページ			中 事 業	東日本大震災援護費																																																																																								
事業コード			事 業 名	災害援護資金貸付事業																																																																																								
目的及び事業内容	<p>自然災害により被災を受けた地域における被災世帯の生活の早期立て直しを図るため、被害を受けた世帯を対象として災害援護資金の貸付を行う。</p>																																																																																											
取組実績	<p>1 貸付の対象  (1) 被災日(平成23年3月11日)に、石巻市内に居住していた世帯  (2) 世帯主が震災で1か月以上の療養期間が必要な負傷を負った世帯又は住居・家財に著しい損害を受けた世帯 ※世帯の人数により所得制限がある。</p> <p>2 貸付限度額 150万円～350万円 負傷の程度、損害の種類・程度で貸付限度額が変わる。</p> <p>3 貸付条件 利 率 連帯保証人あり 無利子 連帯保証人なし 据置期間経過後 年1.5%  償還期間 13年(据置期間を含む。)  据置期間 6年(世帯主の死亡や住居が全壊など特別の事情がある場合は8年)  償還方法 月賦・半年賦・年賦(元利均等償還・繰上償還可)</p> <p>4 申請期間 平成23年5月11日から令和2年3月31日まで</p> <p>5 災害援護資金貸付件数及び金額等  (1) 貸付件数 8件  (2) 貸付金総額 17,100,000円  (3) 平均貸付金額 2,137,500円/件</p>																																																																																											
成 果	<p>災害援護資金貸付により、被災者の生活の安定や早期の再建に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">災害援護資金貸付状況</th> <th colspan="3">繰上償還状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>2,380 件</td><td>4,957,530,000 円</td><td>H23</td><td>4 件</td><td>11,000,000 円</td></tr> <tr><td>H24</td><td>400 件</td><td>817,970,000 円</td><td>H24</td><td>25 件</td><td>33,588,141 円</td></tr> <tr><td>H25</td><td>134 件</td><td>312,770,000 円</td><td>H25</td><td>37 件</td><td>52,840,000 円</td></tr> <tr><td>H26</td><td>50 件</td><td>121,430,000 円</td><td>H26</td><td>61 件</td><td>78,473,976 円</td></tr> <tr><td>H27</td><td>42 件</td><td>96,278,000 円</td><td>H27</td><td>102 件</td><td>129,600,000 円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>21 件</td><td>50,339,000 円</td><td>H28</td><td>170 件</td><td>191,851,430 円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>22 件</td><td>41,600,000 円</td><td>H29</td><td>422 件</td><td>428,181,058 円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8 件</td><td>17,100,000 円</td><td>H30</td><td>381 件</td><td>264,434,382 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,057 件</td><td>6,415,017,000 円</td><td>計</td><td>1,202 件</td><td>1,189,968,987 円</td></tr> </tbody> </table> <p>約定償還状況 (償還期限 平成29年7月18日～平成31年3月31日分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>元金</th> <th>利子</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>2,199 件</td><td>55,606,885 円</td><td>3,864,991 円</td><td>59,471,876 円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8,124 件</td><td>329,824,489 円</td><td>19,339,972 円</td><td>349,164,461 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>10,323 件</td><td>385,431,374 円</td><td>23,204,963 円</td><td>408,636,337 円</td></tr> </tbody> </table>						災害援護資金貸付状況			繰上償還状況			年度	件数	金額	年度	件数	金額	H23	2,380 件	4,957,530,000 円	H23	4 件	11,000,000 円	H24	400 件	817,970,000 円	H24	25 件	33,588,141 円	H25	134 件	312,770,000 円	H25	37 件	52,840,000 円	H26	50 件	121,430,000 円	H26	61 件	78,473,976 円	H27	42 件	96,278,000 円	H27	102 件	129,600,000 円	H28	21 件	50,339,000 円	H28	170 件	191,851,430 円	H29	22 件	41,600,000 円	H29	422 件	428,181,058 円	H30	8 件	17,100,000 円	H30	381 件	264,434,382 円	計	3,057 件	6,415,017,000 円	計	1,202 件	1,189,968,987 円	年度	件数	元金	利子	合計	H29	2,199 件	55,606,885 円	3,864,991 円	59,471,876 円	H30	8,124 件	329,824,489 円	19,339,972 円	349,164,461 円	計	10,323 件	385,431,374 円	23,204,963 円	408,636,337 円
災害援護資金貸付状況			繰上償還状況																																																																																									
年度	件数	金額	年度	件数	金額																																																																																							
H23	2,380 件	4,957,530,000 円	H23	4 件	11,000,000 円																																																																																							
H24	400 件	817,970,000 円	H24	25 件	33,588,141 円																																																																																							
H25	134 件	312,770,000 円	H25	37 件	52,840,000 円																																																																																							
H26	50 件	121,430,000 円	H26	61 件	78,473,976 円																																																																																							
H27	42 件	96,278,000 円	H27	102 件	129,600,000 円																																																																																							
H28	21 件	50,339,000 円	H28	170 件	191,851,430 円																																																																																							
H29	22 件	41,600,000 円	H29	422 件	428,181,058 円																																																																																							
H30	8 件	17,100,000 円	H30	381 件	264,434,382 円																																																																																							
計	3,057 件	6,415,017,000 円	計	1,202 件	1,189,968,987 円																																																																																							
年度	件数	元金	利子	合計																																																																																								
H29	2,199 件	55,606,885 円	3,864,991 円	59,471,876 円																																																																																								
H30	8,124 件	329,824,489 円	19,339,972 円	349,164,461 円																																																																																								
計	10,323 件	385,431,374 円	23,204,963 円	408,636,337 円																																																																																								
成果に係る評価	<p>平成23年度から平成30年度まで8ヶ年の貸付件数は3,057件であり、貸付金の利用目的は、住宅の建設・補修が約5割、家財の購入が約3割、その他が約2割となっている。平成30年度における8件の貸付金の利用目的は、住宅の建設・補修が約9割以上を占めている。</p> <p>政令の改正により、貸付期間が令和元年度末まで延長されたことにもない、今後も区画整理事業等の復興事業の進展に伴う貸付が可能となったことから、本貸付制度が被災世帯の生活再建に寄与するものと思われる。</p> <p>また、平成29年度より据置期間を満了し償還期間となったことから、本施策は貸付金の償還に関する業務が主たるものとなっている。</p>																																																																																											
(単位：円)																																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																						
	21,067,000	20,882,060		17,100,000		3,782,060																																																																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																							
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																							
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援																							
実施計画掲載ページ	P176		中 事 業	被災者生活支援事業費																										
事業コード	002-101-004-00359	事 業 名	被災者生活支援事業																											
目的及び事業内容	仮設住宅等における相談・生活支援を推進するため、「被災者支援総合交付金実施要綱」等に基づき、被災者生活支援事業を展開し、東日本大震災による被災者の生活支援を図るもの。 1 仮設住宅等サポート拠点運営事業 2 被災者見守り・相談支援事業 3 被災者支援総合事業																													
取組実績	1 仮設住宅等サポート拠点運営事業 被災者及び仮設住宅入居者に対し、仮設住宅等におけるサポートセンターを運営するとともに、被災した高齢者等を支援する事業を実施した。 (1) ささえあい拠点センター管理運営 (2) ささえあいセンター施設管理 (3) ささえあいセンター利用予約受付 (4) サロン事業の実施 2 被災者見守り・相談支援事業 石巻市内の民生委員・児童委員協議会担当地区(16地区)に地域福祉コーディネーター、地域生活支援員等を配置し、地区内の応急仮設住宅、復興公営住宅を中心に相談支援、見守り事業等を実施するとともに、在宅自立対象者に対し各種情報提供などの生活支援を実施した。 (1) 応急仮設住宅等生活相談支援事業 3 被災者支援総合事業 被災者及び仮設住宅入居者に対し、様々な専門職種や関係機関・団体による相談・生活支援事業等を実施した。 (1) 看護師等相談支援事業〈健康推進課で事業実施〉 (2) 心のサポート拠点事業〈健康推進課で事業実施〉 (3) 「まちの保健室」事業〈健康推進課で事業実施〉 (4) 虐待防止センター設置運営事業〈虐待防止センターで予算化・事業実施〉 4 その他事業 カーシェアリングコミュニティサポート事業、被災者管理・情報提供システム保守管理事業																													
成 果	東日本大震災による被災者及び仮設住宅入居者に対し、介護・看護・福祉サービスを実施することにより、被災者の生活支援が図られた。 ・ささえあいセンター（仮設住宅サポートセンター）利用実績 <table border="1"> <tr> <td>利用件数</td> <td>左のうち市主催</td> <td>利用者数</td> <td>左のうち市主催</td> </tr> <tr> <td>3,749件</td> <td>678件</td> <td>26,918人</td> <td>5,462人</td> </tr> </table> ・応急仮設住宅等生活相談支援事業活動実績 <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>巡回累計数</td> <td>訪問延べ世帯数</td> </tr> <tr> <td>アパル 仮設住宅</td> <td>11,089回</td> <td>4,918世帯</td> </tr> <tr> <td>みなし仮設住宅</td> <td>125回</td> <td>125世帯</td> </tr> <tr> <td>復興公営住宅</td> <td>5,424回</td> <td>14,170世帯</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,638回</td> <td>19,213世帯</td> </tr> </table>							利用件数	左のうち市主催	利用者数	左のうち市主催	3,749件	678件	26,918人	5,462人	区分	巡回累計数	訪問延べ世帯数	アパル 仮設住宅	11,089回	4,918世帯	みなし仮設住宅	125回	125世帯	復興公営住宅	5,424回	14,170世帯	計	16,638回	19,213世帯
利用件数	左のうち市主催	利用者数	左のうち市主催																											
3,749件	678件	26,918人	5,462人																											
区分	巡回累計数	訪問延べ世帯数																												
アパル 仮設住宅	11,089回	4,918世帯																												
みなし仮設住宅	125回	125世帯																												
復興公営住宅	5,424回	14,170世帯																												
計	16,638回	19,213世帯																												
成果に係る評価	応急仮設住宅においては、ささえあいセンター等を中心に支援事業を展開したが、応急仮設住宅から復興公営住宅等への移行後も専門的かつ重層的な支援は引き続き継続する必要がある、孤立防止や地域のコミュニティに関し継続した支援が必要となっている。																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	439,954,000	355,586,009	355,584,000			2,009																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																																						
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																																																						
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援																																																																																						
実施計画掲載ページ	P176		中 事 業	被災者生活支援事業費																																																																																									
事業コード	002-101-004-00359	事 業 名	被災者生活支援事業（被災者見守りシステム設置事業）																																																																																										
目的及び事業内容	被災した在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備して、日常生活の安全を確保すると共に、精神的な不安を解消して福祉の増進を図る。																																																																																												
取組実績	【緊急通報システム設置状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 分</th> <th>全 体</th> <th>本 庁</th> <th>河 北</th> <th>雄 勝</th> <th>河 南</th> <th>桃 生</th> <th>北 上</th> <th>牡 鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>年度未設置者数</td> <td>189人</td> <td>168人</td> <td>8人</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>26人</td> <td>25人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>年度未設置者数</td> <td>201人</td> <td>182人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>32人</td> <td>30人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>年度未設置者数</td> <td>223人</td> <td>207人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>48人</td> <td>46人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>年度未設置者数</td> <td>230人</td> <td>217人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>32人</td> <td>32人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	H27	年度未設置者数	189人	168人	8人	1人	6人	4人	0人	2人	新規設置者数	26人	25人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	H28	年度未設置者数	201人	182人	6人	1人	5人	4人	0人	3人	新規設置者数	32人	30人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	H29	年度未設置者数	223人	207人	6人	1人	4人	2人	0人	3人	新規設置者数	48人	46人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	H30	年度未設置者数	230人	217人	4人	1人	3人	2人	0人	3人	新規設置者数	32人	32人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿																																																																																				
H27	年度未設置者数	189人	168人	8人	1人	6人	4人	0人	2人																																																																																				
	新規設置者数	26人	25人	1人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																				
H28	年度未設置者数	201人	182人	6人	1人	5人	4人	0人	3人																																																																																				
	新規設置者数	32人	30人	1人	0人	0人	0人	0人	1人																																																																																				
H29	年度未設置者数	223人	207人	6人	1人	4人	2人	0人	3人																																																																																				
	新規設置者数	48人	46人	1人	0人	0人	0人	0人	1人																																																																																				
H30	年度未設置者数	230人	217人	4人	1人	3人	2人	0人	3人																																																																																				
	新規設置者数	32人	32人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																																				
成 果	平成30年度の設置数は新規設置数が32件で昨年度より16件減少したが、全体では昨年度より7件の増加して230件となった。また、被災したひとり暮らし高齢者等の日常生活上の安全確保と精神的な不安の解消が図られた。																																																																																												
成果に係る評価	本市では、ひとり暮らしの高齢者が増えており、家庭や地域の関係性の希薄化が進む中、緊急時の連絡や安否確認の上で非常に有効なシステムであるが、財源の被災者支援総合交付金が令和2年度で終了となるため、令和3年度以降「ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業」に統合し、既存設置分の保守管理等を含めて事業を継続していく必要がある。																																																																																												
(単位：円)																																																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
	6,670,000	4,988,518	4,988,518																																																																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																								
	5 項	災害救助費					( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																								
	2 目	東日本大震災関係費					( 1 )	被災者への生活支援																																								
実施計画掲載ページ		P176	中 事 業		応急仮設住宅管理費																																											
事業コード		002-101-004-00360	事 業 名		応急仮設住宅運営管理補助事業〔復興基金〕																																											
目的及び事業内容		宮城県応急仮設住宅共同施設維持管理等補助金交付要綱に基づき、石巻市応急仮設住宅管理推進協議会を設置し、応急仮設住宅の適正な維持管理を図るもの。 協議会の所掌 1 共同利用施設の維持管理 2 入居者の維持管理支援 3 防火安全対策・空き住戸の防犯措置 4 集会所・談話室の維持管理 5 応急仮設住宅を適正に管理するための経費 (1)浄化槽管理経費 (2)解体時管理経費 (3)応急仮設住宅間移転経費 など																																														
取組実績		<p>1 経常的経費・・・・・・・・全団地</p> <p>(1) 共同利用施設の維持管理 ア 外灯、合併処理浄化槽、受水槽、共用盤（テレビアンテナ、屋根裏換気扇）の電気代 イ テレビアンテナの修繕</p> <p>(2) 入居者の維持管理支援 ア 共同アンテナ用配線電柱共架料 イ 共用部環境整備</p> <p>(3) 防火安全対策費及び空き住戸の防犯設置費 ア 住宅等鍵交換、外灯修繕、団地閉鎖用消耗品等</p> <p>(4) その他 ア 個別住戸修繕、害虫駆除、残置物処分、仮設間移転に伴う住戸修繕</p> <p>2 義務的経費 解体時管理経費（遊具・車止め復旧、法面復旧等）・・・仮設鮎川浜四ツ小谷第1団地ほか12団地</p> <p>3 団地集約化経費 応急仮設住宅間移転費・・・・・・・・仮設開成第11団地ほか7団地（9戸9世帯移転）</p> <p>○応急仮設住宅管理状況等（平成31年3月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本 庁</th> <th>河北総合支所</th> <th>雄勝総合支所</th> <th>河南総合支所</th> <th>桃生総合支所</th> <th>北上総合支所</th> <th>牡鹿総合支所</th> <th>合計</th> <th>解体済</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設住宅</td> <td>2,031戸</td> <td>397戸</td> <td>98戸</td> <td>200戸</td> <td>122戸</td> <td>0戸</td> <td>16戸</td> <td>2,864戸</td> <td>4,289戸</td> </tr> <tr> <td>仮設グループホーム</td> <td>50戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>50戸</td> <td>94戸</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,081戸</td> <td>397戸</td> <td>98戸</td> <td>200戸</td> <td>122戸</td> <td>0戸</td> <td>16戸</td> <td>2,914戸</td> <td>4,383戸</td> </tr> </tbody> </table>								本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計	解体済	仮設住宅	2,031戸	397戸	98戸	200戸	122戸	0戸	16戸	2,864戸	4,289戸	仮設グループホーム	50戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	50戸	94戸	計	2,081戸	397戸	98戸	200戸	122戸	0戸	16戸	2,914戸	4,383戸
	本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計	解体済																																							
仮設住宅	2,031戸	397戸	98戸	200戸	122戸	0戸	16戸	2,864戸	4,289戸																																							
仮設グループホーム	50戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	50戸	94戸																																							
計	2,081戸	397戸	98戸	200戸	122戸	0戸	16戸	2,914戸	4,383戸																																							
成 果		<p>県補助金を活用し、集会所の維持管理・個別住戸・浄化槽等の修繕を含め、応急仮設住宅の共同利用施設の適正な維持管理が図られた。</p> <p>退去が完了した団地については、順次県により解体工事が進められ、一部完了検査が年度を跨ぐものやグラウンドの復旧が次年度となる団地があるものの、年度内に35団地の解体が完了し、公園敷地等についても遊具等の設置など本来の使用目的に復旧し土地の返還を行った。</p>																																														
成果に係る評価		<p>応急仮設住宅については、年度末に特定延長の供与期限を迎えるなどそれぞれの再建先へ移転が進み、現在は3月に入居開始となった復興公営住宅入居世帯や4月以降に自宅が完成する世帯など、特定延長の再延長が認められた世帯のみが入居の許可をされており、入居率も1%を切った状態となっている。再延長が認められた世帯についても、復興公営住宅については4月中、自宅建設については9月までに再建先への移転の目処が立っていることから、これまで行ってきた、応急仮設住宅の維持管理については、概ね令和元年度の上半期で終了する見込みとなった。</p> <p>今後については、順次解体工事が進められることから、それまでの空き住戸の防犯管理や解体業者との調整を行うとともに、令和2年度の上半期で敷地の復旧等も含め応急仮設住宅の管理は終了予定となっている。</p>																																														
（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	104,727,570	89,439,074			43,354,953	46,084,121																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																						
	5 項	災害救助費					( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																						
	2 目	東日本大震災関係費					( 1 )	被災者への生活支援																																																						
実施計画掲載ページ		P176	中 事 業		災害救助費																																																									
事業コード		002-101-004-00360	事 業 名		応急仮設住宅運営管理補助事業（仮設住宅コールセンター業務）																																																									
目的及び事業内容		災害救助法に基づき供与された応急仮設住宅及び共同利用施設について、迅速かつ適切な維持管理を図るため、コールセンターを設置することにより、入居者の利便性の向上を図る。																																																												
取組実績		<p>1 仮設住宅コールセンターの設置状況等</p> <p>(1) 運用開始日：平成24年5月1日（火）</p> <p>(2) 電話受付時間：午前9時から午後5時まで（土日祝日を含む。2回線）</p> <p>(3) 現場対応時間：午前9時から午後5時まで</p> <p>(4) 現場対応体制：2チーム（1チーム2人1組）</p> <p>(5) 委託先：同和興業株式会社石巻営業所（同社内にコールセンター設置）</p> <p>(6) 対応内容等：仮設住宅等の不具合対応（小破修繕）、退去立会、受水槽・浄化槽の管理、害虫駆除等</p> <p>2 応急仮設住宅入居状況等（平成31年3月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本 庁</th> <th>河北総合支所</th> <th>雄勝総合支所</th> <th>河南総合支所</th> <th>桃生総合支所</th> <th>北上総合支所</th> <th>牡鹿総合支所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工戸数</td> <td>4,174戸</td> <td>847戸</td> <td>161戸</td> <td>961戸</td> <td>331戸</td> <td>234戸</td> <td>445戸</td> <td>7,153戸</td> </tr> <tr> <td>解体済戸数</td> <td>2,143戸</td> <td>450戸</td> <td>63戸</td> <td>761戸</td> <td>209戸</td> <td>234戸</td> <td>429戸</td> <td>4,289戸</td> </tr> <tr> <td>入居戸数</td> <td>49戸</td> <td>10戸</td> <td>5戸</td> <td>7戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>0戸</td> <td>71戸</td> </tr> <tr> <td>入居率</td> <td>1.17%</td> <td>1.18%</td> <td>3.11%</td> <td>0.73%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td>0.99%</td> </tr> <tr> <td>集会所等（プレハブ）</td> <td>9所</td> <td>3所</td> <td>1所</td> <td>1所</td> <td>0所</td> <td>0所</td> <td>0所</td> <td>14所</td> </tr> </tbody> </table>								本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計	着工戸数	4,174戸	847戸	161戸	961戸	331戸	234戸	445戸	7,153戸	解体済戸数	2,143戸	450戸	63戸	761戸	209戸	234戸	429戸	4,289戸	入居戸数	49戸	10戸	5戸	7戸	0戸	0戸	0戸	71戸	入居率	1.17%	1.18%	3.11%	0.73%	0.00%	0.00%	0.00%	0.99%	集会所等（プレハブ）	9所	3所	1所	1所	0所	0所	0所	14所
	本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計																																																						
着工戸数	4,174戸	847戸	161戸	961戸	331戸	234戸	445戸	7,153戸																																																						
解体済戸数	2,143戸	450戸	63戸	761戸	209戸	234戸	429戸	4,289戸																																																						
入居戸数	49戸	10戸	5戸	7戸	0戸	0戸	0戸	71戸																																																						
入居率	1.17%	1.18%	3.11%	0.73%	0.00%	0.00%	0.00%	0.99%																																																						
集会所等（プレハブ）	9所	3所	1所	1所	0所	0所	0所	14所																																																						
成 果		<p>コールセンターを設置することにより、仮設住宅、共同利用施設の不具合について、迅速な現場対応、退去立会い・確認等、適正な維持管理が図られた。</p> <p>【依頼対応案件】 （平成30年4月～平成31年3月）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14 件</th> <th>浄化槽、受水槽、排水関係</th> <th>124 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雨漏り、建付、鍵の不具合、網戸</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>カビの除去等</td> <td>0 件</td> <td>敷地内不具合（砂利、除草、外灯等）</td> <td>105 件</td> </tr> <tr> <td>スロープ・ステップ等建物関連</td> <td>46 件</td> <td>防虫、防鼠</td> <td>61 件</td> </tr> <tr> <td>照明器具・換気扇・アンテナ等不具合</td> <td>40 件</td> <td>その他（苦情、問い合わせ対応等）</td> <td>671 件</td> </tr> <tr> <td>給湯器、電化製品の不具合</td> <td>35 件</td> <td>総対応件数</td> <td>1,096 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【退去立会い対応案件】 予約電話受付件数・・・582件 立会い実施件数・・・558件</p>								14 件	浄化槽、受水槽、排水関係	124 件	雨漏り、建付、鍵の不具合、網戸				カビの除去等	0 件	敷地内不具合（砂利、除草、外灯等）	105 件	スロープ・ステップ等建物関連	46 件	防虫、防鼠	61 件	照明器具・換気扇・アンテナ等不具合	40 件	その他（苦情、問い合わせ対応等）	671 件	給湯器、電化製品の不具合	35 件	総対応件数	1,096 件																														
	14 件	浄化槽、受水槽、排水関係	124 件																																																											
雨漏り、建付、鍵の不具合、網戸																																																														
カビの除去等	0 件	敷地内不具合（砂利、除草、外灯等）	105 件																																																											
スロープ・ステップ等建物関連	46 件	防虫、防鼠	61 件																																																											
照明器具・換気扇・アンテナ等不具合	40 件	その他（苦情、問い合わせ対応等）	671 件																																																											
給湯器、電化製品の不具合	35 件	総対応件数	1,096 件																																																											
成果に係る評価		<p>応急仮設住宅や共同利用施設の不具合については、再建先への移転が進んだことで対応件数は前年度の件数の半分程度になっている。コールセンターの規模を縮小しつつ、当初見込んでいた600件程度の退去立会いを行うなど一定の事業効果は認められる。</p> <p>応急仮設住宅入居率については年度未現在で1%を切っており、現在入居している世帯についても9月までに再建先への移転の目処が立っている状況である。仮設住宅不具合の一次対応や退去立会いを行ってきたコールセンター業務について、概ね目的を達成したことから令和元年7月末をもって閉鎖し、一部継続する退去立会いの業務は直営で行うこととしている。</p>																																																												
（単位：円）																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	67,540,000	67,500,000	67,500,000																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																							
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																							
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援																																							
実施計画掲載ページ	P177		中 事 業	応急仮設住宅等被災者自立生活支援事業費																																										
事業コード	002-101-004-01093	事業名	応急仮設住宅等被災者自立生活支援事業																																											
目的及び事業内容	<p>1 応急仮設住宅等被災者自立生活支援事業 自立する方法、時期等について判断できかねている仮設住宅等入居者に対し、保健・医療・福祉の資格を有する自立生活支援専門員と自立生活支援員が情報提供・相談・手続き等、自立に向けた支援を行い恒久住宅への円滑な移転を支援する。</p> <p>2 伴走型被災者支援事業 様々な課題を抱えた被災者の自立を支援するため、再建の妨げとなっている課題を把握し、関係機関と連携しながら、被災者を伴走する形で住まい探しや被災者が抱える課題の解決に取り組み、経済的自立と恒久的住まいへの円滑な移転を支援する。</p>																																													
取組実績	<p>仮設住宅入居者のうち自立する方法・時期等について判断できかねている高齢者・障害者等の世帯に対し、自立再建に向けた相談・手続き等の支援を実施した。</p> <p>また、様々な課題を抱えた被災者に対し、伴走する形で住まい探しや課題の解決に取り組むため、平成29年10月より伴走型被災者支援事業を実施した。</p>																																													
	<p>1 応急仮設住宅等被災者自立生活支援事業</p> <p>(1) 自立生活専門員(10名)、自立生活支援員(22名)</p> <p>(2) 活動内容(H30年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>延べ世帯数</th> <th>項 目</th> <th>延べ世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援事業対象</td> <td>3,232</td> <td>小規模補修</td> <td>3,764</td> </tr> <tr> <td>特定延長調査関係</td> <td>624</td> <td>加算支援金</td> <td>2,421</td> </tr> <tr> <td>潜在未定調査</td> <td>270</td> <td>復興住宅等入居支援</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>供与期限通知</td> <td>531</td> <td>その他対応相談</td> <td>4,365</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>15,557</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 伴走型被災者支援事業</p> <p>(1) 伴走型支援員(10名)</p> <p>(2) 活動内容(H30年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>延べ世帯数</th> <th>項 目</th> <th>延べ世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問</td> <td>509</td> <td>情報提供</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>859</td> <td>同行支援※</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>連携機関(食料支援等)</td> <td>356</td> <td>計</td> <td>1,873</td> </tr> </tbody> </table> <p>※生活保護相談、納税相談、物件内覧等</p>							項 目	延べ世帯数	項 目	延べ世帯数	自立支援事業対象	3,232	小規模補修	3,764	特定延長調査関係	624	加算支援金	2,421	潜在未定調査	270	復興住宅等入居支援	350	供与期限通知	531	その他対応相談	4,365			計	15,557	項 目	延べ世帯数	項 目	延べ世帯数	訪問	509	情報提供	78	電話	859	同行支援※	71	連携機関(食料支援等)	356	計
項 目	延べ世帯数	項 目	延べ世帯数																																											
自立支援事業対象	3,232	小規模補修	3,764																																											
特定延長調査関係	624	加算支援金	2,421																																											
潜在未定調査	270	復興住宅等入居支援	350																																											
供与期限通知	531	その他対応相談	4,365																																											
		計	15,557																																											
項 目	延べ世帯数	項 目	延べ世帯数																																											
訪問	509	情報提供	78																																											
電話	859	同行支援※	71																																											
連携機関(食料支援等)	356	計	1,873																																											
成 果	<p>支援対象世帯への戸別訪問による実態調査や仮設住宅入居者の再建のための状況把握を図るとともに、情報提供・相談・手続き等当該世帯に必要な支援を実施することで自立再建が促された。</p> <p>支援対象世帯数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立困難</td> <td>59 世帯</td> <td>67 世帯</td> <td>94 世帯</td> <td>52 世帯</td> </tr> <tr> <td>自立再建支援</td> <td>30 世帯</td> <td>229 世帯</td> <td>304 世帯</td> <td>192 世帯</td> </tr> <tr> <td>調査中等</td> <td>227 世帯</td> <td>39 世帯</td> <td>10 世帯</td> <td>0 世帯</td> </tr> <tr> <td>伴走型</td> <td>— 世帯</td> <td>— 世帯</td> <td>84 世帯</td> <td>119 世帯</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>316 世帯</td> <td>335 世帯</td> <td>492 世帯</td> <td>363 世帯</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	自立困難	59 世帯	67 世帯	94 世帯	52 世帯	自立再建支援	30 世帯	229 世帯	304 世帯	192 世帯	調査中等	227 世帯	39 世帯	10 世帯	0 世帯	伴走型	— 世帯	— 世帯	84 世帯	119 世帯	計	316 世帯	335 世帯	492 世帯	363 世帯									
区 分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																																										
自立困難	59 世帯	67 世帯	94 世帯	52 世帯																																										
自立再建支援	30 世帯	229 世帯	304 世帯	192 世帯																																										
調査中等	227 世帯	39 世帯	10 世帯	0 世帯																																										
伴走型	— 世帯	— 世帯	84 世帯	119 世帯																																										
計	316 世帯	335 世帯	492 世帯	363 世帯																																										
成果に係る評価	<p>応急仮設入居者のうち、障害や高齢の方など、自ら自立する道筋を立てられない世帯(自立困難世帯)には「自立生活支援専門員」(保健・医療・福祉の専門職)が、専門職の対応は必要としないものの自立に向けた支援が必要な対象者(自立未定世帯等)には「自立生活支援員」(復興支援員)が、複合的な課題を抱えた世帯には「伴走型支援員」が相互に連携しながら、訪問等で入居者への説明や聞取りを丁寧に行い、具体的な支援により自立再建に繋がった。</p>																																													
予算の執行状況	(単位:円)																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	192,000,000	166,589,950	94,522,000			72,067,950																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																											
	5 項	災害救助費		第 節		( 2 )	住まいの再建																																											
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	恒久住宅の復旧・復興																																											
実施計画掲載ページ	P180		中 事 業	被災者住宅再建補助事業費																																														
事業コード	002-201-004-00683	事業名	被災者住宅再建支援事業〔復興基金〕																																															
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため、被災住宅の再建を行う被災者に対し、住宅再建資金の一部を補助することにより、被災者の負担軽減を図り、本市への定住促進を促す。</p> <p>また、災害危険区域の指定日(平成24年12月1日)前に移転した被災者に対し、国の制度である「がけ地近接等危険住宅移転事業」と同等の支援を行なうことにより、被災者支援の格差の解消を図る。</p>																																																	
取組実績	<p>1 東日本大震災被災者住宅再建事業補助金</p> <p>(1) 建設・購入</p> <p>ア 利子補給補助 上限額 444万円</p> <p>イ 取得費用補助 上限額 250万円</p> <p>ウ かさ上げ工事等 上限額 100万円(工事費用の1/1)</p> <p>(2) 補修</p> <p>ア 利子補給補助 上限額 150万円</p> <p>イ 補修費用補助 上限額 100万円(生活再建支援金の加算支援金を控除した金額の1/1)</p> <p>2 東日本大震災被災者危険住宅移転事業補助金</p> <p>(1) 住宅・土地取得等 上限額 786万円</p> <p>3 補助金交付件数及び交付金額</p> <p>(1) 被災者住宅再建事業補助金 交付件数 1,126件 交付金額 2,716,660,000円</p> <p>(2) 被災者危険住宅移転事業補助金 交付件数 0件 交付金額 0円</p>																																																	
	<p>被災者の住宅再建を促進するとともに住宅再建制度における支援格差の解消に寄与した。</p> <p>被災者住宅再建補助事業 補助金交付件数及び金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">住宅再建事業</th> <th colspan="2">危険住宅移転事業</th> </tr> <tr> <th>実績件数</th> <th>金額</th> <th>実績件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>5,848 件</td> <td>7,794,672,000 円</td> <td>200 件</td> <td>894,415,000 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,650 件</td> <td>3,118,689,000 円</td> <td>25 件</td> <td>100,384,000 円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,284 件</td> <td>6,546,320,000 円</td> <td>5 件</td> <td>29,570,000 円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>959 件</td> <td>2,507,095,000 円</td> <td>2 件</td> <td>3,752,000 円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>934 件</td> <td>2,606,637,000 円</td> <td>1 件</td> <td>1,665,000 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,126 件</td> <td>2,716,660,000 円</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,801 件</td> <td>25,290,073,000 円</td> <td>233 件</td> <td>1,029,786,000 円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業		実績件数	金額	実績件数	金額	H25	5,848 件	7,794,672,000 円	200 件	894,415,000 円	H26	1,650 件	3,118,689,000 円	25 件	100,384,000 円	H27	1,284 件	6,546,320,000 円	5 件	29,570,000 円	H28	959 件	2,507,095,000 円	2 件	3,752,000 円	H29	934 件	2,606,637,000 円	1 件	1,665,000 円	H30	1,126 件	2,716,660,000 円	0 件	0 円	計	11,801 件	25,290,073,000 円	233 件
年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業																																															
	実績件数	金額	実績件数	金額																																														
H25	5,848 件	7,794,672,000 円	200 件	894,415,000 円																																														
H26	1,650 件	3,118,689,000 円	25 件	100,384,000 円																																														
H27	1,284 件	6,546,320,000 円	5 件	29,570,000 円																																														
H28	959 件	2,507,095,000 円	2 件	3,752,000 円																																														
H29	934 件	2,606,637,000 円	1 件	1,665,000 円																																														
H30	1,126 件	2,716,660,000 円	0 件	0 円																																														
計	11,801 件	25,290,073,000 円	233 件	1,029,786,000 円																																														
成 果	<p>被災者の住宅再建及び国の制度との支援格差の解消に寄与してきたものであり、平成30年度は、住まいの再建状況調査を実施したことにより実績件数が増加した。</p> <p>今後においては、令和2年度の事業終了に向け適切に補助金を交付するとともに、事業終了時期を含め制度の周知を図る必要がある。</p>																																																	
成果に係る評価	<p>被災者の住宅再建及び国の制度との支援格差の解消に寄与してきたものであり、平成30年度は、住まいの再建状況調査を実施したことにより実績件数が増加した。</p> <p>今後においては、令和2年度の事業終了に向け適切に補助金を交付するとともに、事業終了時期を含め制度の周知を図る必要がある。</p>																																																	
予算の執行状況	(単位:円)																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	2,762,398,000	2,762,388,024	45,087,840		2,716,660,000	640,184																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																					
	5 項	災害救助費		第 節		( 2 )	住まいの再建																					
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	恒久住宅の復旧・復興																					
実施計画掲載ページ		P181	中 事 業		復興公営住宅等移転支援事業費																							
事業コード		002-201-004-00927	事 業 名		復興公営住宅等移転支援事業〔復興基金〕																							
目的及び事業内容		東日本大震災により自ら居住していた住宅に被害を受けた者が応急仮設住宅等（みなし仮設住宅を含む）の応急一時的な住まいから復興公営住宅、民間賃貸住宅等の恒久的な住まいへの移転（市内での転居又は市外からの転入に限る。）を促し、応急仮設住宅の早期解消と被災者の再建を推進することを目的とし、応急仮設住宅等（みなし仮設住宅を含む）から市内の復興公営住宅、民間賃貸住宅等へ移転（引越し）し、応急仮設住宅等の退去（明渡し）の手続きが完了した場合に補助金（上限額10万円）を交付する。																										
取 組 実 績		<p>1 支給概要 平成26年7月より、応急仮設住宅の早期解消と被災者の再建を推進することを目的として「復興公営住宅等移転補助金」の事業を実施している。 平成29年度で事業終了予定であったが、平成30年度、平成31年度と2度延長を行った。</p> <p>2 支給実績 支給件数 366 件 支給額 34,729,000 円</p>																										
成 果		<p>平成30年度は、実績件数が見込件数を大きく下回ったものの、応急仮設住宅からの退去費用の負担軽減が図られ、復興公営住宅への円滑な移転を進めることができた。</p> <p>補助金交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>130 件</td> <td>13,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>884 件</td> <td>85,163,000 円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,004 件</td> <td>97,302,000 円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>486 件</td> <td>47,748,000 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>366 件</td> <td>34,729,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,870 件</td> <td>277,942,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	件数	金額	H26	130 件	13,000,000 円	H27	884 件	85,163,000 円	H28	1,004 件	97,302,000 円	H29	486 件	47,748,000 円	H30	366 件	34,729,000 円	計	2,870 件	277,942,000 円
年度	件数	金額																										
H26	130 件	13,000,000 円																										
H27	884 件	85,163,000 円																										
H28	1,004 件	97,302,000 円																										
H29	486 件	47,748,000 円																										
H30	366 件	34,729,000 円																										
計	2,870 件	277,942,000 円																										
成果に係る評価		平成30年度において、ほとんどの仮設住宅が解消したことから今後における大幅な申請増加は見込めない。 今後は事業終了に向け補助金の申請漏れの可能性がある世帯に補助金の交付申請を勧奨する必要がある。																										
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
	34,879,000	34,874,002			34,729,000	145,002																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す										
	5 項	災害救助費		第 節		( 2 )	住まいの再建										
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	恒久住宅の復旧・復興										
実施計画掲載ページ		P181	中 事 業		津波浸水区域被災住宅支援事業費												
事業コード		002-201-004-01263	事 業 名		津波浸水区域被災住宅小規模補修費補助金交付事業〔復興基金〕												
目的及び事業内容		東日本大震災により被災した住宅を100万円以内の小規模な補修を行う被災者に対し、石巻市津波浸水区域被災住宅小規模補修補助金（50万円を上限（応急修理制度未利用者76万円を上限））を交付することにより、住宅の補修が未完了である被災者の負担軽減を図るもの。															
取 組 実 績		<p>ダイレクトメールにより制度の周知に努めたほか、要件を満たしている世帯を対象として個別訪問し住まいの再建状況調査を実施した。 同調査により修繕意向を確認したため平成30年度の単年度事業を、1年度延長し令和元年度までとした。</p> <p>1 補助額 応急修理制度利用済みの場合：最大50万円まで交付（応急修理制度未利用の場合：76万円まで交付）</p> <p>2 交付要件 ・被災者生活再建支援制度「加算支援金（加算）」を受給している。 ・被災者住宅再建事業補助金の交付を受けていない。 ・補修規模は100万円以内である。 ・り災場所は「津波浸水区域」で、り災判定は「全壊」または「大規模半壊」である。 ・市税等を完納、または分納誓約履行中である。 ・暴力団員ではない。暴力団員でなくなった日から5年を経過している。 ・契約先は、石巻地元工務店協同組合加盟・宮城県電機商業組合石巻支部加盟（石巻市内）又は石巻市の登録業者（市内）である。</p>															
成 果		<p>補助金の交付範囲であれば自己負担なく住まいの修繕が行えることから被災者の資力に関係なくの住環境の改善に寄与した。 また、制度の周知を丁寧に行った結果他の補助金（住宅再建事業補助金）の交付件数が増加する相乗効果があった。</p> <p>補助金交付の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">申請受付 (件)</th> <th colspan="2">交付決定</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>617</td> <td>617</td> <td>320,964,688</td> </tr> </tbody> </table>						年度	申請受付 (件)	交付決定		件数(件)	金額(円)	H30	617	617	320,964,688
年度	申請受付 (件)	交付決定															
		件数(件)	金額(円)														
H30	617	617	320,964,688														
成果に係る評価		平成30年度の単年度事業であったが、補助対象となる可能性があるものに対して住まいの再建状況調査を実施したところ、今後における修繕のニーズが確認されたことから1年度事業期間を延長した。 個人負担を要しない本補助金により資金準備が困難なケースにおいても被災した住環境を改善する一助となった。															
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
	322,300,000	321,264,171			320,964,688	299,483											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																																																													
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																																																																													
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援																																																																																																													
実施計画掲載ページ		P176	中 事 業		被災者生活支援事業費																																																																																																															
事業コード		002-101-004-01249	事 業 名		応急仮設住宅から復興公営住宅等への移行に伴う孤立防止事業																																																																																																															
目的及び事業内容		<p>蛇田地区の復興公営住宅等において、「孤立を生まない地域づくり事業」を行い、住民同士の支え合いで孤立や閉じこもりを防ぐコミュニティづくりを支援する。</p> <p>※「孤立を生まない地域づくり事業」の3つの取組</p> <p>①移動サロンを通じて生活相談に応じたり、社会参加を促す「つながりづくりの場」</p> <p>②支え合う地域づくりの大切さを学び合う「学びの場」</p> <p>③生活に課題を抱えている「支援が必要な人への支援」</p>																																																																																																																		
取組実績		<p>・「孤立を生まない地域づくり事業」の委託先 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター</p> <p>1 つながりづくりの場 ・移動サロンの開催（会場：蛇田地区の復興公営住宅等）</p> <table border="1"> <tr> <th>開催月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>12回</td> <td>16回</td> <td>18回</td> <td>22回</td> <td>23回</td> <td>21回</td> <td>18回</td> <td>19回</td> <td>17回</td> <td>166回</td> </tr> <tr> <td>延べ参加人数</td> <td>137人</td> <td>131人</td> <td>140人</td> <td>221人</td> <td>182人</td> <td>156人</td> <td>134人</td> <td>162人</td> <td>151人</td> <td>1,414人</td> </tr> </table> <p>2 学びの場 ・勉強会の開催（住民を対象とした地域づくりや支え合いに関する講話）</p> <table border="1"> <tr> <th>開催月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>1月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>開催数</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>27人</td> <td>13人</td> <td>16人</td> <td>56人</td> </tr> </table> <p>・広報紙の発行（隔月発行 配布場所：蛇田地区の各復興公営住宅、各種支援機関、各事業所等）</p> <table border="1"> <tr> <th>発行月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>10月</th> <th>12月</th> <th>2月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>発行部数</td> <td>2,000部</td> <td>2,000部</td> <td>1,800部</td> <td>1,800部</td> <td>2,000部</td> <td>9,600部</td> </tr> </table> <p>3 支援が必要な人への支援 ・主に見守りが必要な高齢者等への訪問等（延べ人数）</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実施月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">対象者数</td> <td>男</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>5人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>7人</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>64人</td> </tr> </table> <p>※体調不良や持病により閉じこもりがちな住民宅への個別の定期訪問（孤立防止のための見守り及び移動サロン等への参加を声掛け、生活上の課題解決のため各種支援機関につなぐなど）</p>						開催月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催回数	12回	16回	18回	22回	23回	21回	18回	19回	17回	166回	延べ参加人数	137人	131人	140人	221人	182人	156人	134人	162人	151人	1,414人	開催月	9月	10月	1月	合計	開催数	2回	1回	1回	4回	参加人数	27人	13人	16人	56人	発行月	7月	8月	10月	12月	2月	合計	発行部数	2,000部	2,000部	1,800部	1,800部	2,000部	9,600部	実施月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対象者数	男	1人	1人	3人	4人	4人	4人	2人	3人	3人	25人	女	1人	1人	5人	6人	6人	5人	5人	5人	5人	39人	合計		2人	2人	8人	10人	10人	9人	7人	8人	8人	64人
開催月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																																										
開催回数	12回	16回	18回	22回	23回	21回	18回	19回	17回	166回																																																																																																										
延べ参加人数	137人	131人	140人	221人	182人	156人	134人	162人	151人	1,414人																																																																																																										
開催月	9月	10月	1月	合計																																																																																																																
開催数	2回	1回	1回	4回																																																																																																																
参加人数	27人	13人	16人	56人																																																																																																																
発行月	7月	8月	10月	12月	2月	合計																																																																																																														
発行部数	2,000部	2,000部	1,800部	1,800部	2,000部	9,600部																																																																																																														
実施月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																																									
対象者数	男	1人	1人	3人	4人	4人	4人	2人	3人	3人	25人																																																																																																									
	女	1人	1人	5人	6人	6人	5人	5人	5人	5人	39人																																																																																																									
合計		2人	2人	8人	10人	10人	9人	7人	8人	8人	64人																																																																																																									
成 果		<p>「つながりづくりの場」の参加人数は延べ1,414人で、顔の見える関係づくりに寄与できた。中には、参加者の気づきから、孤立していた高齢者を支援につなぐことができたケースもあった。また、一部ではあるが、高齢者同士で、お互いに支え合って暮らしていこうという意識の高まりが見えた復興公営住宅があった。</p>																																																																																																																		
成果に係る評価		<p>住民同士の支え合いで、孤立や閉じこもりを防ぐコミュニティを形成できるよう、本事業を継続して地域の福祉力を高める必要がある。</p>																																																																																																																		
（単位：円）																																																																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																	
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																														
	32,405,520	22,960,800	22,960,800																																																																																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	5 項	災害救助費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P175	中 事 業		被災者生活支援事業費		
事業コード		002-101-004-01177	事 業 名		支え合い活動支援事業		
目的及び事業内容		<p>復興公営住宅等において継続的な見守りや地域での「顔の見える関係づくり」を進めるため、各種のサロン活動団体が実践する小地域福祉活動を推進し、地域コミュニティの構築を図る。</p>					
取組実績		<p>1 事業委託先：石巻市社会福祉協議会</p> <p>(1) 委託料：3,354,480円</p> <p>(2) 交付金：@30,000円×147団体=4,410,000円（※年間上限 30,000円） ：@29,818円、@27,005円、@10,151円、@28,870円=95,844円 交付金合計4,505,844円 総合計7,860,324円</p> <p>平成30年度は活動の場に訪問し、参加者に参加の目的や運営上の悩みを聞く座談会を開催し、アンケート調査を行った。</p>					
成 果		<p>各地域に拠点のある小地域福祉活動団体を訪問し、サロン活動の効果についての出前講話を行ったことにより、平成29年度111団体への助成に対し、平成30年度については151団体への助成金を交付することができ、サロン活動助成事業に係る申請団体が大幅に増加した。出前講話を行い普及啓発活動を行った結果であると思われる。</p>					
成果に係る評価		<p>サロン活動団体が、健康増進や生きがいづくりを通じて、小地域福祉活動を推進し、地域のコミュニティ構築の継続的活動につながることを目的とし、さらには後継者等の人材育成をし、地域で継続して繋げていくことが必要である。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	9,355,000	7,860,324	7,860,324				